夕刊
満洲日報
十月十五日
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

蔣氏を壓迫下野せしめ 時局の收拾を圖らん
馮氏に敵對するは財政上打擊 閻氏中立表明の底意

【上海十四日發電】蔣介石氏の命を受けて太原に閻錫山氏と會見した何成濬氏の報告に依れば、閻氏は蔣介石氏擁護の共同行動を採られたいと懇請したるに對し積極的援助は出來ないが中立的態度を採るべしとの趣旨を婉曲に回答したと云ふ、同氏が此態度を示せる理由は現に山西、陝西兩省は共通の紙幣を發行してゐる關係上、閻馮互に敵對する時は財政上大打擊を生ずる爲めである、而して閻氏は中立を標榜しつゝも既に多少の兵を動かしてゐるが、右は中央に對する牽制策で氏は硬軟兩様の態度で[illegible]蔣氏を壓迫し政治的に其下野を促進し時局の解決を圖らんとするにある模様である【寫眞は閻氏】

閻氏說得 七分成功 何成濬氏觀測

【北平十四日發電】閻錫山氏の說得に當つた何成濬氏は本日午後一時太原發歸途に就いたが、北平に歸らず、石家莊より南京に直行した、閻氏引留の結果は七分方成功と見られてゐるが、殘る三分の不安を近く派遣の特使に一任するものと見られる

閻氏を代理首席に 蔣氏自から戰線に出馬

【北平十四日發電】蔣介石氏が難局切拔けの第一策として閻錫山氏を國民政府代理首席に推し自ら戰線に出馬すべく特使を太原に派したが閻氏は恐らく其任に非ずとして直に拒絕、結局特使は山西の絕對中立を希望し引取るの外なしと見らる

討馮軍各路總指揮

【南京十四日發電】蔣介石氏は本日馮系討伐各路總指揮を左の如く任命した

漢口行營總指揮 何應欽
津浦鐵道方面總指揮 朱培德
京漢鐵道方面總指揮 唐生智

なほ何應欽氏は今夜南京發漢口へ向つた

津浦線は不通

【青島十四日發電】孫良誠軍が河南開封方面に進出したとの報に國民政府は津浦線徐州方面に勢力を集中して居り濟南の津浦線列車は不通となつた

陳氏、宋氏の討伐通電 寢返り說は無根

【青島十四日發電】寢返りを傳へられた陳調元氏は本日石友三、范熙績氏等と連名で通電を發し、反政府の宋哲元等を討伐すべしと態度を明かにした

安福系要人を調査

【奉天特電十五日發】張學良氏は時局柄旅大方面に人を派し時局急迫に活動する安福系の要人を調査せしめることになつたと

政府に不利な報道禁止

【北平十四日發電】國民政府北平辦事處は政府に不利な報道一切を禁じ奉天、天津兩地との間の長距離電話を檢査し更に陝西省饑饉救濟費の徵發をも禁止した

數百萬元を携へ 方氏閻氏を訪ふ 蔣氏難局打開に腐心

【南京十四日發電】蔣介石氏より太原行を命ぜられた吳稚暉氏は時局收拾困難と見て山西行を拒絕した、蔣氏は依つて方本仁氏を閻氏の許に派することゝなり、方氏は北上の筈で方氏は現銀數百萬元を携帶してゐると傳へらる

蔣軍陸續出動し 武漢は戰爭氣分 平漢沿線の防備整ふ

【漢口十四日發電】蔣鼎文氏の第九師先鋒隊は既に平漢沿線の武勝關、寬水、華園一帶に防備のため出動を完了し、更に劉峙氏の第一師も省境方面へ出動しつゝあり、列車不足のため徒歩で今曉來北上せしめてゐる、斯くて武漢の守備は顧祝同氏の第二師のみとなり之が補充のため下流より援兵續々到着しつゝあり、當地方は全く戰時氣分橫溢せり

軍縮會議と米全權 首席全權はス國務長官

【ワシントン十四日發電】五ケ國ロンドン會議アメリカ首席全權は國務長官スチムソン氏に大體決定した、其外にはアダムス海軍長官、ドーズ駐英大使、ギブソン駐白大使、ヒラリー・ピー・ジョーンズ海軍少將、アンドルー・テイ・ロング海軍少將、トレーン中佐が任命される筈、尚國務次官コツトン氏も代表者の內に加はるべしと豫想さる

軍縮委員事務所 首相官邸內に設置

【東京十五日發電】鈴木翰長は十四日午後四時若槻氏を訪ひ軍縮準備につき打合せの結果軍縮委員事務所を首相官邸に置くこと、若槻全權は秘書二名を置き、（內一名は女婿田原和男氏と內定）隨員一名は貴族院議員山川端夫氏外顧問一名を任命すること、尚總選擧を控へ衆議院よりは選ばず顧問は貴族院側より採用すると決定した

拓相、首相に報告

【東京十五日發電】東海十一州大會に出席した首相は十四日名古屋より松田拓相、片岡顧問等同車午後八時東京驛着の列車で歸京直に官邸に入つたが、鈴木翰長は首相を驛に出迎へた後、官邸を訪問し留守中の政務につき報告、松田拓相は車中首相に對して滿鮮視察の結果を報告今後の方針につき意見を開陳した

若槻全權夫人同伴せず

【東京十五日發電】海軍々縮會議全權として渡歐する若槻禮次郎氏に對しジユネーヴ會議に出席した齋藤全權の例も有り夫人を同伴してはと勸める向もあるが、同夫人は生來船車に弱きため若槻氏は單身赴任するはずである、一方財部海相は若槻氏の慫慂を受けて夫人を同伴するはずである

軍縮回答文 けふ決定

【東京十五日發電】海軍々縮會議招請に對する政府の回答案文は外務省にて作製し十四日海軍省側と協議の結果決定を見たので、幣原外相は同夜七時半私邸に若槻氏の來邸を求めて之を示し諒解を求め時餘に亘つて懇談協議を遂げた、政府は右回答案文を十五日の閣議に附議正式に決定の上外相より上奏御裁可を仰ぎ至急駐英松平大使に電訓して英國外相ヘンダーソン氏に手交せしめるはず

荻川放談 參謀本部 （其四） (106)

我國が支那に對する先達に、參謀本部を得たも時世なら、現在これと離れたも時世である、併し我國民の支那知識は尚此先達を必要とする、いな如何に其知識が進むとも、これあらば都合善し、今や我國民は是非ともそれに對支民間有志團體を擔がねばならぬが、該團體が群小林立とあつては、先づ此結合から始めて、其大同統一こそ急務ならずや、そうしてそれには我國ではどうしても政府の手を煩はすに限る、現內閣は須らく我對支先達を造るの先達として、こゝに一奮發をなすべきにあらずや

◇

現內閣にして此先達を設る、以て其對支政策實施のうえに幾多の便宜を得べし、且之によつて對支政策にも不易の基礎を與へ得べからん、そうして過去を問はず、將來に於て我對支政策の目標が、官僚でないことは言はずもがな、亦現在蔣介石政府の據り立つ國民黨と定むる譯にもゆかずして、縱し同政府が當今の權勢で在るにせよ、それは交涉相方で、以て對支政策の目標たらしむべきでなく、其目標は何處までも民衆に選ぶべし、かく云ふも反蔣勢力なんかの潛在が倍却々に深く何時支那革命が定まるか判らぬからである。

◇

我對支政策の目標を民衆と決め其扶掖指導は昔の如く依然として必要だが、僭越とか先進とかの觀念を擔けて以て之に臨むべからず、支那國民が之に屈した時代は去つた、これから我國なんぞは殊に平等を心がけ、これでの扶掖指導、此扶掖指導によつての革命統一、此革命統一によつて兩國親善提携の實現こそ願はしく、此處に乃ち大同結合された我對支民間有志團體が、先達として活動せねばならぬではないか、然るに頃者我國民の支那殊に滿洲邊に遊ぶが多いに拘らず、其人に斯る使命を帶ぶるが無い。

◇

尤も稀に個人的にはこれあり、小團體的にもこれあり、されど此個人的小團體的なるは害あつて益なく、此者の意見が區々なるよりして、反つて支那國民の我國に對する歸嚮を混亂せしむ、何んとあつても我に先達が要る此點から觀て、現在の支那は、理に縮まつてないが、一黨專制のうえに兎も角も政府が立ち、此政府が該與黨を先達とし、否先達と云はんよりも、之を指導し民衆を率ゐて對外關係に向はしむ、前篇で一寸こゝに支那の優れるを洩らしたが、是じや今後に於ける我國の對支問題解決が氣遣はれる。

露支兩軍大衝突 勞農軍要地を占領
きのふ松花江下流ラハススで 支那軍は總退却す

【ハルビン特電十五日發】支那官邊への入電によれば十四日松花江下流ラハスス方面における露軍は飛行機十四臺軍艦七隻を以て空陸兩方面より約十時間猛烈に支那軍を砲擊し多數の家屋電信電話を破壞し支那軍は富錦方面に總退却し支那汽船三隻露軍のため擊沈され五百名溺死した、吉林軍步兵一團應援のため急行したが兩軍の損害多い見込

警察署長會議 第二日 諮問事項の意見交換

警察署長會議二日目の十五日は午前九時より關東廳會議室において開會、前日既報午後の會議に提出された諮問事項に就いて當局の說明ありこれに對して各署長より質問及意見の具陳があつて午前の會議を終り正午一同はヤマトホテルにおける南軍司令官の午餐會に臨み午後は各署より提出の協議事項に就いて協議した

人事

▲ハルスデツド、ドーレー少將（前フイリツピン總督參謀長米國人）歸途北平に立寄り十五日同州を出發十六日夕奉天着の豫定であるが同氏は十七日奉天發京城に向ひ更に九州長崎に渡り同地より米艦グラント號に乘船し歸國する由（奉天）
▲田崎愼治氏（神戶商大教授）十五日出帆の榊丸にて青島へ
▲內田嘉吉氏を團長とする貴族院議員支那視察團一行 同上
▲旅順高女修學旅行團一行十名的場教諭に引率され十五日入港の大連丸にて歸來

滿電の明年豫算 總額五百萬圓見當

滿電の昭和五年度事業費及經費豫算は目下查定中であるが[illegible]模様である、仄聞するに查定額は事業費二百五十[illegible]圓見當で事業費の內譯は[illegible]電所擴張費（一萬二千五百キロ二ケ年繼續事業で昭和五年度[illegible]萬圓）、電燈擴張費（動力を含む）四[illegible]圓、[illegible]架設費（大の川より[illegible]町へその他）三十三萬圓、電車及バス擴張費二十六萬圓、安東[illegible]町發電所の五千キロ[illegible]八萬圓等が主なる事業となつてゐる。

慶大優勝す [illegible] 六對三で

和蘭代表來連

東京に於ける萬國工業會議に出席するオランダ代表[illegible]氏は十五日入港の大連丸にて來連したが兩氏は右會議終了後更に京都の太平洋問題調查會議にも出席すると

濟南方面の排日 聲のみで市中は平穩

去る十日大連發、青島、濟南各地を巡つた旅順高等女學校五年生の修學旅行團一行十名は的場教諭に引率され十五日入港の[illegible]丸にて歸連したが[illegible]は語る「[illegible]で問題の濟魯大學を觀ましたが可成り[illegible]排日[illegible]ラがあり例の樂源門には雪恥等大書してありますが其實案外平穩です、目下反蔣軍が膠濟鐵道を破壞せんとする噂があり旅行者は不安に驅られてゐる」

太田關東長官 あす東上

太田關東長官は明年度豫算其他につき拓務省其他と打合せの爲め十六日出帆のうらる丸で家族同伴愈々東上することに決定したが內地滯在は約三週間の豫定で小林秘書官、佐藤理事官、飽田屬等隨行す

大藏理事赴旅挨拶

今回滿鐵理事に就任した大藏公望氏は關東廳其他へ挨拶のため十五日午前十一時赴旅即日歸連した

ほんこん丸船客

十七日大連入港豫定のほんこん丸の主なる船客は
滿鐵囑託牧野豐助、清水深、生越伊助、柳井勇、河合淺吉、中山彫之助、加藤弘之、山本忠孝、淺香久雄、公村二等主計、市原繁、吉住善續、馬場表二、井上梅太郎、泉信夫諸氏

太平洋問題調査會にて 論議される滿洲 (18)

工業界の斷面

◆…鐵道と移民を兩親として、そこに誕生を見た「滿洲の愛兒」なる大豆其他の主要農產物を一瞥した筆者は、次に新しき資本の注入によつて起りつゝある、近代工業の斷面を瞥見しやう。勿論此等の問題は、日本の投資地圏內に限られる特殊な發達であつて、所謂日本にとつて第二のルールとして見られる滿鐵を中心としてである

◆…基本工業の原料として、鐵石炭及び科學製品と云つたものゝ產出に對しての飛躍である。曾て山本滿鐵總裁が今年六月株主總會に於ける演說として

「滿鐵は（一）製鐵（二）燃油（三）化學肥料此三つの製造を計畫致しました、滿洲は從來調査された所によりましても、鐵鑛及石炭等極めて多量の埋藏がありまして、其生產費は歐米製鐵國の夫と比較して大體に於て廉價に當るのであります云々」

鞍山の製鐵所の埋藏量は約三億噸と稱せられてゐる、尙現在の年產二十萬噸を三十萬噸に增產する計畫成り、增產に對する熔鑛爐も大體完成した若この熔鑛爐で全能力を發揮する時は四十萬噸の出銑を見るであらうと、現今日本に於てジヨホールの銑鐵輸入七十八萬噸も、將來は鞍山の製鐵所によつて防遏することが出來るであらうと尙最近問題となつてゐる製鋼所の設立、こゝに銑鋼一貫作業が見られるとすれば、滿洲に基本工業の土臺がつくられたものと云はるべきである。

◆…滿洲に於ける石炭は炭質の良否を一轄して約五十、其推定埋藏量は三十億噸に達し、內南滿二十五億、北滿五億と云ふ推定を下してゐる、しかし其內の第一は撫順を擧げなければならない、撫順炭は埋藏量約九億噸、出炭量は年々すばらしく增加してゆく、即ち撫順、搭連、煙臺の合計は

年	噸
一九二三年	五、〇五二、二〇〇
一九二四年	五、六九六、三〇〇
一九二五年	五、八六九、五七三
一九二六年	六、六二四、二六〇
一九二七年	七、〇六一、八〇〇

一九三二年迄には年額一千萬噸を出すことゝなるであらうと云ふ。筆者は曾て撫順炭の「一日一萬噸」を記憶してゐる、一日一萬噸とすると年額三百六十五萬噸に過ぎない、しかし今や年八百萬噸に迄到達してゐるのである。此等は南洋、日本、朝鮮、支那、香港、船舶と云つたものに供給される、尙撫順炭礦に附加して論ぜらるべきものは、油母頁岩より採油する石油であつて、其埋藏量は約五十億噸、その含油量は平均六%と云はれてゐる。

◆…其他基本工業として製鐵、石炭に伴つて起る副產物、加工物の生產品等々、それに北滿、吉敦線鴨綠江の林產、關東州の鹽業其他。巨大な資本の注入によつて起つた、或は起りつゝある工業は、支那の手によつて之が完成は望まれない、それは金融資本國としての日本が、其の附屬地を根據としての投資によつてはじめて具體化して行くのである。然らば滿洲に於ける日本の投資現勢は？

（一）借款による投資
（イ）鐵道 [illegible]圓
（ロ）鑛林 [illegible]
（ハ）電氣 [illegible]
（ニ）其他 [illegible]
小計 [illegible]（全投資の十二%）

（二）法人企業による投資
（イ）滿鐵本體會社 [illegible]圓
（ロ）滿鐵[illegible]會社 [illegible]
（ハ）非日本籍法準據會社 [illegible]
小計 [illegible]（全投資八二%）

（三）個人企業による投資
（イ）農林 四、四四七、[illegible]圓
（ロ）商業 [illegible]
（ハ）工業 [illegible]
（ニ）其他 [illegible]
小計 [illegible]（全投資六%）
總計 一、五[illegible]

◆…滿洲の土地と日本の十五億餘に達する投資の結合の中に華やかな今日の滿洲の誕生を見た筆者は、最後に日支間の問題となつた事相に一瞥を與へたいと思ふ（一記者）

大觀小觀

支那の喧嘩、いよく本物になつて來た。

◇

政治解決、黃白善後に妙を得てゐた蔣介石君も、討馮指揮を任命せねばならぬことになつた。

◇

そこで問題となるのは、五臺山下の洞ケ峠に楯こもつてゐる閻錫山を、山から引き出さうとしてゐる。

◇

山西朦朧主義の閻錫山が、山から下るにしても、果して、どの道をとるかが問題。

◇

そこで吳稚暉老も、閻錫山說得困難と見てとつたが、とにかく二の足を踏む。

◇

この役目、よし方本仁が行つたとて、成功すべしとは思はれない。閻錫山としては、自分に都合のよい方角に、洞ケ峠を、まつしぐらに下るであらうから。

◇

大勢觀望は洞ケ峠の主人公の狙ひどころ、支那の喧嘩、人氣が蔣に集るか、馮に集るか、天下は、その人氣の如何によつて決する。

天氣豫報

（十六日）南の風晴れ後曇り
日出六、〇二 日沒五、一六
滿前八、五五 滿後九、二〇
干前二、二五 干後三、一五

一等に入選した荷造包裝宣傳ポスター

包裝荷造改善宣傳

荷造包裝ポスター 標語の入賞者決定

標語の一等は福田卯之助氏 ポスターては慶松正滿氏が

第二回荷造包裝展覽會協會を機として荷造包裝改善宣傳を目的として滿鐵鐵道部營業課、同興業部商工課並に本社に於て募集中であつたポスター並に標語は締切後各關係箇所主腦者並に關係者により嚴重に審査中であつたがその結果左記のごとく決定した、標語は難句非常に多く二等入選句中「荷造完全中味安全」の句は同様のものあり抽籤の結果山下氏の入選を見たものである、なほ賞金は發表一週間後に送附することになつてゐる

ポスター

一等(賞金五十圓贈呈) 大連市飛驒町四五美坂方 慶松正滿

二等(賞金三十圓贈呈) 大連市浪速町四丁目一五二 武方織太

三等(賞金十圓贈呈) 大連市滿鐵埠頭保線區 田中佐々市

大連市聖徳街二丁目三〇 兒玉利三郎

大連市飛驒町四五美坂方 慶松正滿

選外佳作(賞金五圓贈呈) 大連市飛驒町四五美坂方 吉田瑞穗 同越後町三石田方 田邊梅次

大連市聖徳街二丁目一四七 樋口成敏 同 田邊梅次

標語

壹等(賞金貳拾圓) 『荷造は之でよいかと念を入れ』 關東州金州新市街 福田卯之助

貳等(賞金拾圓) 『荷造完全中味安全』 撫順東二番町十三ノ三 山下可津正

參等(賞金五圓) 『完全なる荷造に不安なし』 大連市三室町二ノ四ノ三 淺井かつ

『信用も荷造から』 大連市天神町四六、一ノ四 高橋春松

『荷造の親切は先方迄届く』 鞍山音羽町一ノ二 永井政夫

『荷造もさすが老舗の心意氣』 大連市久方町五石原方 林君彦

選外佳作(賞金參圓) 『得意大事に一層殖やせ』 大連市大和町二六 後藤五南

『善き包裝は善き顧客を生む』 大連市北大山通十一 宮本喜久次

『壞れずに來れば一層安く見れ』 撫順東五條 夢詩郎

『手を拔いた荷造店の名を落し』 奉天橘立町七 新谷宏夫

外池氏講演會 大連奬學會社會部では昨秋歐米に出張を命ぜられ各地の教育施設並に社會狀況を視察して歸朝した大連常盤小學校長外池平氏の講演會を左の日割により開催することゝなつたが演題は「歐米の教育環境」である

十六日午後六時半より大廣場小學校▲十九日午後六時半より大正小學校

昨夜來押かけた ファン渦を卷く

けふの早慶決勝戰で

【東京十五日發電】早慶一勝一敗の好取組が勝敗を決するのはいよく今日だ、今日午後二時から三度神宮球場に白熱戰が行はれることゝなつた、今日試合の切符は午前八時から球場入口で賣出されるのに逸早く入場せんとするファンの群は早くも昨夜より續々球場目がけて押寄せ附近一帶は物凄い亢奮の渦卷で夜を徹し夜露に濡れつゝ晴れの決勝を待つた、このため青山四丁目から球場に至る兩側の商店は十四日夜から十五日の朝にかけて

晝の樣に 電燈を點けサンドウイツチやパンを賣るに汗だくである、その混亂の中を席を抱へた職人や新聞紙を持つた學生の行列が渦卷いて行く、完全に自分の場所を得た者の中には澤蠟燭で將棋を指してゐる呑氣者もあつた、氣の利いた米屋の小僧が空俵を賣り始めると瞬く一枚十五錢が飛ぶように賣れる、それを見てそこら中の米屋の空俵を買占める氣の早い商人もある、斯くて群衆は開場を待ち潮の如く場内に雪崩れ込んだ

警官と群衆 大亂鬪

【東京十五日發電】早慶戰入場券は十五日午前六時三十五分からスタンド外野共一齊に賣り出されたが午前九時四十分頃青山三丁目方面よりの群衆約三千名が一齊に入場券賣場に殺到し警官騎馬巡査と入り亂れて遂に大亂鬪に陷り、服を破り、帽子は飛び肩章はもぎ取る等の格鬪を演じ約三十分間は入場券の發賣を中止し、五百名の警官は必死に鎭壓に努めた此の騷ぎに輕傷者十餘名檢束者數十名を出したが、一早大生は此の昂奮に發狂し「慶應をヤツつけろ」と泣き乍ら走り出す等の悲劇を演じた入場券の如き三十圓位にて盛んに取引されてゐた

日獨選手組合決る

愈よ日支獨競技目睫に迫つて 人氣大いに沸騰す

【奉天特電十五日發】十九、二十の兩日に亘り奉天北陵新競技場で擧行される日支獨競技大會も目睫の間に迫つて人氣いよく沸騰の有樣であるが、各競技に出場する日獨選手は左の如く決定を見た

百米 エルドラツヘル、ウイツマン、阿渡、南部

二百米 エルドラツヘル、ウイツマヒン、中島(大津)岡、田中

四百米 ストルツ、エンゲル

ヘート(ベルツアー)、ワイス)木内、濱田、三隅

八百米 ベルツア、ストルツ 岡田、濱田、三隅

千五百米 ボツヘル、ボルツエ 北本、津出、永田、補缺濱田、堀

五千米 ボルツエ、デイクマン、北本、津田、永谷、補缺仲本

八百米リレー (獨)エルドラツヘル、ウイツヒマン、ワイス、ストルツ、補缺ベルツア(日)阿部、中島、岡、南部、補缺田中、今井

ハイハードル トロスパツヘ、ワイス、黄、補缺鶴岡

四百米ロードル ローハ、ベルツア、トロスパツヘ、黄、柏木、鶴岡

走巾跳 ストルツ、ラデウツヒ、ケツヘルマン、織出、南部

走高跳 ラデウツヒ、ワイス 柴田 木村、補缺織田、山崎、最上

棒高飛 ウエグナー、西田、伊藤八、淺阪

三段跳 織田、南部、柴田

砲丸投 ヒルシユフエルト、ワイス、齋藤、上倉、川野

圓盤投 ヒルシユフエルト、ワイス、補缺モレス、板橋、齋藤、白石、補缺川野

槍投 モレス、ラデウツヒ、補缺ウエグナー、菅沼、川野、伊藤

金州驛における北軍の裝甲列車

3A—2

世界野球界の霸權 費府軍の手に

九回裏の總攻擊効を奏して カブスの善戰及ばず

【東京特電十五日發】フイラデルフイア十四日發＝費府アスレチツクス對シカゴ、カブスの世界野球選手權爭奪戰第五日目は十四日フイラデルフイアシヤイブ球場で擧行された、カブス軍は九回表までリードしつゞけ乍ら土俵際のうつちやりに涙をのんだ、この日晴天であつたが

フーヴアー 大統領夫妻の一行も貴賓席に陣取つて熱心に見物してゐた、試合は午後一時三十分からクレム氏(球審)デイニーン氏(一壘)モーラン(二壘)ヴアングラーフラン(三壘)の四氏審判の下に開始、カブス軍はマロンを、アスレチツクスはエームケをプレートに送り兩投手とも好投して見事な投手戰を展開させ、第四回カブス二死後カイラーの二壘打を皮切りに

二點を先取 して、アスレチツクスにウオルバーグを救援投手に立たせる波瀾があつたが、ウオルバJ軍好投してカブスは入回に走者を出したほか兩軍ともに機會を得ず、カブス軍の勝利に歸したと思はれたが、九回裏に入つてアスレチツクス最後の總攻擊を試み長打連發二點を取り、更に耳を聾する許りの歡呼の裡に一點を加へた、時に滿場のファンは狂はん許りに熱狂しカブス軍は

悲壯の涙を のみまことに悲的光景にあつた、一番バツター三振させた投手は二番バツターも三振させなければ敗けると云ふ迷信も思ひ出されて、マロンが一番打者ビショツプを三振させなかつたから二番打者マツクミランに打たれたのに適合して面白かつた、第二回投手の牽制球に一壘ず進擊に追はれたカイラーが一、二壘間を逃げ廻り乍ら漸く一壘に入らんとした時捕手ぬからず一壘に進んで刺したプレーはシリース中での見ものであつた、第三回ダイクスのフライをイングリツシユ遊二無二走つてうしろ向きの儘

捕つたのも ファインプレーであつた、エラーはホーンスビーがイーヂーゴロをファンブルしたゞけ最後の試合にふさはしい好試合であつた、かくてアスレチツクスは結局三A對二で勝ちカブスを擊破し本年度の世界野球選手權を獲得した

▲アスレチツクス得點三、安打六過失〇
▲カブス得點二、安打八、過失一
▲試合時間 一時間四十分
▲本壘打 ハース
▲二壘打 カイラー、マロシ、シモンズ、ミラー

今曉、後關屯山腹で 兩軍遂に火蓋切る

北軍戰ひ利あらず總退却を敢行 今酣の旅團秋季演習

【金州十五日電話】十三日午後二時より金州附近の宿營に入り十四日夜半に亘り休養鋭氣を養つた、柳樹屯第十九旅團管下遼陽步兵第二十聯隊および所屬特科部隊の將卒千五十餘名の北軍は、十四日午後四時指揮官赤松大佐の準備命令を承り出動時刻今や遲しと嵐の前の靜寂を守つてゐたが、十五日午前一時となれば北軍は一齊に所定の場所に點々と集合して個名點呼を濟まし十二夜の

月光を 浴びて踏み締める靴の音、蹄鐵の音も高く、深き眠りに入る金州市民の夢を破つて金州城南門外に集合、統監部に於ては統監中村少將馬上豐に幕僚を隨へ統監旗を先頭に馬首を揃へて統監地たる姚家屯附近に向ふ、斯くて午前二時五十分南門外に集合せる北軍の主力は騎、步、砲の順を以て還東半島咽喉部最狹の要衝地たる南山を左に一路周水子附近の南軍の虛を衝かんと

進軍を 開始した、一方南軍に於ても北軍を全滅せしむべき計畫の下に金州道路を經て機關銃を攜帶せる自轉車隊をして斥候に派し、尚北軍が裝甲列車を有することを確め鐵道破壞を目的として健脚決死隊を組織之れに當らしめ午前四時北軍進軍中の前方後關屯山腹に當つて先發北軍の諸兵隊と南軍の自轉車隊が衝突、茲に挑戰の幕を切つて落された、之れを見た北軍指揮官は南軍近くにある姚家屯を去る東方約五百米の地點に野砲の砲兵を進めて

砲列を 布くと共に步兵、機關銃隊をして延長千五百米に亘り散兵せしめ直に戰鬪開始の準備を備ふれば南軍またこれを知りて直ちに大、小砲火の火蓋を切る、この時漸く廣野の夜は明け、轟く砲聲は耳をつんざき將卒の血は湧き肉は躍る、しかし双方不意の遭遇戰は北軍に利あらずして退却の止むなきに至る時午前七時、勝を得たる南軍はこの機を逸せず北軍追擊のため猛進したが、

總退却 を敢行したる赤松支隊の北軍は五里の道を逸走し午前九時半金州城東北方、即ち東門外、三崎山方面に鋭兵を新たに加へて猛烈なる逆襲を行ふべく警策中である

危まれた溫習會

五千圓の豫算で開催 入場料は一圓五錢に値下げ

ゴタついた大連女紅場の秋季溫習會は十五日早朝より瀧野理事長始め理事、監査役等女紅場に集合協議の結果豫算五千圓、入場料一圓五錢として開催することに決定、同時に田中理事と原田保安主任に右顛末を具陳し諒解を求める處あつたので、原田保安主任も警察で注意する五千圓の範圍内ならば諒解を與へやう、その變り五千圓より一文でも增額したら各役員は責任を以て

自腹を 切つて貰ひたいと云ふ條件を附し許可する事にした警察が斯くまで干渉したのは要するに正隆銀行の借金を一日でも早く返濟せしめたいのと、組合員の負擔をこの上重くさせたくないのと、緊縮方針の折柄斯くまで大金を投じて華美な溫習會をやらせたくないのといふ理由によつたものであると

また交通事故 十五日午前八時十五分ごろ大連山縣通りの大廣場入口に於て監部通り一〇九Aタクシー運轉手廣田幸一(二七)の操縱する自動車と山縣通り二ノ二原田組店員壽立籐(二五)の乘る自轉車と衝突し自轉車は車體を破損し八圓五十錢の損害を蒙り蔣は治療約一週間を要する打撲傷を負ふた

獨逸及支那語講習 兩科生徒募集 二十一日開始 二十日迄申込委細照合 基督教青年會

娼妓が駈落ち 京都市下京區西高瀨川筋五條下る南京極町中野マツエ抱へ娼妓君榮こと西川キミ(二九)は馴染客の伏見市北新町大村久一(三七)と諜し合せ去る六日午後九時活動寫眞へ行くと稱し家出した儘歸つて來ず、男は曾て大阪市廣海汽船會社の廣安丸の賄長をしてゐた事あり、軈て大連に行くと言つてゐたから當地に驅落した形跡があるから取押へて呉れと驅賞金附で十五日樓主より水上署あて依賴して來た

關水神社例祭 市外老虎灘西口關水神社では十七日午後一時から例祭を執行

平安異香 (140)

葉多默太郎作 中一彌畫

髑髏の革袋（四）

何が何んだか、夢が爆發したやうで樣子が少しも判らないが、かりにも、おいらの大將が泥濘の中に寢轉んで、氣儘に雨にうたせてゐるんだからこりやたゞ事ぢやねエぞ——

・・・・・からつけつの勘兵衛は子猫のやうにじつと源八郎に寄り添つて小さくなつた。

雷は今が絕頂である。

激しい紫電の明滅——頭を踏み破るやうな雷鳴——縱橫に亂れ散る暴雨——猛獸のやうな樹の唸り——そして時々枝のもぎ折られる音だつた。

が、雷の去るのは潔いものだ。暴れるだけ暴れる、微塵の未練氣もなく、干潮のやうにひいて黑の裂け目に月が出る。

その時、勘兵衛はふと片側の木蔭がカサ〱と鳴つたのを聞いてはつとなつた。

「お大將——」

といつて頭を擧げようとするとぐつと源八郎が手を引く。

再び腹這つて、小聲になつて、

「だがお大將……」

といふと、源八郎は地べたにじつと耳をつけてゐた。

源八郎がむく〱と起きあがつたのは、それから更に一二分間の後だつた。起きあがつてずぶ濡れの髮を撫ながら、

「危なかつた」

と云ふ。

だが勘兵衛にはまだ判らない。肌に浸みた雨に顏をしかめながら

「なにが——なにかあつたのかお大將」

「呑氣な奴だ。手前みたいでないと長生は出來ない——そこらを探してみろ。何かある筈だ。」

「たしかに樹に立つたやうだ」

「ぢや、矢でも射た奴が——」といやあ、さつきそつちの樹の中がカサ〱いつたんで吃驚したんだが——」

「あの時に立去つたのだ。あの時までそこにゐたんだ。曲者はたしかに一人と睨んでゐるのだが、變に凄い奴だつた。頭を擧げたら命がなかつたらう。向ふはわし一人だと思つてゐる。で、わしにうまく中つて死んだのを見きはめて立去つたやうだ。危なかつた」

「ブル〱、そいつはいけねエ——と云つて今頃震へたつて間にあはねエんだがお大將、世も末になるといろんな事が始まるね、捕吏が狙はれて命からがら——なんてどうも、お大將の前だがい〻加減で足を洗つて大和で百姓だね」

「うむ、わしもさう思つてゐるがかういふ事があると面白くて止められない」

「因果なことだ——あ、お大將變なものが光つてゐる」

勘兵衛が指さす所に椋の大木があつて、その胴中といふ所に葉洩れの月をうけてきらつと光つてゐるものがあつた。

「あゝ、あれだらう。とつてみろ」

「がつてん」

勘兵衛が寄つて見ると一本の短刀だ。

「なるほど此奴は陰呑だ。こんなのがお大將の頭をかすつたのかなア」

云ひながら柄を摑むと、短刀は殆ど八分ばかりも喰ひこんでゐるのだがぐら〱と動く。

「なあるほど、此奴は洞木だ」

引拔くには雜作もなかつた。短刀といつても刀身一尺もありさうで、鍔形の双刃だ。柄は赤と青とで鬪柄を書いた革で卷いてある。

「變なもんだなア。こりやなんです？」

「異國ものだなア。支那だらう？」

「ぢや夢之助ぢやねエかね。彼奴なんだか唐人臭いつて話だから」

「さうかも知れないが、前後の樣子にちぐはぐな所もある。どうもよく判らない。太吉が女を跟けて行つた筈だから樣子を聞いた上のことだ」

「肝心の夢之助だが、どうなつたでせうね」

「うむ、それよ」

源八郎の面に自嘲するやうな、淋しさうな微笑が泛んで、

「今夜も彼奴の勝らしい。一杯喰つたのかも知れぬ」

云ひながら無心にその異國ものらしい短刀の双を指の腹で撫でゐたのだが、尖端の所ではつとなつたやうに指が止まつた。

ベビー、キネマ入選映寫會

昭和四年度秋期撮影競技大會として滿洲ベビーキネマクラブにて募集中の「水」は九月末日締切の上盛村洋行に於て審査の結果次の通り入選した

一等	大連	岡谷政一氏
二等	長春	藤森章氏
三等	東京	安田一氏
同	大連	下山美登里氏
四等	長春	金桶豐吉氏
同	大連	並木英德氏
五等	同	笹木、鎭雄氏
同	同	片桐發作氏
同	同	中鯛貫一氏
同	同	坂本正雄氏

依つて右發表會を兼ね來る土曜日敷島町青年會館にて映寫會を催す事に決定した、尚映寫は右の外にチャップリンのサーカス 雪崩れ ロンドン 影法師第一第二第三編等の新作映畫發表もある當日入賞者の賞品は映寫會當日會場で渡す由に付入賞者は來場の程を望むと

囈語

昨日は大日活の上棟式▲此の日天高く馬肥へて長さんフロックを着る▲「キングオブキングス」は協和會館で今夜から上映されるが、婦人會、キリスト教會が力コブを入れて居るし▲中等學生の入場を許可したので相當の成績を上げる見込み▲おなじく協和會館でユニヴァーサルの超特作映畫「笑ふ男」が十九日に上映される▲ごて〱ごて〱と生れ出づる悩みを續けて來た女紅場の溫習會▲やつと日取まできめては見た物のどうも難產らしい▲何とかしてよい子を產ましてやりたいものとは一般の噂▲映畫界演藝界の面白い噂をのせて木村莊十氏が主宰する雜誌「響」の第一號が出た

滿洲日報

印刷一般
滿日社印刷所 電話 四〇四九 四〇四八番 四三二一

露伴全集

日本文學の精粹

永遠に新しい眞の古典

窺ひ知れぬ學問の深淵をたたへて老齡愈々蒼古明澄なる筆を揮ひ、今日なほ、文の世界、詩の世界に萬丈の氣を吐きつゝある大學者これ實に露伴先生である。近年異常なる關心を喚び研究の對象となりし明治文學に興味の中心として最も重きをなし、夙とに出すべくして出でざりしものこれ實に露伴全集である。此の全集出でて始めて明治文學の巨龍に睛を點ぜしものといふべく又以て文運永遠に讃ふべき時代を記念する大塔に最頂の寶珠を据ゑしものといふべし。

1・2・3・4・5 小説集
6 戯曲・新體詩
7 努力論・修省論・悦樂・一國の首都
8 蕉芭七部集抄
9 文學論考
10 記行・人物評傳
11 隨筆
12 雜纂

高雅重厚なる裝幀
▼表紙手織總布裝 返見和紙高級紙天金函入
▼扉別口繪コロタイプ寫眞付
▼本文組十ポイント一段組(總ふりかなつき)

一册 四圓五十錢 (申込金) 二圓

略規
▼全十二卷分賣せず申込者のみに頒つ
▼申込金二圓(最終會費中より控除す)
▼會費毎月拂 四圓五十錢 一時拂 五十一圓
▼申込期限 十月三十一日
▼配本十一月より毎月一册宛 但し第一回分は十月下旬出來

赤彦全集

○西田幾多郎
私には歌を論ずる資格はないが、歌を讀むのは好である。寫生といふのはすべての藝術の基礎たるは云ふまでもないが、寫生を標榜する歌には往々平凡に墮するものがないでもない。鍛へた鐵でなければ眞に生きたものが映らないのである。島木君の歌の中には、平凡な寫生と思はれるものゝ中に深い人生の染み出たものがあると思ふ。苦んだ人鍛へた人であつたのであらう。

○左佐木信綱
君は早く世を去られて歌人としてまた學者として一層高邁の域に達せらるる晩年を有せられなかつたが、其生前に於て既に大いなるものを成し得られたその業績を以てみると君は決して世を早うせられたとはいひがたい。自分は萬葉の歌の品隲に就て、また歌の道に關して、不幸にも君と意見を異にする點が少くなかつたが、しかも君の作品及び論議は、常に讀むことを怠らなかつた。いま君の全集の刊行せられることはひとり歌壇の喜なるのみならず、また自分の喜である。

○河井醉茗
上下二千載短歌として格調の高きは萬葉時代に及ぶものなく、明治大正六十年歌人として風格一世に高きもの島木赤彦に如くはない。赤彦の短歌が高く格調の高きは既に彼が詩歌に參與せし最初、その詩品の時流に抽んでて光風霽月の懷ありしを以ても知られるのである。それを形式より云へば七五調の全盛期に於て彼は好んで五七調或は五五調の古朴高邁なる詩作を試みたのである。詩は彼の伏龍出百合時代であつて、赤彥以前のものに屬すけれど、年少氣鋭他日の大器は夙に光を放つてゐた。

全八卷(菊判平均六百餘頁)

1 歌集
2 詩歌集 短歌・俳句・小曲・新體詩・
3 歌論歌話(1)
4 歌論歌話(2)
5 歌評及び歌謠研究
6 童謠・小說・散文・紀行・日記・其他
7 隨筆・感想・論文
8 書簡集

平福百穗畫伯裝幀
▼手織總布裝天金函入
▼毎卷木版手摺の見返を換へる
▼十ポイント一段組頁數平均六百餘頁

一册 四圓 (申込金) 二圓

略規
▼全八卷分賣せず申込者のみに頒つ
▼申込金二圓(最終會費中より控除す)
▼會費 毎月拂四圓 一時拂三十圓
▼申込期限十月三十一日
▼配本十一月より毎月一册宛(但し第一回分は十月中旬出來)

豫約募集
內容見本進呈
〆切十月三十一日

◆東京神田神保町
◆振替東京七四四一六
◆電話九段 一〇二一・一二八一 二二〇八・二二〇九・二六二六

岩波書店

三省堂發行

小辭林

文學博士 金澤庄三郎編

コンサイス型(ポケット版) 總紙數1000頁
革製(上製) 二圓三十錢
クロース製(並製) 一圓九十錢
各內地送料十四錢

特色! 充溢せる「ポケット用」

として、机上用の「廣辭林」に對し飽迄モダン的要求に應じた手頃な本書の中には「必要語」の一切がぎつしりと詰つてゐる。即ち「日常使用」を目的とした語彙八萬六千語を收輯する新工夫の小型辭書。上製・並製の二種あり。撰擇自在。

廣辭林

文學博士 金澤庄三郎編

新四六版 總クロース製 總紙數一八二〇頁
三圓九十錢 內地送料廿七錢

絶大なる信用は廣辭林に集る!!

常に時代を超越し然も常に時代にピッタリと適した國語辭典。統一のとれた編輯法と熟練した組方に依つて十一萬數千語の在來の言葉の外に專門學術語・外來語・俗語・流行語・新聞用語等を悉く網羅收輯し且つ精緻な挿畫二千數百個で充分に補足的說明の盡された本書!!

實物全國各書店に配布濟み!
新型圖書目錄出來

株式會社 三省堂
本社 東京・神田・駿河臺下 振替東京三一五五五
支店 大阪・市區・南久寶寺町 振替大阪八一二〇〇
御注意(本社は右記へ麴町區大手町より移轉致しました)

少女畫報

出ました!
11月
懸賞募集
新興日本少女の歌
詳細規定發表

傑作小說大選集
從來のそれと全然面目を一新した本誌獨特の潑溂たる少女小說數十篇

第一附錄 霧晴るゝ(最近松竹キネマに依つて映畫化される問題の大小說!)
第二附錄 少女武勇傳 大の男が可憐な少女の手玉に取られる痛快極る物語集

神宮競技豫想記
此の秋の榮冠は誰に落ちるか。二大スポーツ女學校を中心として見た豫想記。さてそのスポーツ女學校とは何處と何處とでせう?

双葉の馨り 二色版オフセット畫集
幼少にして大人をアッと言はせた天才少女の生立を描く美しい繪卷

華宵 晚秋畫譜

定價五十錢送料二錢 各地の書店にあり
東京社 東京京橋區疊町一番地 振替東京四九〇〇

建築工事實費見積

最新刊

東京市復興事業局長 福田重義先生校閱
高藪良二先生著

四六判參百數十頁・洋裝・箱入
定價 壹圓八拾錢・送料拾貳錢

本書は著者が公私に關係せる諸工事の統計を取り尚ほ之が實例を擧げ多數圖表を掲げ便ならしめたる等他に類無き良書にして技術家は勿論建築にたずさわる一般人士の座右に欠くべからざる書なり

建築と家具

大好評の良書
著者は專門大家

- 最新 工事別 建築材料と使用法 定價參圓八拾錢 送料十六錢
- 鐵骨家屋構造 定價參圓八拾錢 送料十六錢
- 最新和洋 建築設計及製圖法 定價貳圓八拾錢 送料十二錢
- 良くわかる 和洋規矩術 大工サシガネ使 定價貳圓五拾錢 送料十二錢
- 最新 和風家具 設計製作及仕上法 定價壹圓八拾錢 送料十錢
- 最新 洋風家具 設計製作及仕上法 定價壹圓九拾錢 送料十錢
- 新生實驗家具構造要義 定價參圓八拾錢 送料十六錢
- 新らしい木材着色及仕上法 定價壹圓五拾錢 送料八錢

發兌
東京小石川區表町一〇九 電話小石川三八六三番 振替東京六六一〇四番
圖書目錄進呈
中央工學會

●ノーシン ノーシン!! 頭痛にノーシン!!!●

上京して就職する迄

全日本商店聯盟理事 工藤哲郎先生著

(內容目次)
▲上京前の準備▲上京後の心得▲巡查になる迄▲小學校教員になる迄▲新聞記者になる迄▲雜誌記者になる迄▲速記者になる迄▲商店員となる迄▲會社員となる迄▲銀行員になる迄▲交通員となる迄▲郵便局員になる迄▲外勤員になる迄▲電車從業員になる迄▲自動車運轉手になる迄▲守衛となる迄▲映寫技師になる迄▲カメラマンになる迄▲飛行機操縱士になる迄▲其他。

勉强して偉くなるにも一旗上げて名を擧すにも凡ては東京だ!東京こそは日本に於けるあらゆる文化の中心地であると同時に立身出世を希ふ人達の活舞臺である。が其の根據地に於て本書は一番その即ち東京に於ける就職を得るまでの方法、就職後の待遇と手當、更に昇進の道に至るまで極めて詳細に且つ親切に述べてある。

四六版三百頁 定價金壹圓五十錢 小包料金八錢 全國書店取次

失業何ぞ恐るゝに足らん 人間到處有靑山矣

東京市本鄉區丸山福山町十三番 振替東京二四三番 朝香屋書店

發明王エヂソン傳

電燈五十年會記念出版
定價壹圓五十戔

忽ち再版
發明は立國の基礎・エヂソン翁は本書の刊行に當り自署せる寫眞と手紙を寄せ、日本に大發明家の出現を切望せり

東京市丸の內有樂館 振替東京二七七二四
工友會出版部發行

最新刊

- 江口良吉著 支那語入門 實價一圓五錢送料六錢
- 里見弴著 今年竹 實價一圓五十七錢送料十二錢
- 長島隆二著 陰謀は輝く 實價二圓三十六錢送料八錢
- 武田建清著 三角法 問題解き方 實價一圓三十六錢送料十二錢
- 松村武雄著 神話學論考 實價三圓九十九錢送料十四錢
- 片岡鐵兵著 片岡鐵兵集 實價一圓五錢送料八錢
- 高梨由太郎著 映畫館建築 實價一圓十五錢送料六錢
- 米田華紅著 支那綺談黃龍船 實價一圓五十七錢送料八錢
- 長谷川時雨著 時雨脚本集 實價二圓十錢送料十錢
- 大阪毎日東京日日新聞社 昭和五年毎日年鑑 實價一圓五錢送料十四錢
- 國民新聞社著 昭和五年國民年鑑 實價七十二錢送料十錢
- ダーウヰン著 松平道夫譯 種の起原 實價三圓十五錢送料十六錢
- 中村亮平著 慶州之美術 實價五圓廿五錢送料廿錢
- レーニン著 高山洋吉譯 一九一七年 實價二圓六十二錢送料十六錢
- 松平道夫著 發明大觀 實價五圓四錢送料廿錢
- 岡野榮・丹羽禮介共著 萬有畫書全集 實價五圓四錢送料廿錢
- 大泉黑石著 燈を消すな 實價一圓八十九錢送料十錢

最新刊

- 大谷光瑞著 帝國之前途 實價六十三錢送料四錢
- 北山啓助著 肺病新療法の道 實價二圓十錢送料十錢
- 大泉黑石著 燈を消すな 實價一圓八十九錢送料八錢
- 藏原惟人著 藝術と無產階級 實價二圓廿六錢送料十錢
- 吉田絃二郎著 タゴールの詩と言葉 實價一圓七十八錢送料六錢
- 宮川曼魚著 改訂江戶賣笑記 實價一圓九十九錢送料八錢
- 婦人之友社著 家庭の四季の料理 實價一圓五錢送料六錢
- 高橋龍雄著 茶道 實價一圓九十九錢送料十二錢
- 丘寶吉著 モダンアンス研究 實價一圓五十七錢送料八錢
- 高村光雲著 光雲懷古談 實價一圓六十七錢送料十三錢
- 米田華紅著 黃龍船 實價一圓五十七錢送料十錢
- 平尾道雄著 海援隊始末 實價二圓十錢送料十錢
- 滿洲俱樂部著 麻雀競技の法と戰略 實價一圓五錢送料六錢
- 阿比留乾二著 滿洲問題とは何ぞや 實價三十一錢送料二錢
- 野依秀一著 井上藏相の正體 實價三十一錢送料四錢
- 關東廳編 職員錄 實價一圓五十錢送料八錢
- 鈴木善太郞著 芝居は誂向き 實價二圓十錢送料十三錢

大連市浪速町 大阪屋號書店 電話五六八 振替大連五五 (本店東京支店京城奉天新京)

大連市大山通 滿書堂書籍部

宮家御採用品
ピースストーブ
臭無煙無一日一回投炭

群雄割據す 覇者は誰ぞ

元賣 滿洲總發
鳥羽洋行
大連市近江町八番地電話5168

煖器の解決 本器にあり

型錄進呈

新聞の不配達其他の故障は電話四七六七番へ

軍縮招請狀回答文

外、海兩相より草案內容を說明

きのふ閣議にて決定

【東京十五日發電】十五日の定例閣議は午前十時より開會井上藏相より來年度豫算案の內容、松田拓相より滿鮮視察談あり正午一先づ休憩一時再開軍縮會議に對する帝國政府の回答案につき幣原外相、財部海相より兩當局にて立案したる草案內容を說明し各閣僚の諒解を求めたる結果、各閣僚の意見を纏めて之を決定し次で濱口首相より全權として若槻禮次郎氏、財部海相、松平駐英大使の三氏を決定したる旨を述べ各閣僚とも異議なく之に贊成したので右回答案と共に宮中の御都合を伺ひ本日午後參內御裁可を仰ぐ事となつた、尙顧問隨員等の銓衡に就ても意見の交換をなした

本日上奏し御裁可を仰ぐ

松平大使より英政府に手交

全權も正式に任命

【東京十五日發電】本日午後の閣議に於て更に回答案につき意見の交換をなしたが、回答案主文は明日濱口首相參內上奏御裁可を得て外務省より松平大使に電送して英政府に手交される、又全權は御裁可次第既報三氏を正式に任命することゝなつた

回答內容聽取

【東京十五日發電】原田熊雄男は十五日午前八時四十分官邸に濱口首相を訪問し軍縮會議全權顧問並びに帝國政府の回答文內容等を聽取して九時半辭去直ちに十時東京驛發特急で京都に赴き西園寺公に詳細報告する筈

月俸百圓以上の官吏は一割減俸

明年一月一日より實施する

きのふ閣議で決定

【東京十五日發電】官吏の減俸は愈々本日の閣議で之を實行する事に決定し百圓以上の俸給官吏は總て一割減俸を斷行する事となり來年一月一日より實施することに決定した

減給と在勤俸の改訂を公表

【東京十五日發電】政府は俸給及び在勤俸の改訂を左の如く公表した

一、俸給

（イ）年額千二百圓を越ゆる高等文官及び武官の俸給定額に對しおほよそ一割を減ずること

（ロ）判任文官の俸給に就ては月額百圓を越ゆる者に限り之を改訂すること、但し其の減額割合は高等文官に比し相當緩和すること

（ハ）待遇官吏の俸給定額に就ても文官の例に準じ之を改訂すること

二、在勤俸　左の在勤俸等は共に適當に整理減額すること

（イ）朝鮮、臺灣、關東州、樺太及び南洋群島在勤の文官の在勤俸

（ロ）在外文武官の在勤俸

（ハ）在外研究員の給與及び海軍航海加俸

三、施行期　本改訂は昭和五年一月一日より之を施行すること

植民地官吏の減俸割合

一等地は加俸の二分の一

一千萬圓を生む

【東京十五日發電至急報】植民地官吏の減俸割合は朝鮮、臺灣、關東州の如き一等地京城大連平壤の如き在勤者は加俸の二分の一減、其他僻地、蕃地等の在勤者は三分の一減とするに決す、此の結果植民地だけで一千萬圓を生み出すと

經濟難局の打破

政府で聲明書發表

【東京十五日發電】政府は左の聲明書を發表した

政府は經濟上の難局に直面し之が匡救を圖る爲め曩に財政緊縮及び消費節約の必要なる所以を提唱し直ちに昭和四年度實行豫算を作成して相當巨額の節約を行ひ以て政府の決意を表明したり、今玆に同一の方針を以て昭和五年度豫算を編成し財政經濟の立直しを行はんとするに當り政府は一般識出に對して出來得る限り緊縮を圖ると同時に官吏の俸給に對しても亦之が減額を行ふの已むを得ざるに至れり加ふるに我國官吏の俸給は世界戰爭以來急激なる物價の騰貴に伴ひ大正九年平均約七割の增額を行ひたるも最近物價は漸次低落の傾向を示しつゝあるに顧み此の際一般官吏の俸給につき年俸千二百圓又は月俸百圓を越ゆる者に對して大體一割程度の減額を行ふことに決定せり、而して其の內比較的薄給の者に就ては減俸の步合を尠くするを以て適當なりと思料し相當の斟酌を加ふる事とせり、もとより官吏の俸給を減額するは政府の好まざる處なり然かも政府が敢て之を斷行せんとするものは現下の國情實に已むを得ざるものあればなり茲に於て政府自ら實踐躬行範を國民に示し以て經濟難局の打開に資する處あらんと欲す、國民も亦宜しく政府の意の存する處を諒とせられ官民相率ゐて整理緊縮を行ひ消費節約に專心し以て財界の安定國民經濟の立直しに努力せられんことを望む

昭和四年十月十五日　內閣總理大臣　濱口雄幸

減額を目標に邁進

藏相から說明

【東京十五日發電】井上藏相は十五日の閣議に於て明年度豫算編成に關する最高原則決定のため先づ明年度に於ては租稅收入二千六百萬圓の減收を來し其の他歲入缺陷のため財源極度に窮乏を告げてゐる一方、八千五百萬圓の公債發行は之れを中止し明年度歲出は十五億圓臺（十五億七千萬圓乃至九千萬圓）に切り詰める事は金解禁を目標とする財政緊縮上から是非實現せねばならぬと說明し、午後は

金解禁を目標に邁進

藏相から說明

【東京十五日發電】井上藏相は十

減俸案の大綱

【東京十五日發電】文武官俸給減額に就て井上藏相の說明左の如し

一、文武官高等官に年俸千四百圓迄は据置き（內閣發表の印刷物と相違あり）千四百圓以上六分減、千六百圓以上七分減、千八百圓以上八分減、二千圓以上一割減、以上漸次減額率を遞增し各大臣は一割二分減、總理大臣一割六分減、

二、判任官は高等官より稍々緩和し月給百十五圓迄据置き、百五十圓以上四分（五圓）減以上累進最高二百圓八分（十五圓）減とす

明年度豫算總額

十五億八千萬圓以內

【東京十五日發電】大藏省は略明年度豫算編成を終り目下既定經費節約案及新規事業査定案の整理中で保留せる重要費目については井上藏相が連日各閣僚と膝詰交涉を進め十五日の閣議の席に於ても懇談的に諒解を求めた、而して十五日までには重要費目についての解決を遂げ十八、九日頃各省に大藏省原案を內示することゝなつた、大藏省當局の見る所では豫算總額は十五億八千萬圓以內にとゞまる見込みである

明年度豫算編成の原則につき各閣僚とも意見を交換したが、新規事業の査定にあらずして如何に既定經費の節約を行ふかにあるを以て右節約方針に關し各省大藏省間に各種の紛糾を來さざる樣之が對策を樹立したものと見られてゐる

旅費規定と恩給法も改正

議員歲費は一割減

【東京十五日發電】政府は一般俸給額減額に伴ひ貴衆兩院議員の歲費三千圓をも一率に約一割減とする方針で五十七議會に提案附議する事となつた、更に之に準じて

一、官吏旅費規定の改正

一、恩給法の改正

を行ふ筈で恩給法は現在の重恩給者の時權は尊重し單に今後の重恩給者にのみ適用される筈

三、官公立學校教員等の待遇官吏は本官と同程度とすること

在勤俸　植民地に於ても京城釜山と云ふ如き都會地より僻陬地に至る迄を三區分し甲、乙、丙と分つ、甲は半減、乙、丙は三分の一減

一、年功加俸其他類似のものゝみに對しては右方針により改編

勅令で發布

【東京十五日發電】十五日の閣議で決定された官吏減俸及び在勤俸の改訂に關しては直ちに大藏省で俸給令改正勅令案を起草して法制局に廻附し勅令を以て發布することゝなつた

關東廳の明年度豫算

二千四百廿餘萬圓

四年度より十三、四萬圓の增加

警備費卅萬圓承認

關東廳五年度の特別會計國庫豫算は十五日問題となつてゐた警務局の査定を以て全部完了し太田長官は十六日西山財務部長は十八日の定期船で上京拓務本省並に當局に挨拶、豫算の要求をとゝなつた、而して明年度は總て現內閣の整理緊縮方針に從ひ成されたる滿洲特殊事情に依り止むを得ざるものは之を新規要求することゝしたる結果本年度實行豫算に於て削除或は繰延べとなりたる約百萬圓及び其他新規要求多少ありたる由である、として要求することゝしたる結果し本年

新規要求の主なるものは警備充實に依る警察費の三十萬圓を筆頭に學級增築の教育費、旅費

露軍に襲撃されて同江も占領さる

三江口の支那艦五隻擊沈

支那軍は守備撤廢

【吉林特電十三日發】吉林邊防副司令部及び省政府は昨日同時に富錦縣長より、同江縣城は十三日午後突如赤衞軍の騎兵八百餘名の襲擊を受けたが、同地駐屯部軍警等は衆寡敵せず遂に守備を撤し完全に露軍に占領された、なほ同時に三江口に碇泊中の支那軍艦を砲擊し五艘は擊沈され二艘は戰鬪力を失ふ程度の大損害を蒙つた、目下同江縣との電報不通のため其の後の情況不明との急電に接した、右に

より張作相副司令は直に依蘭鎮守使に向つて急遽增援隊を派遣し露軍を擊退すべく電命を發した

支那軍隊逆襲せん

露支の衝突

【ハルビン十五日發電】ロシアは飛行機十四臺、軍艦七隻を以て拉哈蘇々を砲擊し十時間激戰支那軍を擊退し陸戰隊を以て

邦人醫師開業に支那官憲が壓迫

正規の試驗を要求

【ハルビン特電十五日發】（鷲）政局にては日本醫師の開業に支那側の正規の試驗を必要とする事は事實が示して通告して來た事には幾分「力」はありますけれども現在の如き難局に處して大木總領事に通告して來た之を切り拔ける程の大手腕があるかと危ぶまれます、蔣氏もう少し學問と經驗がなければ

▲記者　で、蔣氏も自ら之を自分の力足らざるところは下に依つて補ひ、共に相協力して國家の爲めに此の難局を

義務教育費一千萬圓を計上

藏相より文相に通告

【東京十五日發電】井上藏相は十四日午後三時文相官邸に小橋文相を訪問、義務教育費一千萬圓の增額を明年度豫算に計上することに內定せる旨報告したる後、明年度既定經費の節約、新規事業の査定等に關し種々諒解を求むる所あり午後四時半會見を終つた

民政黨の黨狀報告

定例午餐會で

【東京十五日發電】民政黨の定例午餐會は十五日午後一時から中央亭に開會席上富田幹事長から地方に於ては組閣以來政策徹底のため出來る限り遊說に努めてゐるが、其の間は縣會議員補缺選擧の行はるる事十五回其の成績は兵庫で一名破れたる外十四名は悉く我黨の勝利に歸した此の事實は現內閣の政策が如何に國民的共鳴を得てゐるかを立證するものである

藏相首相訪問

【東京十五日發電】井上藏相は十五日午前九時半首相官邸に濱口首相を訪問來年度豫算査定の結果並びに金解禁問題に關し意見の交換をなした

閻は馮に合流せぬ

何成濬氏談

【北平十五日發電】今朝八時歸平せる何成濬は閻錫山說得の結果につき記者は左の如く語つた

閻錫山氏は余との會見に就て誠意を披瀝し中央服從を誓つた山西派が馮派と合流せざる事は確實で之れは余が責任を以つて明言する山西一般の空氣は馮派に多大の不滿を抱き馮は恰も五臺山麓に監視狀態に置かれてゐる馮派將領の策動は西學會系政客の政略の具に供されたに過ぎぬと非常に樂觀的口吻を漏らした但し事實は此の裏を見るのが本筋と見られてゐる

公署にも電命あり更に國民政府側は民政部次長陳儀氏のほか二名を奉天に派遣することゝなり十四日夜、一行は北寧線にて來奉し目下これが捜査について張學良氏と打合中である

治權撤廢の留保濃厚

支那の內訌と米國の態度

しむるのみならず國民黨撤廢を要求するは時機尙早の國務長官スチムソン氏益々固むるものと觀測し尙之がため最近ジュネーブ地に歸任する駐米支那公使氏は恐らく治外法權撤廢に南京政府の米國に對するしても米國の回答を督促あらうと見られてゐる

兵工廠材料

米國から仕入

【奉天特電十五日發】東

奉天派は飽まで保境安民を持す

首腦會議で態度決定

【奉天特電十五日發】馮蔣の確執に對する奉天側の態度に就ては種々傳へられてゐるが各軍政長官を召集し時局に關し別會議を開催せる結果大體左の如く決定したと

一、蔣、馮、閻各方面に對し閉境主義をとり軍事上の

反蔣要人の逮捕電命

奉天派に對し

在滿鮮人救濟を兒玉總監に陳情

朝鮮商議聯合會より

最近の支那を縱橫に解剖

支那通の坂西中將が

けふ協和會館で講演

外貨排斥の國貨社設立

奉天總商工會內に

市衞生係の明年度事業

目下豫算編成中

大連市參事會

滿鐵社員の外遊人員

十四名に決定

洮南索倫間鐵道計畫

仙石總裁

廿六日着任

滿鐵各道部の豫算査定會議

西山部長東上

大養新總裁披露宴

七月末國庫現計

貴族院議員團青島へ

けさ榊丸にて

人事

辭令

關東廳辭令

陸軍中將 貴族院議員 坂西利八郎氏 支那新時局講演會

けふ午後四時から　滿鐵協和會館にて

主催　滿鐵社會課　滿洲日報社

特產

定期後場

現物後場

錢鈔

商品

神戶特產

大阪株式

東京株式

大阪期米

滿洲日報 東北省の外交權

易幟以來、東北四省の外交權が問題となつた。南京政權は、南北統一とか、中央集權とかいふものゝ、何ら代償するの厄介もなく、とにかく、名儀だけにても、その形を擧げ得るものは、外交權の統一に外ならぬ。そこで軍隊の編遣や、財政、幣制などはこの次ぎとし、まづ文書の上でも、何とかごまかしのつく外交權から統制するといふ術策に出た。この問題ならば、對外的に强いことをさへいつて居れば、國内的には、何らの紛糾を起さぬ。いや、對外硬をさへ宣傳キ張して居れば、うるさい若い國民黨員や學生などは、却つて附和雷同するのであるから、これ以上に賢明な方策はない。

◇

そこで南京政權は、例の打倒帝國主義（さすがに打倒資本主義とはいはぬ）とか、不平等條約撤廢とかを絶叫さすると同時に、奉天の出先官憲が、東支鐵道の對露政策において失敗するや、機、乘ずべしと做し、直ちに外交權の掠奪といふ方策に出たのである。一國家の外交權が、二三の政權から出づるといふことは、近代的國家常識を以てしては想像だもすることの出來ぬことであるから、理論としては當然のことであらねばならぬ。がしかし、支那の實情よりすれば、地方政權の相手方として交渉せねば、國際關係の事項を整理解決することが出來ぬのである。それで已むなく、過渡的便法といはんか、暫定的の便宜主義から、とにかく、ある程度の外交案件は地方官憲の手によつて片づけられて來たのである。これ支那の實情よりして、全く已むを得ぬところであつた。

◇

然るに南京政權は、自國の對外準備が、依然として全く整頓せざるにも拘らず、前述の如き取込主義から、奉天政權を壓迫し來つたのである。奉天政權としても、名目のみ立派で、しかも實の伴はぬ時によつては、その責任を負擔するよりも、その責任を回避するの、却つて好都合なることがあり、東支鐵道問題などにありても失敗を掩はんがために、對外主權の所在を不明にしたる嫌ひあり、南京政權としては、好機、逸すべからずと做し、朱紹陽を特派してこれまた失敗、最近は、鐵嶺事件を棒大に誇張して周龍光を奉天に差遣するなど、矢つぎ早の對外對内のダブルプレーを演ぜんとしつゝあるが、問屋が、なかなかうまく卸さず、折角の周司長の晋奉も何らの効果なく、うやむやのうちに手を引くのではあるまいか。がしかし、支那の實情に鑑みるところなく、南京政權が、無理やりに外交權の掠奪を敢行せんと焦燥し失敗しつゝあることは、最近の事象に徴するも明瞭である。

◇

張學良には、多少の新らしがりがあり、それに長いものには卷かれろ主義で、實情の如何はともかくとして、南京政權の要求は承服するものゝ、勢威の横取りは、いかに猶の如く從順なる張學良としても、餘り愉快にあらざることは事實であり、それに實情に徹してゐるところの張作相らとしては、東北四省の責任を痛感して、體得してゐる以上は、王正廷らの申分を、そのまゝ鵜諾もならず、殊に對露關係だけにても、二千萬元の軍費を雲散霧消して中央と稱する南京からは、一文も支給もないとあつては、寒氣のヒシヒシと迫るに方りては、背に腹は替へられず獨自の對露交渉に出でざるを得ぬのは、奉天側として當然の事情といはねばならぬ。

◇

ところで、外交權を掠奪して中央集權の名目だけにても對外的に誇示せんとする南京政權は、反蔣聯盟が討蔣聯盟となり、その基礎も、根柢から顚覆されずやとの形勢を呈するに至つた。この形勢にして轉下せんか、支那の外交權は何處へ往くかといふことになりはせぬか。とにかく、南京政權の基礎は、根柢からぐらつき出し、その結着が如何になるか、そはともかくとして、東北四省の外交權もその實情も、最近の形勢とから判斷すれば、結局、從來のまゝにてうやむやのうちに推移するのではあるまいか。要するに、支那の實情といふものは、誰が何といふても、また南方政權などが、如何なる計畫を樹て、如何に宣傳せんとするも、何らの効果もないことになるのではあるまいか。從つて露支交渉の如きも、露支兩國、互ひに盛んなる宣傳戰を交はしつゝあるやうであるが、奉天側の獨自の解決交渉によるにあらざれば、解決せられぬことになるべく、南京政權の外交權の集中統制なるものゝ希望計畫も、まづ當分は實現せず、地方官憲の手によつて部分的ながら、ともかくも整理、持越しといふことになるのではあるまいか。

人民は强硬 政府は軟弱
東支問題と勞農側

【ハルビン發】ソウエート極東軍司令部では十日ハバロフスク市にて對支示威運動を行ふたが、支那勞働者も參加し非常に盛大であつた、勞農側としては支那軍隊が白系露人を先頭に立て國境を襲擊し凡ゆる宣傳を試み勞農を壓迫するに對し最早辛抱出來ぬと

本國政府に 請訓し最後の斷案として容赦なく鐵槌を下すばかりだと憤慨し、對支態度に就いて積極的の行動を執る決心を示してゐる、其れに本月三日大連から浦鹽に引揚げたダリバンクの一行とチエントルソユーズの代表約百數十名のうちモスクワに向つたものとハバロフスクに殘留したものとあるが、露支交渉は支那側の欺瞞とペテンであつたことが判明したのでいづれも憤慨せぬものなく、對支强硬論を主張するものが多くなり「支那は一擊を加へたならばペチヤンコになるだらう」と論ずるものあり次第に險惡の兆候を示しつゝある、然しモスクワ政府は全然

武力抗爭の 意志を有しておらず依然態度は軟弱であるため、支那政府としては東北政權の妥協主義を飽くまで排除し東鐵はこの儘管理權を回收することに方針を決定してゐる、果して極東總司令官のブルユーヘル將軍が如何なる手腕を示すか沿黑龍州ザバイカルの赤衞軍は多大の期待を有してゐるが、支那側は全軍を國境に集中したので勞農軍の示威的軍事行動には何等痛痒を感じなくなつ

勞農よりの對支通牒内容
本月十二日提出せる

本月十二日勞農外務人民委員よりドイツ大使を經て南京政府及奉天政權に與へたる通牒の内容左の如し

九月九日 同十九日、同二十五日の露領に對する支那軍及び白塔の砲擊及び侵入に對する警告及び抗議に不拘、此の侵入及び砲擊は頑强に繼續され松花江の河口及び黑龍江方面に於ては組織的に行はれ支那軍は松花江の河口及び黑龍江の沿岸に於て十月始め以來毎日若くは一晝夜を續けて露領内に於ける平和な良民を射擊して居る、白塔が支那國境より露領に向て國境通過を圖る場合には支那軍隊及び支那汽船に依て行はれる、又ソウエート軍は松花江の河口地方に於て支那軍の放流したる浮流水雷を捕獲する事屢々である、此の水雷は十月十日ミハエロフスコエ、セメヨノフスコエ地方に於て捕獲されたものである、十月十一日多くのソウエート船舶及國境守備船は松花江の河口附近で支那軍に狙擊された、又十月十二日には松花江より黑龍江に向ひつゝあつたソウエートの商船は支那軍より大砲及び機關銃を以て狙擊された、此結果若干のロシアの商船は損害を受け且つ死傷者を出したので、ソウエート商船護衞艦隊は支那軍艦に對して自衞的砲擊の止むを得ざるに至つた、斯くの如くにして支那側の砲擊は我軍の旺んなる砲擊にあつて漸く沈默したが、爾來支那軍及び白系の聯合軍は既に露領にある平和なる住民を砲擊して國境附近を騷がして居る、ソウエート政府は支那軍及び支那政府の支持の下にある白塔軍の露領侵略及び攻擊に對して抗議を提出する、且つ今後に於て露支國境の防備及び國境附近における平和なる勞働住民の保護の爲めに必要なる一切の手段を執るべき事を聲明する

撫順炭礦の五年度豫算
三千百餘萬圓

【撫順發】撫順炭礦五年度の事業費豫算の確定せるものは既報の如く九百六十萬圓であるが、同五年度營業費豫算は原案に依るとザツト二千二百萬圓見當で兩費を合すると撫順炭礦五年度の豫算は三千百六十萬圓位であるが、是が近日開催される營業費豫算查定會でどの程度に落付くか各方面から頗る注目されてゐる、因に右査定會に出席すべく山西炭礦長、大垣經理課長その他關係者は本十六日出連する筈である

日本人の巡捕
四平街丸屋商店 金秀照

巡捕とは、巡査の下に働く、下級警察吏のとである、巡査には、本俸外、加俸、舍宅料を支給されるが、巡捕にはそれがない、名稱が違ふ丈待遇も違ふ。世人齊しく巡査は、日本人、巡捕は支那人と思ふてゐる。處が、田舍警察には日本人の巡捕が居る、立派な帝國臣民でありながら、支那人同樣に扱はれてゐる、これはほらでも嘘でもない、現に公主嶺の警察にも一人の日本人巡捕が居る、賢明なる中谷局長閣下、一視同仁無差別平等とは、口先許りの御世辭ですか。

投書歡迎 中傷を目的とするのは採らず 新聞行數五十行以内のこと

連鎖商店經營者へ
三角義男

現在電氣遊園下に建設中の連鎖商店は東洋一と云はれるだけに大連に珍らしい近代的の建築物であり古い樣式の建物より外になかつた大連にもこの樣に立派な新しい味のある建築物が出來る樣になつた事を嬉しく思ひます、そしてその竣工と開店の日も近づきましたがこの時に當り一寸經營者當局に對してお願ひがあります

一、今度新に出來る連鎖商店內の道路の名前には大連銀座街、大連心齋橋通、大連京極、第二浪速通と云ふ樣に決定された相ですが、もう少し創造的な滿洲か大連にフサワシイよい名前はないものでせうか、內地のアリフレタ街の名に只大連と云ふ冠詞をつけただけのものを以つて連鎖商店內の通りの名にすると云ふ事はどうも面白くない方法です、大連市民の方々にでも考へて頂いてはどうですか、將來大連の誇りとなる物ですから、市民の皆樣はどうお考へですか？

二、日本の看板廣告の文字の書方は非常に亂雜を極めております卽ちタテガキあり、右ヨコガキあり、左ヨコガキあり、少しも統一がありません、將來は否一日も早く色々な方面から考へて文字の書方を左からヨコガキに統一しなければなりません、連鎖商店經營者はそこを十分注意して亂雜にならぬ樣卽ち看板廣告の大さを定めてそれに文字の書方も一定方向にしてヨコガキの場合は必ず左横書にと云ふ事に統一して頂きたいのであります

南征雜錄（九）
難波勝治

ニウオリンズ

ニウオリンズの北米南部に於ける經濟的位置に就ては今更私が茲に架說するに及ばぬ所であるが、近年ルイジアナ州は勿論テキサス、アルカンサス、アラバマ等各州の開發と相俟つて急速の進步を示したことは確に特筆に値する

同港目下の 人口は四十有五萬、之を他の米國諸大市に比すれば未だ多を誇るに足らぬ、併し水運に於て、工業に於て、特また金融に於て居然群を拔き、就中此港を通じて行はれる船舶輸送の如きは優にニユーヨークの次位にある、今最近同港埠頭に於て取扱はれた貨物噸數の統計を見るに

年次（毎年八月末日現在）	噸數（米噸）
一九一八	二、一一四、〇六六
一九一九	二、〇五一、四七九
一九二〇	二、七二六、一五六
一九二一	三、九九六、〇〇〇
一九二二	四、五〇四、六七八
一九二三	四、二一六、八九五
一九二四	四、一二八、一六三
一九二五	五、三八三、五六八
一九二六	四、八九九、三八五

といふ盛況で、以てその比率漸增の勢を窺ふに足りるが

この原因は 勿論合衆國の中央を貫流するミシシッピー河谷てふ深廣なるヒンタアランドの要衝を扼する爲である、併し同時に巴奈馬運河の開通と、該運河が歐洲大戰後俄に船舶の往來を繁くしたこと、及び南米諸國の開發に伴ふ南北兩大洲の貿易を促進したこと等を看過してはならぬ、ブラジルから歸朝の途にある私は其一例として同國とニウオリンズとの貿易、殊に珈琲の輸入狀況を擧げやうと思ふが、一千九百二十六年六月から翌年五月末に至る一年間にサントス港より海外に輸出された珈琲は總計九百八十三萬七千九百十七俵、內米國向け約六百三十萬俵に上り、之を

港別に分割 してニューヨーク港の三百一萬三十一俵に次ぐ者はニウオリンズ港の百九十八萬三千六俵であつた、而してこの現象は又色々の意味に於て同港と日本との關係を語る者である、卽ち既に小麥、棉花、機械油等の日本へ賣込まれて居たてふ直接交渉の外に前述の如くサントス港から輸入されるブラジルコーヒー中にはサンパウロに在住する日本植民の手に産出された者が相當交つて居ることである、左れば南米今後の發達につれてニウオリンズ港の位置は益々重要味を加へるだらうが更にそれは各地に散居する我が同胞の利害にも間接に影響を及ぼす者である

合衆國南部 の諸都市は之を北部に比して著るしく南歐文明の感化を受て居るが此痕跡は殊に著るしくニウオリンズに於て發見せられる、それは畢竟同港がラテン民族に依つて創立された爲めで一千七百十八年以來フランス植民の中心として本國からの勞力と文化とを輸入するに努めたが、併し當時の歐洲は各國互に勢力を爭ひその影響の及ぶ所常にアメリカ植民地に於ける主動移動となつたニウオリンズが一千七百六十二年スペインに讓與せられ、一千八百年再び元のフランスに買戻されるなど以てその間の消息を推想すべきだが、獨立後の合衆國政府が

フランスか ら之を讓り受けたのは三年後の一千八百三年であつた、斯した經過は自づから此港の特色を基礎付け市民の態度にも何となく南歐人の氣が味を帯びさせて居るやうに見へる【寫眞はニウオリンズ港棉花倉庫】

委員を更迭して新に血路を開く
撫順不動産組合總會

【撫順發】既報の如く不動産組合臨時總會は十四日午後二時より開催されたが「死活の岐路に立つ吾々組合員は事茲に至る不動産及地上權を外人に讓り渡しする外なく同志一致結束し炭礦當局にその認可を迫るのみと

連判狀を 作成、是に續々と記名捺印するもの等あり暗色全會場に溢れたが何等かのよりよき善後策を講ずべく松井佐兵衛氏を議長に推し甲論乙駁議論百出、後藤愛之助氏立つて「萬事既に休す本組合を解散するの外なし」と主張し是に和するものも相當あつたが委員會を開く爲二十分間休憩後田中廣吉氏立つて「折角の組合を今解散したとて得る利益はない、それよりも新陣容を整へ從來以上の總努力を以て何等かの活路を拓く方が得策である」事を說き、茲に於て交渉委員十氏は

總辭職す る事となり、新に代表委員七名を選ぶ事となり連記投票の結果、中原鐵光、風島井、松井佐兵衛、島末連、加藤百太、新井、神田藤太の七氏當選捲土重來の意氣込を以て何等か一方の血路を拓く事を決議、五時二十分散會した

俄案損失調査委員會の組織

【吉林發】露支時局發生以來東西兩國境方面に於て赤衞軍の襲來を受けて相當の損害を蒙りたるものと察せらるゝが、吉林省政府に於ては之等損害の一切を詳細に調査し他日問題解決の際損害要償の資料たらしめんとの主旨から民政廳内に俄案損失調査委員會を設置したのであつたが、茲に其内部の組織を擧ぐれば

委員長章啓槐（民政廳長）委員馬德懋（農鑛廳長）同鍾毓（交渉署長）同王之佑（吉林全省公安管理處長）同張松齡（總商會長）同胡炳文（總工會長）同謝廣霖（省農會長）總務股主任徐恢（民政廳祕書）調査股主任賈士鑑（同）にして委員の下に總務、調査兩股が設けられ孰れも其他に股員若干名を置いて居る、猶其調査事項として左記各項を列擧してゐる

一、軍事上に關する損失
二、財政上に關する損失
三、農業上に關する損失
四、工業上に關する損失
五、商業上に關する損失
六、交通上に關する損失
七、金融上に關する損失
八、人間の死傷、財產の掠奪、公私建物の破壞其他一切直接間接の損害

吉田野田兩巡査遭難義捐金寄附

○兩警官義捐金
▲金三百二圓 大連市北部町區有志▲金三十三圓八十錢 株式會社福昌公司社員有志▲金三十圓宛 匿名、大連看護婦會組合一同▲金二十圓宛 大連工業株式會社、大連古物商同業組合、昭和洋行、大連理髮業組合、普善堂、神道照教會修德會▲金十圓宛 桝田憲道、大連商品信託株式會社、宮下木藏、奧田千之、辻利支店、大連華商賀屋組合、瑞豐棉行、杉浦兼吉、曾善堂公所、關東廳刑務支所職員一同、大連驛▲金五圓宛 前田利實、三根辰一、岩崎文五郎、金子彦枝、相生權藏婦人、同、龍崎虎雄、小阪醫院、野田看板店々員一同▲金三圓宛 田場善太郎、花屋ホテル、山本勇▲金二圓宛 豐田太郎、渡邊吉人、龜田彌十郎、雨森清三郎、松本辰二、清水良吉、中野喜久二郎、川本麟太郎▲金五十錢宛 加藤恭助、東木可藏、富岡貞身、藤井鐵雄、晉次郎、根來寅太郎、山下直、辻廣志、井上增太郎、坂井午造、豐幾正士、鈴木義太郎、國木榮太郎、伊藤善▲三十錢 中山義朝
總累計金三千五百七十八圓五十五錢也（內大洋五圓）

○兩警官義捐金
▲金六十圓 大連民政署職員一同▲金二十圓宛 大連卸商組合埠頭水先人一同▲金十六圓 淺見月便用人一同▲金十五圓五十錢 快樂店一同▲金十一圓五十錢 南山麓小學校職員一同▲金十圓五十四錢 大廣場小學校職員一同▲金十圓 專賣局▲金五圓宛 大石橋近藤政子、萬玉洋行、撫順高野山遍照寺、小島多藏、金壹圓宛 小野寺兵右衛門、村上多次郎、澤邊承五郎、上坂サカ

○弔慰金
▲金六圓 高原清一郎▲金五圓 遞信局工務課第一試驗部

○見舞金
▲金四圓 高原清一郎

▲金二百圓 福譽阿彌陀會有志五十六名▲金一百圓 南滿洲旅館株式會社職員一同▲金四圓四十二錢 早苗高等小學校職員一同、平井大次郎▲金二圓宛 久保伊左衛門、水谷一雄、菅野茂一、玉谷良夫、山口耕平、村岡智、細川清次、黑川鶴藏、山岡廣、北條昌英、金田誠介、石塚太郎、無名氏、賀川肇、三木清助、吉田榮藏、光、直輔
累計金二千七十六圓二十六錢也

滿日地方版

奉天

優勝刀爭覇戰に機關區優勢
奉天道場における

鈴木總領事務所長寄贈の第一回優勝刀爭覇戰は十三日奉天道場に於て擧行されたが結局機關區四十點を以て優勝し栄ある優勝刀が授與されたその成績左の如し

一等機關區(四十點)二等驛(卅七點)三等列車區(卅二點)四等鐵事(廿七點)五等電氣(廿二點)

藤田九一郎氏 在支卅年
自祝宴を催す

藤田九一郎氏の在支卅年自祝宴は十四日午後六時からヤマトホテルに於て開かれた出席者は在滿各名士知己其他百五十名の多きに達し開宴前休憩室に於て松の羽衣、枯山伏、青海波、枕慈童等の餘興あり七時宴會場に入る席定り藤田氏は在支卅年間の經驗を述べて挨拶に代へ宮越氏は官民を代表して謝辭を述べ直に宴に移る、藤田氏が在支卅年その間苦心奮闘今日の藤田洋行を築き上げ更に第二回目の卅年を期待して努力さんとするに對し卅有餘年居住の諸氏も感慨無量の態で交々感想を述ぶるあり且つ今回初めてかくの如き[illegible]を[illegible]された藤田氏に對し只管祝福を祈つて盛會裡に九時過散會した猶これを永久に記念せんため有志は藤田氏に記念品を贈るべく話も出てゐる

佐野せき(二[illegible])は去る七月十八日[illegible]と稱する周旋人に連れられて京城より來奉し前借千二百圓であけぼの樓に抱へられたものであるが其の後三日目の檢査の折胸の病と診斷されそれからは座敷にも出られずそれかといつて來たばかりで入院すれば前借は增すばかりで同樓に於て靜養してゐた、しかしそれは[illegible]三ヶ月も經過した今日全く身の處置に窮してゐた[illegible]此の[illegible]は內地へ歸つて[illegible]すれば快癒しないことはないので[illegible]方某醫師の勸告により本人も鄉里長崎に歸省して[illegible]したいと思つても何分千何百圓の借金が身につき纏ひ自由に歸省も出來ず之が處置方を十四日奉天署に願ひ出た奉天署でも大に同情し樓主を呼び出して適當な處置をなす事になつた猶前記周旋人[illegible]なるものは行方さへ判明せず聞く所によれば彼は詐欺罪で入獄してゐると

個人商店の電氣報時實施

春日町時計店近江洋行では豫てモーターサイレン取付準備中であつたが愈々完成したので十五日から午前七時と正午と午後六時の三回各一分間宛モーターサイレンを鳴らすことになり十四日試運轉を行つた處好成績を納めた該サイレンは奉天に於て之が嚆矢である

貨物泥棒の實演
進行中の列車に飛乘

去る九日未明奉天驛を發した下り貨物四十三列車が柳條溝附近に差掛つた際該列車の徐行するを奇貨として之に飛び乘り大膽にも進行中の貨車の戸を開き多數の貨物を窃取せんとして逮捕されたる北陵東多小公司傭瓦職劉[illegible](二[illegible])外四名の犯人に關しては引續き奉天署で取調中であるが犯人の飛乘り實況を檢査することゝなり十四日午前九時半犯人劉[illegible]及び張忠玉(二[illegible])を奉天驛構內に連行し警察、軍隊、鐵道事務所、驛關係者立會ひの下に入換貨車を利用して飛び乘りを實驗せしめた、之に對し劉は得意となつて繩を持ち進行中の貨車に飛び乘り貨車の屋上に登り直に繩を屋上の鐵棒に結びつけ體伸ひにブラ下り施錠の針金を躊なく切り[illegible]

金を支拂ふから決算方を龍口に依頼しても一向決算する模樣なく遂に奉天署に清算通告方を願ひ出た

◇

市內彌生町勞働救濟會で保護を受けてゐた山內賀藏(二七)は十三日午後二時頃外出したまゝ歸宅せぬので之が搜査方を願ひ出た

人事

▲藤山雷太氏(上院議員) 十四日安奉線急行にて來奉

▲守田奉天居留民會長 十三日夜內地へ

▲埼玉縣商工課主催視察團一行十名 十四日安東より來奉同日撫順往復

▲日本旅行協會主催視察團一行 同上

▲滋賀縣實業視察團廿七名 十四日來奉

生田流の箏曲大會

[illegible]

名乘をあげた中國青年黨
國民黨に代る意氣込

[illegible]

病藝者が保護願

[illegible]

町の便り

[illegible]

旅順

貴院議員團旅順視察

內田嘉吉氏を團長とし[illegible]

遷宮祭參列の報告講演

[illegible]

兇賊逮捕の勞を犒ふ

[illegible]

九月犯罪件數

[illegible]

▲器物破壞に關するもの 七、檢擧八十三

▲取締規則違反百十九

防火宣傳施行

毎年滿洲は冬季中火災が多いが多くは煖房裝置の不完全から出火するもので、愈々ペーチカに火を入れる季節となつた今日此頃各家庭では充分注意が肝要であるが、長春警察署でも防火の徹底を期する爲めに各家庭に注意書を配布したが、來る二十日は消防隊と共力して大々的防火宣傳を行ふと

馬術大會出場

來る十九二十兩日大連で開催される馬術大會は長春からも選手が參加する筈で鐵嶺會は希望者を募つてゐる

長春

目ざましい教化方面の發展
中島文涉係長の觀察談

[illegible]

在鄉軍人祝賀

[illegible]

瓦房店

土中から二個の人骨發見
日露役の戰死者か

[illegible]

警察所評議員會等の爲め十四日本社に出張したが十八九日頃歸任すべしと

補習校修了式

[illegible]

老人會席會

[illegible]

ジフテリア流行

[illegible]

西村所長出張

[illegible]

開原

公學堂の記念式
成績品展覽會

開原公學堂にては創立第十五周年に相當する來る十七日午前十時同校講堂に於て記念式を擧行する事となつた、尚十七、八の兩日同校內に於て生徒成績品展覽會を催し一般の縱覽に供する事となつた、當日は生徒成績品のみならず滿鐵原種圃の大豆高粱其他に關する研究統計資料、警察署の諸統計資料並に開原取引所の諸統計資料其他邦人發展に關する諸資料等及び骨董品の時代的陳列等をなし公衆の縱覽を希望すると

解決するに至りたるは同所員の熱心努力によるものでその熱誠は一般有志を動かし七千餘圓の寄附を得本館の認可を得るに至つたもので九月一日既に起工せるが竣工は十一月末の豫定である

鮮人救濟協議會

水產罹災鮮人救濟に關する件につき十五日午後三時より地方事務所に於て發起人會を開催協議をなした

秋季音樂會

秋季音樂會は社會係主催にて來る十九日午後六時より滿鐵社員俱樂部に於て公演する事となつた尺八琴三絃の合奏にて當日は奉天の菊治大勾當も出演する

一、金剛石二、秋の言葉三、吉野天人の曲四、數島五、明治松竹梅六、菜の葉七、磯千鳥八、千鳥の曲九、銀世界十、茶の湯音頭十一、秋の曲十二、楓の花十三、筵の露十四、萩の露十五、六段の調

物凄い當り

[illegible]を見せ形勢逆轉數回五回戰迄は鷄冠山の勝と思はれたが俄然六回に至り列車區猛打を浴びせ一擧三點を奪ひ七回も鷄冠山得點なく遂に八A對七にて列車區辛勝す、時一時四十分メンバー並に戰績次の通り

先攻 鷄冠山
回數 一二三四五六七
鷄冠山 0034000 計7
列車區 2030003A 計8

列車區 安濱尾鶴大宮中前鶴 藤谷宜田里林川田田 1562734998
鷄冠山 藤原村石岡藤口島齊 佐藤西立吉齋谷福相 4619287553

人員揃はず

エー組鷄冠山對列車區の試合に引續きビー組用度對エフケーの試合が行はれるのであつたが、用度は棄權したのでエフケーは不戰一勝となり愈々本日最後の今春優勝チーム運友對本年初めて出陣せる通運との試合が安田、正門兩氏審判の下に開始せられた、今年始めての出陣として通運は守備に少し缺陷があつたが、四五名の猛打者を有し運友軍に肉迫してをつたが練習の差如何とも出來ず四A對一にて運友軍に凱歌が擧がつた

此のゲームを以て午前中の試合を了し午後十二時よりエー組第一回戰たる鷄冠山對安東列車區の試合が上條球正門安田三氏審判の下に開始せられた、兩軍とも

驛 1 2 3 4 5 6 7 8 9
東田 文 井田戸藤田德本
安神 楊塚水加町安藏
(先攻)
鷄冠山 回數 一二三四五六七
鷄冠山 0002011 計4
安東驛 5513011 計16

先攻
通運 回數 一二三四五六七
通運 0000100 計1
運友 111010A 計4

友 田本 藤川田本村藤
運 [illegible] 細岩林佐石松山吉佐 4856179 23
通 村肥中栖料沼村趙
運 本土田栗仁長崎島原 6514328 79

鞍山

小野田洋灰工場鞍山に設置せん
敷地について滿鐵に交涉中

小野田セメント會社大連支社の鞍山進出は立山に於ける工場地の買收に依つて確定したものゝ如く傳へられて居たが仄聞する處に依ると引込線の布設敷地の買收上に地主との間に支障を來たし立山への工場建設は目下一頓挫の姿であるが小野田側では寧ろ鞍山の附屬地內に建設する事を望み之が土地問題に就ては目下滿鐵當局と交渉中で既に鐵道西明治通附近を選定中であるかの如く巷間噂されて居る斯くして小野田セメントの工場地は立山よりも鞍山附屬地內が有力となつて來た模樣である、右に關し某有力者は語る

小野田の鞍山進出は二、三年前から唱へられて居たが土地問題の解決が涉々しくゆかない爲めに在今今日に及んで居るものと思はれるが何でも最初の豫定地であつた立山は支那人地主との關係から鞍山附屬地內に變更され既に土地問題に關しては滿鐵當局の了解なり小野田の大連支社としては山口縣の本社の決裁さへ得ば直ちに準備に着手する事になつて居る模樣であれば此の方が確實性がある樣に思はれる、何も附屬地外の立山に持つて行かなくとも鞍山には滿鐵の廣大な土地が有り餘つて居るのであるから市況繁榮の上から見ても是非鞍山に建設して貰ふ事を要望する

在鄉軍人會員等多數見送があつた

◇

既報琴曲角消豐子師の開軒三週年記念演奏會は十二日午後七時より公會堂大ホールにて催されたが聽衆定刻前より續々と押掛け廣大なる大ホールも立錐の餘地なき程の大盛況裡に午後十一時過閉會した

鞍山雜俎

滿鐵社會課では同課業務の參考に資する爲め映畵批評家岩崎昶氏を招聘し沿線主要地に於ける俱樂部公會堂其他の視察を乞ふ事となり鞍山へは來る二十四日來鞍すると尚ほ同氏は映畵批評家として著名な人であり又活動寫眞事業研究家として斯界內外の情勢に精通せる人であると

◇

滿鐵社會係主催のハーモニカ演奏會は來る二十日午後七時から小學校講堂に於て開催される由

◇

鞍山婦人會では十四日午後一時より高町梅根常三郎氏宅に於て役員會を開き種々打合せしたと

◇

十三日午前六時十分北二番町三丁目一一四番地の空家から出火し急報に依り消防隊出動同二十五分鎭火したが出火の原因は漏電らしく目下調査中で損害は金三十圓

觀兵式雜觀

在鞍德島縣有志は十三日午後六時から驛前食堂ますやに於て懇親會を催した

司令官に追從した所長代理の伊藤地方係長の山高フロックの乘馬姿の格好は實に堂に入つたもの、何處かの子供があのおぢさんチャプリンによく似てると言つて笑はせた、そんな事は御存じのない伊藤さん此馬は荒れ馬だが乘りこなしたよと得意滿面

×

觀兵式に參列した在鄉軍人及中學生の威風堂々たる行進に寺內司令官閣下は特に目を止め式後お賞めの言葉を頂戴して指揮官は我事の樣に喜ぶ

×

參觀者の立札を無視して司令官の位置へ濫りに這入つて平然たる不得者の居たのは遺憾であつた

×

觀兵式と言へば陸軍の儀式中で最も重大なもので參觀者は禮儀を失しない樣威儀を正しくして之を參觀すべきだが斯うした心掛けのある人が僅に二、三名であつた事も遺憾であつた

軟球野球大會
工務課A組優勝

滿洲日報鞍山支局主催の第三回スポンヂ野球六會は十三日終了したが支局寄贈の優勝旗は大會開始以來三ケ年引續いて優勝した製鐵所工務課A組が永久に獲得する事となり十三日夜銀線に於ける戰捷祝宴に選手一同は長谷川監督と共に支局を訪ひ挨拶の後滿洲日報の萬歲を三唱して引揚げた

金融組合一營業開始

鞍山金融組合は關東廳より補助資金四萬圓を送附して來たので愈々十四日から營業を開始した、組合加入希望者は此際至急申込まれ[illegible]

家政女學校研究會

關東州外の家政女學校聯合教育研究會は來る十九日鐵嶺家政女學校に於て開催すべく準備中である

若菜家不幸

當地機關區若菜半三郎氏長女トキエさんは目下奉天高女一學年就學中であるが一ケ月前より腸チブスの爲め鐵嶺醫院に入院經過良好のやうであつたが、二三日前より容體惡化し十三日晩八時遂に死亡した、享年十四兩親の悲嘆さこそと察せらる

鐵假面映畫

名映畫ダグラスの「鐵假面」は明十七日晚當地公會堂に於て上映されると入場料は大人一圓軍人學生半額小人三十錢

よく戰ひ地方事務所軍の如き全勝チームの強味を見せたに拘らず採點の結果は僅か三點の差を以て病院聯合軍に名を爲さしめた各軍得點左の如し

病院聯合軍五二點、地方事務所軍四九點、驛軍三九點、機關區軍三三點

第三回 滿日勝繼碁戰(秋元氏一回勝二回目)

先 秋元豐二郎氏
湯淺唯二氏
(8)

●一四一カ 四 ○一四二ヨ 五
●一四五カ 三 ○一四六ソ 十二
●一四九タ 十二 ○一五〇ツ 十三
●一五三ソ 十四 ○一五四ロ 二
●一五七イ 三 ○一五八ヲ 十一
●九五チの二の處とる ○九八劫とる
●一〇七劫とる
●一四三カ 五 ○一四四タ 六
●一四七ソ 十一 ○一四八レ 十一
●一五一ツ 十四 ○一五二ツ 十二
●一五五ニ 二 ○一五六ニ 一
●一五九ワ 十一 ○一六〇ワ 十
●一〇一劫とる ○一〇四劫とる

營口

夫婦殺し犯人逮捕

去る十二日營口市街二本町鮮人夫婦慘殺事件は發生當日三名の嫌疑者を取押へ取調中だが嚴重取調の結果三名の內二名は眞犯人なること判明した中原警部は犯行現場の模樣により犯人は常に被害者宅に出入するものゝ所爲なる見込をつけ宇和田警部補は直に人相等につき調査を開始し密偵數名を被害現場附近に張り込ませたがそれとは夢にも知らぬ犯人吳輝山は恐怖の念に驅られつゝも現場を見ざれば何となく氣にかゝりて素知らぬ體を裝ひ同日午前十一時頃張込みの地點を人目を忍びつゝ通行中擧動怪しきものと認められて押へられた初めは頑固にして實を吐かざりしも一々急所を突く訊問に遂に包み切れず遂一犯行を自白するに至つたその自白により犯行當時着てゐた着物を常に寢泊りする家から押へて來たがまるで鮮血を口に含み霧を吹きかけたように淺黃の長衣は一面紅けに染まつて如何に慘酷な殺しかたをしたかゞ想像される共犯者吳長人も同日午後四時頃二本町被害現場附近の飲食店の前で難なく取押へたが今一人の共犯者李某は早くも風を喰らつて何れにか逃走した然し共犯者の逮捕によつて人相其他が一切判明して居るから日ならずして縛に就くべく被害當時から僅かに數時間を出でずして而も我が法權の及ばざる犯者の二名までも取押へた事は各人通り繁き小平康里附近に於て共刑事の機敏なる活動によるとは云へ警察近來の大手柄と云ふべきである

遼陽

苦力宿舍落成

國際支店使用の苦力宿舍は何家屯に建築の計畫にて既に工事に着手し十五日上棟式を擧行することゝなり上田支店長より各方面に參列方を求めた

輪組臨時總會

遼陽輪入組合では廿一日午後一時から公會堂に於て第七回臨時總會開催左の事項に付協議すと

▲定款變更事後承認の件

▲山根ヨシ子外二名債務不履行に付除名處分の件

▲評議員三名補缺選擧の件

地方委員異動

遼陽地方委員に當選した列車分區助役加治屋武盛氏は奉天列車區に榮轉の旨社報で發表されたので、十四日附地方事務所へ辭任の申出であり豫備委員安藤吉三郎氏が補缺さるる筈

在鄉軍人射擊大會

遼陽在鄉軍人分會主催の射擊大會は十三日首山陸軍射擊場に於て擧行したが、當日主なる成績左の通りで優等者には賞品を授與したと

▲既教育者 平野新助(卅七點)山田幸之(卅七點)菅沼清(卅四點)佐々木勝彌(卅三點)濱田清作(廿九點)杉山良市(廿九點)沼口子(廿九點)和田順助(廿八點)廣田一(廿五點)村上元氣(廿五點)

▲未教育者 田代重男(卅一點)吉留三雄(卅點)村島奎五郎(廿八點)福島德藏(廿五點)

▲來賓 地家精(廿七點)森彰一郎(廿三點)藤島佐助(廿一點)須田敬治(廿一點)中山次夫(十七點)

酒井分隊長招宴

遼陽憲兵分隊長酒井少佐は二宮關東憲兵隊長の來遼を機とし、十四日午後五時半から偕行社に席を設け日支官民の有志及び新聞通信記者其の他約三十名を招待新任披露宴を張つた

人事

▲島工學博士(元滿鐵理事) 十四日朝來遼工場視察の上同日急行で北行

▲石井甫氏(遼陽醫院眼科) は今回同院醫長心得を命ぜられた

鐵嶺

青年團の新陣容
團長以下幹部きまる

鐵嶺青年團では十二日晚滿鐵クラブに於て第一回幹事會を開催し、後任團長には滿場一致を以て山田敬二氏を推し新陣容を左の如く定めた

團長山內敬二、幹事長本多正、旗手立島嘉一、涉外部松崎義造、酒井鐵、計畫部江崎忠藏、高松定義、佐藤怡、佐竹金次、既成事業部小木曾資雄、松崎義造、運動部松崎義造、小木曾資雄、酒井鐵、佐藤怡、修養部江崎忠藏、廣澤正男、立島嘉一、佐竹金次、會計廣澤正男、記錄本多正

尚前初代團長川上謙氏死去につき弔辭並弔慰金贈呈の件及び前團長德本延藏氏に對する記念品贈呈の件は共に可決した

騎兵馬隊移駐

日支衝突事件を源起したる問題の鐵嶺公安局騎兵馬隊は居留地近くにあり、日本人との接觸多く今後事件の發生を憂ひてか支那側では遠く北關雛蔵市場附近に新兵舍を施設し茲に移轉せしむる事となつて十三日全部移つた

滿鐵庭球大會

十三日開催された鐵嶺滿鐵各所對抗カップ爭奪庭球大會は各軍共に

安東

若い妻を庖丁で斬殺す
鮮人の發作的兇行

新義州府內農町九番地勞働者鄭京熙(三[illegible])は十二日午後九時半ごろ突然自宅の炊事場にあつた出刃庖丁を振りかざし、溫突にて今まで對談してゐた妻李寶丹(二[illegible])の右肩に深さ一寸程の重傷を負はせ直に姿を晦ましたが、妻の悲鳴を聞いた近隣の者が馳せ付け此の有樣を見て早速に新義州署に急報すると共に直に李を附近病院に連れ込み手當を施したが同夜十一時二十分頃遂に死亡した、新義州署では直に非常召集を行ひ嚴重搜査をなした處十三日午前十一時頃藤田澱王子製紙會社附近の草叢に潛伏中を難なく逮捕し目下嚴重取調中であるが、鄭は一ケ月程前より精神に異狀を來たしてゐた事とて突發的に此の惨虐を行つたのではあるまいかとも見られてゐる

准職員資格試驗

滿鐵では來る二十一日大連、安東、鞍山、奉天、撫順、長春の六ヶ所に於て准職員資格試驗を行ふが、安東に於ける試驗場は安東共同事務所階上會議室で試驗は左の通り行はるゝと

△國語作文(一時間半)午前八時より同九時迄

△算術(一時間半)九時四十分より同十一時迄

△外國語(甲種受驗者のみ)(一時間半)午前十一時二十分より午後零時五十分迄

スポンヂ野球第一回戰の盛況
十三日驛前運動場で

安東新報社主催の安東軟式野球大會第一回戰は十三日午前八時より驛前グラウンドに於て開催された此の日碧空高く澄み渡り絕好の野球日和、定刻の八時試合に先だち今春優勝チームエー組貨友より優勝旗ビー組運友より優勝盃の返還あり

劈頭戰たる

ビー組滿銀對機工軍の試合は球審安田壘審野田兩氏審判の下に行はれ兩軍技倆伯仲最後迄勝敗何れとも分たなかつたが、遂に機工軍四對三のスコアーにて辛勝した

滿銀 機工 先攻
回數 一二三四五六七
滿銀 0000003 計3
機工 0101002 計4

軍 滿銀 門淵浦口田本田 保 正巻梶原岡榎三 金 123456789
軍 機工 川田藤永田野田村驛下 久 小金加福藤能吉下學木 123456789 牟

打つて打ちまくり

次で安東驛と遠征軍鷄冠山ビー組一回戰も球安出壘正門審判の下に開始せられ、驛軍鷄冠山投手の球を打つて打つて打ちまくり五回迄に十四點を得たに反し鷄軍調子惡く四回に僅か二點を得たのみにて遂にコールドゲームを宣せられ遠征の望みも空しく慘敗した

鷄冠山 原 田江川藤浦矢 泉原
藤森中齊杉大 土佐

安義雜聞

白馬に清遊

安東滿鐵醫院看護婦團一行四十五名は十三日の日曜日を利用し白馬に一日の淸遊を試みたが、安東高女生四十名も同列車にて白馬に旅行し十五時四十分着列車にて何れも元氣にて歸安した

◇

安東大和小學校生徒の朝博見學團第三隊一行百二十名は十二日夜出發したが先發の第一隊一行百名は十三日夜途中平壤を見學し歸安した

◇

富屋洋行主催のレート化粧品販賣店一行二十四名の朝博見物團は十四日朝歸安した

◇

關東憲兵司令官二宮大佐は安東憲兵分隊の檢閱をなし十三日朝離安したが驛頭には芝崎副領事、茅野新義州憲兵隊長外安東憲兵分隊員

三共とその藥品

我三共は、約三十年前鹽原氏の創業に係り、爾來日新の學術應用を根柢となし、堅實漸進の主義方針を嚴守し。幸に江湖の信認と後援とを得て、日に月に順調なる發達を遂げ、今や、その取扱藥品類は下揭の數百を算し、醫家は各科の專門と否とに不拘當社藥品を常用せられざるはなき現狀であります。

本表は、本會社取扱の醫藥、滋養劑並に化粧品類のみを示したものであります。

醫藥は、應用上の搜索に便する爲、之を藥效別（例へば健胃消化藥）とし、又藥效を以て擧げ難きものは病名別（例へば脚氣藥）とし、其他は日常の稱呼（例へば丁幾、越幾斯等）により類別しました。

三共の醫藥品中には、帝國學士院及帝國發明協會より授賞せられたる榮譽の研究品（タカヂアスターゼ、アドリナリン、オリザニン、テトロドトキシン等）あり。其他何れも醫藥として治療界の承認する優秀なる製品のみであります。

三共藥品時價表進呈す
新聞名記載御申越の方に限る

東京室町　三共株式會社

三共の藥品類別便覽

催眠、鎭痛、鎭痙鎭靜劑 ／ 麻醉劑 ／ 滋養強壯劑 ／ 健胃消化素 ／ 強心劑 ／ 利尿劑 ／ 血管擴大藥 ／ 高血壓症藥 ／ 止血藥 ／ 脚氣藥 ／ 緩下劑 ／ 止瀉劑 ／ 治淋劑 ／ 子宮緊縮藥 ／ 陰萎治療並催淫藥 ／ 腸寄生蟲驅除藥 ／ 尿酸排除藥 ／ 防腐藥 ／ ロイマチス藥 ／ バセドウ氏病藥 ／ 特殊消毒藥 ／ 肝臟藥 ／ 利膽藥 ／ 喘息藥 ／ 止汗藥 ／ 惡阻治療藥 ／ 鼻科特殊藥 ／ 耳科特殊藥 ／ 葡萄狀球菌病藥 ／ 瘰癧横痃藥 ／ 癤內用藥 ／ 疔癰藥 ／ 軟性下疳特效藥 ／ 花柳病豫防藥 ／ 眼科特殊藥 ／ 汗疱、凍傷藥 ／ 發毛劑 ／ 瘢痕軟解藥 ／ 角質除去藥 ／ 皮膚刺戟劑 ／ 消炎劑 ／ 鎭咳袪痰劑 ／ 催乳劑 ／ アメーバ赤痢藥 ／ 百日咳藥 ／ 糖尿病藥 ／ 肺炎藥 ／ 解熱藥 ／ ヨード劑 ／ カルチウム劑 ／ 臟器製劑 ／ 吸着劑 ／ 丹毒外用塗布劑 ／ 假骨形成促進劑 ／ 佝僂病 ／ 肥滿病治療藥 ／ 非特異性刺戟劑 ／ 坐劑類（痔及肛門病） ／ 外科材料 ／ 化學藥及試藥 ／ 調味料 ／ 銀劑 ／ 害蟲驅除藥 ／ 爾他の藥品 ／ 注射用錠劑 ／ 越幾斯類 ／ 流動越幾斯類 ／ 丁幾類 ／ 粉末及散劑類 ／ 硬膏類 ／ 液劑類 ／ 酸類 ／ 軟膏及パスタ劑 ／ 油類 ／ 舍利別類 ／ 果實蜜類 ／ 酒精及酒精劑類 ／ 酒劑類 ／ 脂肪類 ／ 藥用石鹼類 ／ 水劑類 ／ 其他 ／ 化粧品類

鎭咳袪痰 ブロチン

粉末・錠劑・液劑

氣味佳良、副作用絶無奏效顯著なるを知らる

急、慢性の呼吸器疾患にて咳嗽喀痰を伴ふ凡ての場合並に百日咳に賞用せらる。

（說明書進呈）

オキシフル

齒牙の美白に、口臭其他の口腔疾患に

三共特製　過酸化水素液

三共肝乳

飲みやすき肝油・胃障碍なき肝油

快香ある牛乳樣製品　詳細說明書進呈

胃腸に タカヂアスターゼ

世界に冠たる消化酵素

藥學博士高峰讓吉氏發見

消化不良並に消化不良に因する各種の胃腸疾患に奏效顯著なり。

包裝　錠、末各種　說明書進呈

脚氣に オリザニン

世界に於けるヴイタミンBの始祖

學界に於ける標準品

說明書進呈

コドモページ

紅い葵(下)

武藤一枝

或る晩、それは六月二十五日です。私は、となりの室で一人ねてゐるお母さんを思ひ出して、まだ夜の明け切れない薄暗い頃でしたが、眠いのをこらへて、牛乳と氷と、新聞を持つて、となりの室へ入つてゆきました。それは夢の樣な靜かな夜明けで、まだ世界中が眠つてゐるやうで、東の窓からは、夏の曉の薄明りがしら〴〵と流れこんで、お母さんの青白い顔を照らして、まるで、大理石の女神の像が、青い月光の中に横たはつてゐるやうです。室の隅々にはまだ闇がチラ〳〵と姿を見せてゐます。私がそつと、まくら元へ牛乳びんをおくと「今日は早いのねえ、御苦勞さんだこと、ほんとうにお世話になつた……」と、眠つてゐると許り思つたお母さんがから言ひました、「はい。お母さんも早いのね、牛乳か氷いらない?」と私もやさしくたづねました。

「あゝ、今日は何もほしくないから、お前お上りよ」とお母さんはあべこべに私にすゝめて、又靜かに瞼をとぢました。あゝ、あの葵の事は忘れていられるのだと私はホツとした間もなく「ちよつと、葵の花はどうしたの ちつとも見えないぢやないの」とお母さんはたづねるのです。あゝ、お母さんは私が言つたあの一言をあてにして、こんなにまで紅い葵の咲くのを待つてゐるのでした。

「えゝ、室の中におくと、早く咲かないから外へ出してあるの—」私はから言ひましたが、お母さんの心を思ひやると悲しくて、涙がポロ〳〵と流れました。それからだんだん夜が明けて、お母さんは珍しく晝近くなるまで、私達子供を呼んで、病氣にかからない前の樣な、やさしい言葉をかけてくれました。けれども夕方から夜にかけて、めつきり惡くなつて、私が何か言つても聞えない程になり、話をする事も出來なくなりました。お醫者さんも、私達子供もお父さんも皆、傍へ集つて一生懸命に看護してゐました。その時、お母さんが苦しい息の中から「今日は……いく日?」と私にたづねました。

「二十五日、お母さん」と私は耳に口をよせて大きい聲で言ひますと「さう……六月二十五日……」と呟いて、青ざめた瞼をとぢて、うつら〳〵と眠つてゐる樣です。そして、九時五分になると、眠るやうに、目を細めて、私達子供やお父さんをぼんやりと眺めて、そのまゝ靜かに、天國の神樣のお傍へ歸つてしまひました。たつた三十六の若さで、まだお乳を飲む二つの赤ん坊を殘して、あ!とう〳〵亡くなつた!私は烈しく泣きながら。庭へ出て葵の鉢を見ますと、ふしぎにもカラカラに枯てゐるのでした。

「この葵がひらかなつた爲に…」と私は、植木鉢を力まかせに投げつけて割つてしまひました。あんな恨めしい花!何が印度のお姫樣。何が可愛い花、あんな花は惡魔の舌と同じ事です。私はもう一生涯、あの紅い葵を憎んでやらうと思ひます。時々、紅い葵の花を見ると、あの花をたよりにして、とう〳〵死んで行つた、お母さんの心を思ひやり、いつも涙ぐむのです(をはり)

右へーならへツ!番號ツ、ワン、ワン、ワン、ワン

ニドメノ大チャンノタンケン (121)

ハルミチ作 ジラウ畫

ダラスハ シマニ フネヲ コギヨセテ カイガンニ アガルト アタリヲ イツシヤウケンメイ サガシハジメマシタ。シカシ ウミノカミサマニモ オヒメサマニモ アフコトガ デキマセンデシタ。

ダラスハ ダンダン モリノオクノハウニ ハイツテ ユキマシタガ シバラクシテ コダカイ ヤマノカゲニ 一ケンノ イヘヲ ミツケマシタ。「アレダ、アレダ」ダラスハ オドリアガツテヨロコビマシタ

ダラスガ ウミノ カミサマノ ウチダト オモツタノハ オソロシイ ヒトクヒドジンノ コヤデシタ。シカシ ソンナコトヲ シラナイ ダラスハ ヤマヲ カケオリテ コヤノハウニ ススンデイキマシタ。

兒童の作品

虫ぼし

伏見臺小學校二年 白石敏子

今日は學校で虫ぼしがありました よしをかさんがふろしきに着物をたくさん入れて持つてきました、それからせんせいがきやうしつにつなをはつて、よしをかさんのもめんのもんつきを一とうさきにかけました、それから私の家のおとうさんのもんつきのはおりをかけました、三ばんめは中川さんのうちのはかまをかけました、四ばんめはやつぱりはかまです、それはちまちやんのおにいさんのです。せんせいが中川さんのうちのおとうさんのはおりをきましたので、みんなが大わらひをしました、それから又はかまをはかうとしたので又みんながわらひました。それからじゆん〳〵にいろ〳〵のきものをかけました。田中さんがはつえさんのめりんすのきものをきて、光るおびをしめて、よしをかさんのわた入のはおりをきました。その時ほんたうにかはいらしかつたです。よしをかさんはわた入のはおりをお正月にきるさうです、はつえさんもお正月にきるさうです。よしをかさんもはつえさんもほんたうにうれしいことでせう。今日の虫ぼしはほんたうにおもしろかつたです、私たちのきやうしつは、いま、きものがたくさんかけてあります。よそのくみのせいとがめづらしがつて、私たちのきやうしつをのぞきます。

國際ジャンボリー 寫眞だより(その二)

大連少年團主事 阿左見生

輝く日章旗

毎日の行事としてありました國旗行進の時、千五百人も引率した米、丁、佛、英などに伍して私達廿八人は少しもひけをとらず、いや實に堂々と元氣よく行進致しました、それは日章旗と聯盟旗が相次いで進む時數萬の觀衆が拍子して迎へてくれたからでありませうが、私達は人數の少いだけよく結束したお蔭だと思ひます

教育

兒童遊園とそのプラン……(九)

關東廳體育研究所主事 山本壽喜太

墻園の必要

「かこひ」なき運動場は一つの空地である「かき」が運動場に必要か不必要かと云ふ論議の時代は過ぎ去つて「かき」を造らなければならぬと云ふことは今日の輿論となつてゐる。何故か。

(イ) 運動場に美觀を添へると云ふ點

(ロ) 兒童は街路の交通と全く遮斷されて安全にされると云ふ點 即ち兒童は遊びに夢中になる結果或はボールを追つかけ、又は追跡から逃れ樣として街路に飛び出し、不慮の傷害を受けることがあるからである。

(ハ) 遊園を外界と分離するから管理の問題を容易ならしめ、遊園に明確な個性を與へ忠實の精神を養ふに好都合ならしめる。

墻園の要件

然らば「かき」は如何なる要件を具備し如何なる種類のものを選ぶ事とするか。要件としてはボールを外に出さない丈けの高さがあること。人が之れに攀ぢ登ることを防ぐ樣に造られること。兒童が之れに衝突したり或は倚りかゝる樣な事があつても、十分それに堪へられる樣なものなること。種類にけ色々ある。鋼鐵製のものは非常に良いが高價である。常綠樹の生垣を好む者もあるが、最も普通に用ひられるものはワイヤーフエンスである。この場合にはボールを出さない丈けの目を必要とする。ボール遊びが演ぜられる地域の「かき」の高さは少くとも十呎なければならぬ。

新刊教育書紹介

▲教育學術界(十月號) 既成宗教の價値を論じて將來の宗教に及ぶソビエートロシア就學者教育時代の推移と教育、職業としての教育興味論の考案、その他(三)五十錢東京市牛込區市谷田町モナス)

▲教育論叢(十月號) 國史教育の提唱を論ず、國史教育の背景、思想問題再考、偉人傳の教育的價値、教化總動員について、その他同人主張、研究、隨筆等(五十錢東京市牛込區赤城元町文教書院)

▲讀方綴方鑑賞文選(尋常一年から高等科まで)課外讀物として好適のもの、月刊で各學年別に出來てゐる、定價は尋常の部は各冊五錢高等科は十錢(東京神田區一ツ橋文園社)

▲教育時論(十月五日號) 適當程度の活用、學童の健康及疾病豫防、國定教科書の官營問題、試驗廢止の考察、學年の區限り方其他(十八錢東京市麹町區三番町開發社)

▲ローマ字の日本(十月號) 二十錢日本のローマ字社

6―3 慶大軍長蛇を逸し 早大軍遂に優勝
九回佐藤の一打に形勢逆轉 早慶野球決勝戰

【東京特電十五日發】早慶決勝戰は神宮球場にて天知、横澤兩氏審判早大の先攻で午後二時より開始熱狂の最高潮裡に開始されたが六對三にて早大が優勝した閉戰四時十八分

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
早大	0	0	0	1	0	0	0	1	4	6
慶大	1	0	1	0	0	0	1	0	0	3

試合經過

▲第一回 早大水原ストレート四球に出で矢島第一球を投前にバントして水原を二壘に送る、伊丹の遊撃ゴロで水原三盜するも森の二壘右强ゴロを本郷シングルにて摑み森を一壘に殺す▲慶大楠見ファウルの後近目の球を遊三間に安打し本郷のバントで楠見二壘に送られ山下の安打で楠見三進し二走者となり慶應絶好のチャンスとなり宮武二、三の後ストレートを中堅右に安打し楠見生還、山下三壘に進み其の間宮武も二壘を奪ふ、井川四球で滿壘、町田の投飛で山下本壘に封殺、慶大また滿壘水原二三ののち投手ゴロで倒る

▲第二回 早大水上遊撃ゴロ、西村右翼飛球、小川遠い球を空振して退く△慶大川瀬四球、加藤の犧打で二壘に送らる、楠見中飛、本郷遊飛

▲第三回 早大佐藤捕前ゴロ、富永投手ゴロ、水原四球を得て出たが矢島中堅飛球△慶應山下三振、宮武右翼飛球、井川の中堅飛球は中堅手と右翼手ゆづりあつて安打となり意外の拾物した後二盜し町田の三壘右を拔く安打で井川長驅二壘から生還、水原二壘ゴロで止む

▲第四回 早大伊丹左翼飛球、森遊撃頭上を拔く安打と、捕逸で二進す、水上近目のアウトカーブを左翼前に安打、森三振す早大好機を迎へ水上二盜ののち西村四球を利して滿壘、小川の二壘ゴロで西村二壘に封殺されその間森生還、水上三盜す、佐藤左飛を打上げて退く、早大一點を酬ゆ△慶大川瀬遊撃ゴロ加藤遊飛、楠見ドロップを空振

▲第五回 (慶大堀右翼手となる)早大富永遊撃凡飛、水原二一二ののち遠目の球を三壘手右に强打したが水原體を斜にして見事に摑み一壘で刺す、矢島右飛△慶大本郷右翼飛球、山下ストレートを中前に安打、宮武遊三間に安打、堀の三前で宮武二壘に刺され山下は三盜し走者一―三壘を占め堀二盜ののち町田中堅に打上ぐ

▲第六回 早大伊丹遊撃ゴロ、森二一二の三前を放ち山下タッチの際落球し森辛くも一壘に生き水上中堅飛球、西村二壘フライ△慶大水原見逭して三振、川瀬三飛、加藤一壘に打上ぐ

▲第七回 早大小川三振、佐藤遊撃ゴロ、富永三壘にファウル△慶大楠見四球に出で、本郷の犧打で二壘に送られ山下二―二の後緩いスローボールを輕く當てれば球は遊三間を拔く安打となり楠見二壘から一氣に本壘に走り生還、宮武敬遠四球に出で堀の遊飛で宮武二壘に封殺され山下三振、町田投飛を呈して退く慶大一點を加ふ

▲第八回 早大水原四球を得杉田屋(矢島に代る)中堅飛球、伊丹も中飛で早大振はず、森一―一後のストレートを左中間に二壘打を放ち水原一壘から一擧に本壘に入り一點を酬ゆ(此時慶應堀退き水原を投手とし宮武一壘手山下右翼手に川瀬三壘手に岡田捕手となる)今井(森の代走)水上中堅に飛球(早大弘世中堅を退き三壘手となる)△慶大水原投手を猛襲したが球は遊飛一壘に刺さる、川瀬四球に出るも加藤三壘ゴロ楠見三壘飛球

▲第九回 早大伊達(西村代打)遊撃越安打に出で、小川一壘線にバントを水原投手一壘に高投し佐伯(伊達の代走)三壘まで進み小川二壘に進み**佐藤一―二後のストレートを中前に放ち楠見中堅手前進したが間に合はず却つて後逸し佐伯小川佐藤、本壘に連走して三點を擧げ**俄然形勢一轉早大二點をリードす、水原二壘越安打を放つ(慶大再び陣容を變へ宮武投手に、山下一壘に水原三壘に、梶上右翼手となる)弘世四球を得、二走者となり伊丹中堅に安打、水原二壘から本壘に飛込んで一點を增し黑木右飛、水上投手ゴロ(早大一壘手内川となる)▲慶大伊藤(本郷に代る)右翼飛球、山下二壘飛球、宮武遊撃ゴロ慶大最後の攻撃空しく遂に六對三で早大優勝す

聖上陛下 初行幸
帝展の光榮

【東京十五日發電】天皇陛下には十五日午後上野へ行幸遊ばされて帝展を御觀賞更に照宮樣と御共に動物園を御一巡あらせられ快晴に惠まれた秋の半日を寛がせ給ふた、帝展動物園共に聖上陛下として最初の行幸を仰いだことゝて所員熱誠を罩めて奉迎御説明申上げた

秋の日ざし 滿鐵協和會館前で

歌御會始の題者奉行
きのふ任命

【東京十五日發電】毎年宮中御恒例の歌御會始めの御儀に際し十二月中に勅題仰せ出されるがこれに先立ち十五日左の如く光榮の題者その他任命の御沙汰あつた

御歌所長 入江為守
昭和五年歌御會始め題者被仰附
御歌所參候 子爵 町尻量弘
同 外山且正
昭和五年度歌御會始め奉行被仰附

砲聲物凄く 肉彈戰を展開す
昨日金州城外に血沸き返る 旅團對抗演習の壯觀

【金州十五日電話】十五日午前九時半金州城東北の三崎山及び附近一帶に總退却をなし精鋭なる部隊を增加して陣容を改めたる北軍赤松枝隊は南軍の襲來今やおそしと待ち構へる内、追擊せる南軍は先づ南山に砲兵陣地を布き青島中學生徒五十三名を加へたる步兵は南山を出て新市街を經て負全山へと戰線を布く一方北軍は之を一氣に押潰す計畫を立て三崎山にありし大部隊及び北三里庄枝隊本部を金州城東門外に進めて互に機關銃小銃の火蓋を切つた、後方より射出す野砲の殷々たる砲聲は堂々金州の天地を壓し宛然南山戰役其儘の光景を呈し東門外附近に進めたる步兵隊は南門外に續く金福線路を橫切り南軍に肉薄して玆に勇敢なる肉彈戰が展開された、時午後三時半、此時休止命令のラッパは嚠喨として統監部よりなり響き各部隊一齊に戰鬪を止めて休戰狀態に入つた後、統監部中村少將より赤松枝隊に對する成績稍良好、名越枝隊に對しては遺憾の點ありしも成績稍良好との總評あり續いて松井第十六師團長の總評あつて午後四時四十分第一日本演習の幕は閉ぢた

引續き午後五時半より薄暗い宵を利用して南軍は周水子方面に退却、北軍は直ちに是を追跡して十六日拂曉周水子東方の山に於て接戰を試むべく第二日の行動に入つた

全滿洲對學生聯盟 柔道戰組合せ決る
滿洲軍には小谷五段が出場す
勝利は何れに?

十七日午後一時から中央公園にて擧行される全滿洲對東京學生聯盟の柔道試合に出場する兩軍のメンバー交換は十五日午前十時社員クラブに於て行はれる筈だつたが、東京學生聯盟は兩軍の段を平均せしむることを固守して讓らず、滿洲軍も遂に小谷五段一名を加へ東京滿鐵支社から馳せ參じた淺見五段その他も出場不可能となり、漸く午後三時に至り左の如くメンバーの交換を見た

學生聯盟			全滿洲		
大將	四段	菊地(中大)	大將	五段	小谷
副將	同	加瀨(立大)	副將	四段	吉原
	同	石橋(中大)		同	島田
	同	池田(農大)		同	土居
	同	高木(龍)立大		同	坂田
	同	草加(拓大)		同	梶
	同	森口(中大)		同	石垣
	同	小泉(農大)		三段	大野
	三段	細川(高師)		同	星
	同	高井(中大)		同	筆保
	同	平田(拓大)		同	岡部
	同	鹽谷(高師)		同	今里
	同	尾崎(立大)		同	宮崎
	同	吉田(高師)		同	櫃田
	同	磯部(拓大)		同	稻木
	同	石井(立大)		同	野口
	同	大久保(中大)		同	野間口
	同	大瀧(高師)		同	三間
	同	弘(高師)		同	野崎
	同	高木(武)拓大		同	佐々木

平野畫伯の南畫展
愈よあすから

既報の如く平野古桑畫伯の南畫展は來る十七、八の兩日三越で開かれるが、畫伯は故竹田、直入の直系として現存するたゞ一人の南畫家であつて、現在で兩畫聖の雜書するものは古桑畫伯の他にはないと云ふ、南畫には煎茶、生花がつきものであるがその師竹邨畫伯も東都における斯道の大家である、今回陳列する作品中特に同好者の注意を惹いてゐるのは今國寶となつてゐる陳列の觀音を畫伯が所藏時代に模寫したもの五種類五點の繪である、この原畫は全財產を投出して手に入れたと聞く、なほ南畫の粹を發揮して一筆描きの異畫も陳べる筈でその妙筆は斯界に於ける第一人者である(寫眞は畫伯が竹田風の試みと三日間を費して描いた金點米法山水である)

吉田部長殺しの 周存正愈よけふ送局

去月三十日夜大連十代田廣場に於て潛伏警戒中の吉田巡査を射殺し野田巡査を負傷せしめた兇賊周存正(三こ)に對しては大連署司法係大崎警部補係りとなり嚴重取調中であつたが、周は管外の七年前に於ける妻女殺し事件を始め本年九月廿三日に於ける某所の拳銃窃取事件、同二十六日の西公園町一五五雜貨商周國棟の强盜事件ソレに前記の吉田巡查射殺、野田巡查傷害事件のほか二、三の窃盜事件を自白したので十六日身柄は一件書類と共に檢察局に送られる、周は既に觀念したもの丶如く良心の苛責で苦んでゐる俺を何時までも活かしてゐるのは慘酷だ、早く殺して呉れと口癖のやうに云つてゐると

珍しく緊張
警察署長會議第二日

關東廳管下の警察署長會議第二日は午前中諸問事項の審議を完了し午後一時半長官以下一同本廳玄關前にて記念撮影の後關係各署管内狀況報告を後廻しとなし日程を變更して直に部外希望事項協議に移り神田内務局長以下列席の水谷地方、三浦外事、藤田學務、小川殖產、竹内土木、日下文書各課長より夫々所管事務に關し警察署の共助方を具陳する所あり引續き部内協議に入り州内外各署より提出の諸問題につき協議したが警務課では執達事務警備演習營業臨檢其他高等課では新聞雜誌取締法規、要視察人に關する件又保安課では自動車運轉手取締や人身賣買類似の養女に關する件、衞生課では支那醫生の限地開業、傳染病豫防規則等に關する問題等飛び出し會議は新局長を迎へて最初の會議とし頗る緊張味を帶び意見百出し愼重なる審議が續き午後六時に至るも完了に至らず止むなく一部は第三日に廻して散會一同は千歲俱樂部に於ける警務局長の晩餐會に臨んだ

龜割代議士 召喚さる
京電事件で

【東京十五日發電】京都電燈疑獄に關し十五日午前九時半利原鐵山株式會社長、有馬鐵道取締役、政友會代議士龜割安藏氏を召喚石郷岡檢事より峻烈なる取調を行つた斯くて某遞信大官の召喚愈々迫つて來た模樣である

大連哈市間 無電連絡
最近漸く復活

大連無線電信局と哈爾賓支那無線局間の無線連絡は本年七月東支鐵道問題勃發に伴ひ哈爾賓無線局に於て時局關係電報取扱多忙のため同月二十五日以來自然中止の狀態となつてゐたが大連無線局では連絡復舊方を再三嚴重に督促した結果最近漸く通信を再開し從來通り毎日午前八時、同十一時、午後二時、同六時、同九時、同十一時より一時間宛六回連絡して哈爾賓宛和文電報の取扱を爲すこととなつた

人氣を呼ぶ 奉天の國際競技
日支とも座席が不足

【奉天特電十五日發】日獨支對抗競技も後四日に迫つて來たが、此記錄的一大壯擧に日支兩國民は絕大の期待をもつて迎へ千五百の日本側借受スタンドは既に奉天だけで千餘の申込ありしため沿線よりの參觀申込に對し善後策を講じて居るが、收容出來ざる場合は遺憾ながら直接支那側に申込まねばならぬものと見られてゐるが、支那側でも人氣沸騰し豫定數一萬五千を超過するものと見られて居るので困難らしい、一方グラウンドの準備は劉委員長を始め磯部氏などが連日詰切り監督してゐるので當日までに間に合ふが短期日のためコンデイションが惡いので實力を發揮する事が出來ないものと見られてゐる

尙支那側選手は連日猛練習を續けてゐるのでどの程度まで肉薄するか注目されてゐる

日支獨競技 入場券前賣
三百枚限り

來る十九、二十の兩日奉天に於て擧行される日獨支對抗陸上競技大會の入場券は滿鐵運動會に於て十六日から三百枚を限り前賣することゝなつた、料金は一般は二圓、體育協會員は一圓であるから至急申込まれたいと

怪からぬ馬車夫

十四日午後六時ごろ市内西黑石礁二十二番地郭光玉方へ鞍山屯臺山前二十二番地鄧世臣方の傭馬車夫辛職普と稱する者が來て、留守居中の郭の妻劉氏(三こ)に郭の在否を尋ね不在なるを知るや辛は矢庭に劉氏に飛掛り暴行を加へんとした

觀月告發さる
沙河口

沙河口黑ケ浦公園内料理店觀月こと熊出惣次郎は同料理店を無許可のまゝ二階その他を增築したため十五日沙河口署にて告發された

清酒品評會表彰式

關東州酒造組合では十九日午前十一時半より大連民政署樓上で第八回清酒品評會褒賞授與式を擧行すると

第二榮壽丸衝突
旅順

市秋月彌太郎氏所有第二榮丸(四十噸)は九日午後十一時三十五分旅順港水道二番浮標と海軍機雷との間に於て第一大平丸と衝突し左舷船首より第一船具艙前カイセング外數ヶ所損傷したが、十五日岩崎船長より海務局宛屆出でた

けふのラヂオ

昭和四年十月十六日(水曜日)
自午前十一時 相場(特產、錢鈔株式、各地相場)
自午後零時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分 相場(特產、錢鈔、株式各地相場)ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、講話 海外殖民事情 難波勝治
三、ピアノソロ シューベルト 即興樂 滿洲音樂會 木村遼次
四、筑前琵琶 坂本龍馬 法洗山 上地旭游
五、新内 白木屋お駒才三(下)彈語り 原田しげ
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操 初心者練習、熟練者運動

煖房器具展
盛況裡に終る

本社主催第六回煖房器具展覽會は十三日開會以來毎日熱狂的人氣を博し殊に十五日の最終日は各出品者側でも大々的宣傳に最後の馬力をかけて蓄音機に、ビラ配付に、係員の說明宣傳に大童となつての奮鬪物凄いばかりの賑やかさで總局三日を通じての入場者數三萬餘人と注せられ出展品の形態特長等により何れも夫々需用者の購入申込みも多く大盛況大成功裡に午後五時過ぎ閉會した

佛コスト機 奉天着
前途は未定

【奉天特電十五日發】フランス飛行機コスト機は今日午後四時四十五分當地飛行場に無事着陸しコスト氏外一名はヤマトホテルに投宿した、なほ今後の飛行は今のところ未定である

哈市を出發

【ハルピン特電十五日發】佛機コスト氏は十五日午後一時半奉天に向つた

公判期日召喚狀

昭和四年(公)第二一八號 賍物牙保 王鳳儀
昭和四年(公)第六〇九號 關東州阿片令違反 夏子猷
右頭書被告事件ニ付キ昭和四年十月三十一日午前九時公判開廷候條當廳刑事法廷ニ出頭可有之候也若シ出頭セサルトキハ拘引狀ヲ發スルコトアルヘシ
昭和四年十月十五日
關東廳地方法院 判官 小田基衞

愛慾の窓 (129)

戸川貞雄作 浅枝次朗畫

謎(一)

久彦は醜汚な結婚の床にその明けがた眼を醒ました。見れば自分の傍には、窓のカーテンから洩れてゐる朝の薄明に照らされて、ゐぎたなく見知らぬ女が眠り呆けてゐるのだつた。斑に剝げてゐる白粉、亂れ散つたウエーヴの髪、黒ずんだ眼瞼……久彦は、さも見るに堪えぬものを目にした如く、眉をひそめて眼を外した。

——おれは何うしたつていふんだ?こゝは何處だらう?

彼は呟きながらあたりを見廻した。薄汚れた鼠いろの襖、龜裂の入つてゐる白壁の天井、色の褪せた緋いろの窓掛、それから古いダブル、ベッド、毛布、枕……彼は身を起すと同時に、ベッドから辷り降りた。昨夜、暗い露端で朦朧圓タクに乗せられてからの記憶がおぼろげながら浮んで来たのである。怪しげなホテル、ホテルの地階の秘密なダンス・ホール、そこで彼は一人の踊子を選んで踊つて、そしてそのまゝ「結婚」をしたのだ、醜汚な一夜の惡夢に似た結婚を!

久彦は悲しげに首を振りながらわれとわが頭を握り締めた拳でコツ〳〵と叩いた。亂れた髪は彼の青ざめた額に振りかゝつた。それを掻き上げようともせず、久彦はがつくりと頭を垂れて、長いこと動かなかつた。苦い後悔の念が、彼の胸にはひろがつてきた。

「……あら!しどいわ〳〵!そんなとこで何を考へ込んでんのさあ!」

ダンスと結婚のパアトナーが、眼を醒まして久彦に呼びかけたが彼は見向きもしなかつた。すると女は、あーあと大きな欠伸をしてから、のそ〳〵とベッドを降りて久彦の傍へやつて來た。

「……ヘツ!やになつちやふねえ!」昨夜はさんざ人に散々ッ提ねてさあ!朝になるともうまるでお他人さまよりよそ〳〵しくなさるのねえ!」

女は小卓子の上から巻煙草を、そして唇にくわへて燐寸をすつた。そしてしどけない闇衣姿のまゝ、久彦の傍へ椅子を引いていつて、どかりと腰をおろした。

「……でも、もうとうたう夜が明けたのよ!もうあんた、どんなにクヨ〳〵したところで、あんたの戀しい人は、結婚をすましてしまつたんだから、もう取返しはつかないといふものさ!ほゝゝゝゝ」

「……うるさいな、僕はもう歸るんだよ!服を出してくれたまへ!」

久彦は吐き出すやうに云ふと、椅子から腰をもたげた。

「いやな人!まだ夜が明けたばつかしぢやアないの?振られたお嬢さんぢやあるまいし、こんなに早く起きるつて法はないわ、……この花嫁さん、まだ眠くつて堪らないのよ!」

女はまた大きく口を開いて欠伸をした。

「……ぢやア勝手に寝てゐたまへ!僕はひとりで支度して歸して貰ふ」

久彦はもう一刻もこんな荒んだ女を相手に、薄汚ない淫賣宿の一室に止まつてはゐられなかつた。部屋の隅の戸棚に吊るしてある洋服を手早く着てしまふと、彼は扉を明けて飛出してしまつた。

戸外には、すでに明るい朝が来てゐた。あまりにも明るい朝の光のなかに、久彦は自分の淺猿しい姿を恥ねばならなかつた。彼は通りがゝりの圓タクを拾ふと、後をも見ないといふ風で兩陵アパートメントへ急いで歸つた。そして自分の部屋へ轉がり込むと、上衣を脱ぎ棄たなりで、寝床のなかにもぐり込んだ。倭文子のこと、瓏吉のこと、美知子のこと、一切合切そんなことは忘れ果てゝ、ぐつすりと眠つてしまひたかつた。だが昨夜のひどい飲み過ぎのために、五體は痺れるほど疲れてはゐても神經だけはいよ〳〵冴えてきて容易に眠り就くことが出來ないのだつた。

と、そこへ小忙しない跫音を立てゝ受附の老人がやつて來ると、久彦の部屋の扉の外から

「……草野さん!お電話です!帝國ホテルの友永倭文子さんと仰有る方からですが、何だか昨夜大變な事件が起つたといふんですよ。何卒直ぐ電話へ出て下さい!」

と、息をはづませながらいふのだつた。

新刊紹介

▲農民(十月號)定價金十錢、東京府北豐多摩郡千歳村八幡山八全國農民藝術聯盟發行

▲スピード(十月號)通俗的になり内容が益々充實して來た事は結構、自動車と航空の兩方面において趣味ある記事滿載(定價四十錢、東京蒲田町日本自動車學校出版部發行)

▲自動車時報(第九卷第十號)スピードゝ共に交通雜誌界の双壁但専門記事が少いのは遺憾(定價金三十五錢、東京市芝區西久保八幡町三自動車時報社發行)

▲文藝倶樂部(十一月號)美しい繪物語五原五人女、講談女王、心中俄非人、春秋隠れ笠あべこべ物語、職業婦人戀のロマンス其の他面白い讀物滿載(定價金五十錢、東京市小石川區戸崎町四六博文館發行)

▲新天地(十月號)太平洋會議特別號とあり同會議を前にして満蒙中心の記事が豊富である露國の暗黒面を語る「モスコウ夜話」は面白い(定價金三十錢大連市楠町七四新天地社發行)

▲經濟情報(十月號、金融情報改題)目前に控へた金解禁問題を中心に名家の意見並に各種の調査記事を滿載してゐる、時節柄必讀の文字が多い(發行所東京市丸の内二ノ一八昭和ビル其社定價三十五錢)

▲戰友(十一月號)定價十錢、東京市牛込區原町三丁目八番地帝國在郷軍人會本部發行

▲養鷄雜誌(九月號)定價二十五錢東京府荏原郡大森町谷中六三七養鷄事業社發行

▲農民(十月號)定價金十錢、東京府北豐多摩郡千歳村八幡山八全國農民藝術聯盟發行

▲石楠(十月號)定價金五十錢、東京市外中野新町三七九〇石楠社發行

▲大阪パック(第廿四年第十九號)定價金二十錢大阪市東區南堀二丁目十六番地大阪パック社發行

秋に多い 恐怖すべき 腦溢血、中風は どんな人がなるか

△血管を軟かに丈夫にせよ

秋期に多く起る疾病中に命とりの魔の如き病ひとして恐怖されて居る腦溢血、中風症はどんな人が罹るかといへば男女とも四十歳以上で動脈が硬化して居る人、動脈が硬化して居れば必ず血壓が百六十ミリ以上に亢進して居ること、これが所謂動脈硬化症乃至は血壓亢進病と名づけられて居る、いふまでもなく動脈とは血管のことで血液のジエンカンする道路である、この道路に汚物が溜つたり、彈力を失つたり、狹く縮められたりするから血壓が非常に高くなつて、その結果が道路は破壊されて道外に溢血するのである、その場所が不幸にして腦に起ると今いふ腦溢血中風となるのである、腦に溢血すると腦の中樞が破壊されるから卒然と生命を奪はれるか極めて輕くても半身不隨は免れない。さてこの恐るべき疾病は一年中を通じて秋が最も多い、なぜかといへば秋はポカ〳〵とのぼせる時季で腦に充血し易いから從つて發病率が多いわけである、話は前後するが前にもいつた通り腦の動脈が硬化すれば耳鳴となり、めまひを覺え、腦にウツ血を起す、又のぼせ性となり、肩が凝り、氣短かで小言を連發し、夜中に眼が醒め易く不眠症にも陥る、一般に若いものゝ神經衰弱のやうな症状である四十歳以上の神經衰弱は主に腦動脈硬化症これに伴ふ、血壓異常症と斷言しても差支ないこの病氣は老人の特有症であるがこれには種々な前兆があるが主とした自覺症状は前述のやうに上半身の部に違和を訴へるのであるから早く本病の前兆を知る事が肝心で同時に豫防的注意を拂ふこと、豫防並に治療劑としては無害安全な海草精粹劑海貫來の持續的内服が最も價値あるものとして推奬し得られる。海貫來は貴重なる海草精粹のほかにロード、ブローム、オレンヂエモヂン、アントラグルコセン等の有効成分を含んで居るから血管を柔らげ血管内の病的汚物を吸收と排出を促す腦溢血、中風を治療し又本病の原因たる動脈硬化症、血壓亢進症を治して腦卒中、中氣を豫防し得られるのである、尚本病に對する治療法、攝生法、

患者の福音 病理に關する治療原因症状一切を詳記せる「健康への道」を新聞名記入申込者に無代進呈

(無代進呈)

千金の價値ある

冊子は直接本舗へ御申込者に限り贈呈する類似藥續出せり藥店にてお求めの際は海貫來と御指名を冀ふ。藥價百九十二錠入二圓、四〇八錠入四圓、六百四十八錠入六圓千二百錠入十一圓、二千四百錠入二十圓、郵便カワセ又は振替にて注文送料十二錢代金引換小包希望者は送料三十錢切手にて必ず前納の事。東京市本郷區菊坂町五十二番地海貫來總發賣元河合洋行振替東京四六一八二電話小石川五一一二、全國藥店にあり

良藥紹介

何年か苦しむ ぜんそく、キカンシ、せきに

○南米植物主藥
○十年痼疾にも良
○たんと息切
○肺せんと發熱
○ろくまくと發熱
○キカンシ炎と熱

ぜんそく、キカンシ炎、肺せん、ろくまく、肺結核等が永びき秋口から冬にかけて一層苦しみを増し病も増悪せるお氣の毒な患者に南米その他の熱帶地方の貴重藥草を主劑としたパウル氏散を推奬す、のんだ晩から明かに有効程度が判るパウル氏散はモルヒネやアドリナリン、氣違ナスの様な毒性が全くないから安心して病氣を治せるパウル氏散藥價六日分一圓十錢、十三日分二圓卅錢、慢性廿六日分四圓、五十二日分七圓直接御注文は郵便爲替又は振替にて前金注文は送料十二錢、代金引換小包は送料三十錢を切手にて必らず前送すること、東京市本郷菊坂町五十二番地日本總發賣元河合洋行振替東京四六一八二電話小石川五一一二 全國藥店にあり

代理店 大連信濃町市場前 電話六二三三八番 日新堂藥局

滿洲日報

露伴全集

日本文學の精粹

永遠に新しい
眞の古典

窺ひ知れぬ學問の深淵をたたへて老齢愈々蒼古明澄なる筆を揮ひ、今日なほ、文の世界、詩の世界に萬丈の氣を吐きつゝある大學者これ實に露伴先生である。
近年異常なる關心を喚び研究の對象となりし明治文學に興味の中心として最も重きをなし、夙とに出すべくして出でざりしものこれ實に露伴全集である。
此の全集出でて始めて明治文學の巨龍に睛を點ぜしものといふべく又以て文運永遠に讃ふべき時代を記念する大塔に最頂の寶珠を据ゑしものといふべし。

1 2 3 4 5	小説集
6	戯曲・新體詩
7	努力論・修省論 悅樂・一國の首都
8	蕉芭七部集抄
9	文學論考
10	記行・人物評傳
11	隨筆
12	雜纂

高雅重厚なる裝幀
▼表紙手機總布裝　返見和紙高級紙天金函入
▼每冊口繪コロタイプ寫眞付
▼菊判十ポイント一段組(總ふりがなつき)

一冊四圓五十錢
(申込金)二圓
略規
▼全十二卷分賣せず申込者のみに頒つ
▼申込金二圓(最終會費中より控除す)
▼會費毎月拂　四圓五十錢　一時拂　五十一圓
▼申込期限十月三十一日
▼配本十一月より毎月一冊宛　但し第一回分は十月下旬出來

赤彥全集

○西田幾多郞
私には歌を論ずる資格はないが、歌を讀むのは好である。寫生といふのはすべての藝術の基礎たるは云ふまでもないが、寫生を標榜する歌には往々平凡に墮するものがないでもない。鍛へた鐵でなければ眞に生きたものが映らないのである。島木君の歌の中には、平凡な寫生と思はれるものゝ中に深い人生の染み出たものがあると思ふ。苦んだ人鍛へた人であつたのであらう。

○左佐木信綱
君は早く世を去られて歌人として又學者として一層高邁の域に達せらるる晩年を有せられなかつたが、其生前に於て既に大いなるものを成し得られたその業績を以てみると君は決して世を早うせられたとはいひがたい。自分は萬葉の歌の品騭に就て、また歌の道に關して、不幸にも君と意見を異にする點が少くなかつたが、しかも君の作品及び論議は、常に讀むことを怠らなかつた。いま君の全集の刊行せらるゝことはひとり歌壇の喜なるのみならず、また自分の喜である。

○河井醉茗
上下二千載短歌として格調の高きは萬葉時代に及ぶものなく、明治大正六十年歌人として風格一世に高きもの島木赤彥に如くはない。赤彥の短歌が擁く格調の高きは既に彼が詩歌に參與せし最初その詩品の時流に拔んでて光風霽月の慨ありしを以ても知られるのである。それを形式より云へば七五調の全盛期に於て彼は好んで五七調或は五五調の古朴高邁なる詩作を試みたのである。詩は彼の伏龍山百合時代であつて、赤彥以前のものに屬すけれど、年少氣鋭他日の大器は夙に光を放つてゐた。

全八卷(菊判平均六百餘頁)

1	歌集
2	詩歌集 短歌・俳句・小曲・新體詩・
3	歌論歌話(1)
4	歌論歌話(2)
5	歌評及び歌謠研究
6	童謠・小說・散文・紀行・日記・其他
7	隨筆・感想・論文
8	書簡集

平福百穗畫伯裝幀
▼▼手紙總布裝天金函入
▼每卷木版手摺の見返を換へる
▼十ポイント一段組頁數平均六百餘頁

一册四圓
(申込金)二圓
略規
▼全八卷分賣せず申込者のみに頒つ
▼申込金二圓(最終會費中より控除す)
▼會費　毎月拂四圓　一時拂三十圓
▼申込期限十月三十一日
▼配本十一月より毎月一冊宛(但し第一回分は十月中旬出來)

豫約募集
內容見本進呈
〆切十月三十一日
◆東京神田神保町
◆振替東京七四四一六
◆電話九段一〇三一・一二八一・二一〇八・二一〇九・二六二六

岩波書店

三省堂發行

小辭林

文學博士 金澤庄三郎編

コンサイス型(ポケット版)　總紙數一〇〇〇頁
革製(上製)二圓三十錢
クロース製(並製)一圓九十錢
各內地送料十四錢

特色! 充溢せる「ポケット用」

として、机上用の「廣辭林」に對し飽迄モダン的要求に應じた手頃な本書の中には「必要語」の一切がぎつしりと詰つてゐる。卽ち「日常使用」を目的とした語彙八萬六千語を收輯する新工夫の小型辭書。上製・並製の二種あり。撰擇自在。

廣辭林

文學博士 金澤庄三郎編

新四六版　總クロース製　總紙數一八一〇頁
三圓九十錢　內地送料廿七錢

絕大なる信用は廣辭林に集る!!

常に時代を超越し然も常に時代にピッタリと適した國語辭典。統一のとれた編輯法と熟練した組方に依つて十一萬數千語の在來の言葉の外に專門學術語・外來語・俗語・流行語・新聞用語等を悉く網羅收輯し且つ精緻な挿畫二千數百個で充分に補足的說明の盡された本書!!

實物全國各書店に配布濟み!
新型圖書目錄出來

株式會社 三省堂
本社 東京・神田・駿河臺下　振替東京三一五五五
支店 大阪・南區・順慶町　振替大阪八三〇〇
御注意(本社は右記へ(舊町區大手町より移轉致しました)

廣8.7

出ました!

少女畫報 11月

懸賞募集
新興日本少女の歌
詳細規定發表

傑作小說大選集
從來のそれと全然面目を一新した本誌獨特の潑剌たる少女小說數十篇

第一附錄 霧晴るゝ(最近松竹キネマに依つて映畫化される問題の大小說!)

第二附錄 少女武勇傳
大の男が可憐な少女の手玉に取られる痛快極る物語集

神宮競技豫想記
此の秋の榮冠は誰に落ちるか。二大スポーツ女學校を中心として見た豫想記。さてそのスポーツ女學校とは何處と何處とでせう?

双葉の馨り　二色版オフセット畫集
幼少にして大人をアッと言はせた天才少女の生立を描く美しい繪卷

華宵 晩秋畫譜

◇◇◇◇◇◇◇◇◇

定價五十錢送料二錢
各地の書店にあり

東京社
東京京橋區疊町一番地　振替東京四九〇〇

東京市復興事業局長 福田重義先生校閱
高藪良二先生著

建築工事實費見積

四六判參百數十頁・洋裝箱入
定價壹圓八拾錢・送料拾貳錢

最新刊

本書は著者が公私に關係せる諸工事の統計を取り尙ほ之が實例を擧げ多數圖表を掲げ便ならしめたる等他に類無き良書にして技術家は勿論建築にたずさわる一般人士の座右に欠くべからざる書なり

大好評の良書　建築と家具
著者は專門大家

書名	定價	送料
最新 工事別 建築材料と使用法	參圓八拾錢	十六錢
鐵骨家屋構造	參圓八拾錢	十六錢
最新 和洋 建築設計及製圖法	貳圓八拾錢	十二錢
良くわかる 和洋規矩術 大工サシガネ使	貳圓五拾錢	十二錢
最新 和風家具 設計製作 及仕上法	壹圓八拾錢	十錢
最新 洋風家具 設計製作 及仕上法	壹圓九拾錢	十錢
新生實驗家具構造要義	參圓八拾錢	十六錢
新らしい木材着色及仕上法	壹圓五拾錢	八錢

發兌　東京小石川區表町一〇九　電話小石川三八六三番　振替東京六六一〇四番
圖書目錄進呈
中央工學會

●ノーシン!! ノーシン!! 頭痛にノーシン!!!●

全日本商店聯盟理事 工藤哲郎先生著

上京して就職する迄

(內容目次)
▲上京前の準備▲上京後の心得▲觀光者になる迄▲新聞記者になる迄▲小學校敎員になる迄▲雜誌記者になる迄▲會社員になる迄▲銀行員になる迄▲商店員となる迄▲郵便局員となる迄▲鐵道員になる迄▲電車從業員となる迄▲外交員になる迄▲守衞となる迄▲自動車運轉手になる迄▲カメラマンになる迄▲映畫俳優になる迄▲飛行機操縱士になる迄▲其他。

勉強して偉くなるにも一旗上げて名を揚ぐるにも凡ては東京だ!東京こそは日本に於けるあらゆる文化の中心地である。と同時に立身出世を希ふ人達の活舞臺である。畫あり思議地である。技に於て本書はがその案內役を承らふと云ふので一あるの。卽ち東京に於ける就職を得るまでの方法、就職後の待遇と手當、更に昇進の道に至るまでの要領と心得を細に且つ懇切に述べてある。

失業何ぞ恐るゝに足らん 人間到處有靑山矣

四六版三百頁
定價金壹圓五十錢
小包料 金八錢
全國書店取次

東京市本鄕區丸山福山町十三番
振替東京二一四三番
朝香屋書店

電燈五十年會記念出版

發明王エヂソン傳

定價壹円五十芰

忽ち再版　出現を切望せり

發明は立國の基礎●エヂソン翁は本書の刊行に當り自署せる寫眞と手紙を寄せ、日本に大發明家の出現を切望せり

東京市丸の內有樂館　振替東京二七七二四
工友會出版部發行

最新刊

最新刊

大連市浪速町
大阪屋號書店
電話(代表)五八八 振替大連五五
(本店)東京(支店)京城・奉天・旅順

大連市大山通
滿書堂書籍部
電話五三九八番 振替大連一五八三番

宮家御採用品
ピースストーブ
晝夜無煙一回一日投炭、

群雄割據す
覇者は誰?

暖器の解決
本器にあり

滿洲總發賣元
鳥羽洋行
大連市近江町八番地電話5168

型錄進呈

新聞の不配達其他の故障は電話四七六七番へ

軍縮招請狀回答文
外、海兩相より草案內容を說明
きのふ閣議にて決定

【東京十五日發電】十五日の定例閣議は午前十時より開會井上藏相より來年度豫算案の內容、松田拓相より滿鮮視察談あり正午一先づ休憩一時再開軍縮會議に對する帝國政府の回答案につき幣原外相、財部海相より兩當局にて立案したる草案內容を說明し各閣僚の諒解を求めたる結果、各閣僚の意見を纏めて之を決定し次で濱口首相より全權として若槻禮次郎氏、財部海相、松平駐英大使の三氏を決定したる旨を述べ各閣僚とも異議なく之に贊成したので右回答案と共に宮中の御都合を伺ひ本日午後參內御裁可を仰ぐ事となつた、尙顧問隨員等の銓衡に就ても意見の交換をなした

英米の七割保持と豫備交涉を主張
十四日閣議にて附議する
軍縮の回答文

【東京十四日發電】軍縮回答案は十五日の閣議に附議決定の上直ちに上奏御裁可を經て松平駐英大使宛打電の手筈であるが、確聞するに回答文は英文にて約四百語四六版洋紙タイプライターにて二頁半の簡潔要領を得たるもので其の內容に至つては「軍備縮小は世界平和の實現と國民負擔の輕減のために帝國政府の衷心欲する處であるが故に英國政府の十月七日附招請狀に就き欣然應諸會議に全權を派遣する旨を冒頭におき帝國政府の英米最大海軍國に對する絕對七割比率保持の原則及び制限よりも縮小を欲する主張に就いては駐米、駐英大使に對し屢々督勵の訓電を發して之が英米の確認を得んと努力中なりしも未だ確實なる保證を得ず又回答文發送迄に間に合ざるが故に回答文中に於いて會議の成功を期する事は帝國政府の衷心欲する處なるが、會議決裂の惧れある各國各自の原則的主張に就いては豫備的交涉に於いて充分意見の交換を行ひ然る後正式會議開催の順序を履むべき事を特に主張するものである」旨を强調して居るものである

全權顧問を隨行せしめるか
若槻氏が承認すれば任命
與黨も特派員派遣

【東京十四日發電】政府は若槻首席全權に對し華府會議ゼネバ會議當時の全權隨員顧問を參考に今次も又全權顧問問題につき協議する筈である、即ち華府會議の際全權德川公に對し時の原首相は法制局長官の橫田千之助氏を隨行補佐せしめた前例あるので若し若槻氏が承認すれば顧問格のものを政府より隨行せしめる事が有利なりとの見解を以て居る、然し此の顧問は單に事務總長格のものでなく政府の意思を代表する最高相談役である爲め相當の人物を選任する必要あるが財部海相と友情ある樺山愛輔氏及び川崎法制局長官等が候補者に上つて居るが、川崎長官は選擧を控て居るので可能性薄である、尙與黨としても政府の官僚の要ある場合に處する爲め黨特派員として一、二名を隨行せしめる事になる模樣である

兩全權に賜謁
正式任命後

【東京十四日發電】天皇陛下には五ヶ國軍縮會議に全權委員として參列する事になつた若槻禮次郎氏財部海相を正式任命後出發に先立ち近く宮中に召されて拜謁を仰せ付けられありがたき御諚を賜はる由漏れうけたまはる

軍縮回答文の內容聽取

【東京十五日發電】原田熊雄男は十五日午前八時四十分官邸に濱口首相を訪問し軍縮會議全權顧問に觸れ並びに帝國政府の回答文內容等を聽取して九時半辭去直ちに十時東京驛發特急で京都に赴き西園寺公に詳細報告する筈

藏相首相訪問

【東京十五日發電】井上藏相は十五日午前九時半首相官邸に濱口首相を訪問來年度豫算查定の結果並びに金解禁問題に關し意見の交換をなした

政策を更新し全國に遊說
東北大會を第一聲として
政友會の選擧準備

【東京十四日發電】政友會は犬養新總裁を迎へ政策を更新し輿論の轉換を蹶り來るべき總選擧に備へんと森幹事長と山崎政務調查會長との間に從來の政策を基礎として鋭意考究中で今月末迄には犬養總裁とも協議の上、具體案を作製し幹部會に附議決定、來月五日青森市に於ける東北大會を第一聲に新政策を天下に聲明續いて各地に開かれる大會には犬養總裁自ら陣頭に立ち全國的大遊說を開始する方針である

太平洋會議米團長一行

【奉天十五日發電】太平洋會議に出席の米國側團長グリーン氏は此程來奉し北平に赴いたが十三日朝エール大學教授ホーランド氏ボイデン氏等と再び奉天に來り同夜哈爾賓へ向つた猶一行は十五日朝來奉ヤマトホテルに一泊し十六日十五時半發安奉線急行にて京都に向ふ由

昭和製鋼所認可に內定
松田拓相視察の結果

【東京十四日發電】懸案の滿鐵昭和製鋼所は今回松田拓相の滿鮮視察の結果目下滿鐵でやつて居る調查委員の調查が大體本月中に完了次第申請を待つて之を認可する方針に內定した

クレヂットの必要はない
金解禁こその準備

【東京十四日發電】金解禁に對する海外における準備は津島財務官の赴任を待つて進めらるる事になつて居るが、其の內クレヂット設定問題は最も注目されて居る目下政府所有の在外正貨は三億三四千萬圓と言ひ得る現狀にある而して今後解禁迄の數ヶ月間の國際貸借狀況等の資金の高によつてクレヂット設定如何の問題が生ずる譯であるが、今日の處では井上藏相は前記三億三、四千萬圓あればクレヂットの必要なしと見て居るものの如くであるから結局諸種の點よりイヤーマーク設定の事とならう

白國記念博に斡旋

白國アントワープにて十餘年活動してゐる邦人實業家宮田耕三氏(早大出身)は明春開催の白國記念博の出品、見物者に對し種々便宜を圖る由

反蔣要人の逮捕電命
奉天派に對し

【奉天特電十五日發】反蔣運動の盛なると共に國民政府でも狼狽してゐるもの〻如く各方面の要人の動靜について重要視し警戒してゐるが、たま／＼鹿鍾麟氏ほか十一名はアンチ蔣介石の首領たることが同政府に發見され身の危險を恐れて要職を捨て遁走したので、これが逮捕方を當地邊防軍司令長官公署にも電命あり更に國民政府は民政部次長陳儀氏のほか二名を奉天に派遣すること〻なり十四日夜、一行は北寧線にて來奉し目下これが搜査について張學良氏と打合中である

討蔣通電に贊成
各地の將領續々と復電

【北平十四日發電】某所入電、宋哲元氏等馮系將領の反政府通電に對し贊成の復電をなせるものは山東の陳調元、河南の韓復渠、石友三、湖南の賀耀組氏等其の他福建、四川、湖北、廣東、廣西、雲南、貴州の各師團長廿一名及び全國各軍事機關代表者卅二名に及んで居ると

孫良誠軍洛陽占領

【北平十四日發電】劉鎭華氏の公電によれば孫良誠軍は十三日洛陽を占領し唐生智軍は退却した

義務敎育費一千萬圓を計上
藏相より文相に通告

【東京十五日發電】井上藏相は十四日午後三時文相官邸に小橋文相を訪問、義務敎育費一千萬圓の增額を明年度豫算に計上することに內定せる旨報告したる後、明年度既定經費の節約、新規事業の查定等に關し種々諒解を求むる所あり午後四時半會見を終つた

明年度豫算總額
十五億八千萬圓以內

【東京十五日發電】大藏省は略明年度豫算編成を終り目下既定經費節約案及新規事業查定案の整理中で保留せる重要費目については井上藏相が連日各閣僚と膝詰交涉を進め十五日の閣議の席に於ても懇談的に諒解を求めた、而して十五日までには重要費目についての解決を遂げ十八、九日頃各省に大藏省原案を內示すること〻なつた、大藏省當局の見る所では豫算總額は十五億八千萬圓以內にとゞまる見込みである

起用されても當分立たぬ
國民政府の意嚮に對して
孫傳芳氏の時局談

南京政府が難局打開策として軍政部に孫傳芳氏を起用すべく軍政部次長陳儀氏を使者として奉天へ向はしたとの報をもたらし當の孫傳芳氏を訪ふと氏は近日引越すといふ柳町の新築邸宅の檢分に行つてゐたが、鏡ヶ池に臨んだその出來上つたばかりの豪壯な新宅の前に自動車を待たし夫人子供達と電車通勝に立つてゐた、刺を通じた記者との對話

▲記者 往年五省聯盟を貴下が牛耳つてゐられた當時に蒔かれた種が今應々芽を吹いた譯ぢやありませんか

△孫氏 五省聯…當時に限りません、私は既往十七ヶ年間に亘り揚子江沿岸に居ましたが、別段德を賣つた譯ではありませんけれど、唯他の督軍連のやうに住民に對し苛斂誅求をしなかつた結果今頃になつて漸くあの邊一帶の民衆から懷かしみを以て思ひ出されてゐるらしいのは事實らしいです、然しそれが理由に此の難局に際し南京政府が私を起用すると云つても私に立つ意志がなければ致方ありますまい使者に來るといふ陳儀は、元私の參謀長で、日本の陸軍大學出身ですが、縱令誰が來ても當分私は決して立つまいと決心してゐます

▲記者 蔣介石氏は所謂反蔣氣勢殊に最近馮玉祥の壓迫に惱み、窃かに汪精衞氏に時局收拾を求めたといふことですが、蔣氏に代つて汪氏が政權を握つた場合をどうお考へになりますか

△孫氏 政治は口舌の雄のみでは駄目ですからね、如何に組織の立派さを上手に宣傳しても、亂麻の中國を統一するには第一國民の幸福を政治の大綱とする眞實衷心からの熱と、それに軍事にも外交にも底力强い體驗を有する側に「力ある者」でない限り民意を失して忽ち尻つ尾を出す事は事實が示してゐます、蔣氏には幾分「力」はありますけれど現在の如き難局に處して巧みに之を切り拔ける程の大手腕はどうかと危ぶまれます、蔣氏も今少し學問と經驗がなければね…

▲記者 で、蔣氏も自ら之を悟つて自分の力足らざるところを貴下に依つて補ひ、共に相協力して國家の爲めに此の難局を收拾せうと貴下の出廬を求められるものと思ひますが……

△孫氏 國家民衆の爲めに盡す至誠は私とても人後に落ちぬ積りでこのま〻朽ちやうとは思ひません、が、今はまだ私の出る幕でありません、若し立つとすれば擧國一致合法的な國民の選擧に依る大統領でゞもなければね、あッは……〻〻

孫氏は內心頗る愉快さうに最後に大きく笑つて家族と共に自動車に乘つた

邦人醫師開業に支那官憲が壓迫
正規の試驗を要求

【ハルビン特電十五日發】特別市政局にては日本醫師の開業にも支那側の正規の試驗を必要とする旨八木總領事に通告して來た

お役人は一割減俸
(植民地官吏の步合は未定)
きのふ閣議で決定

【東京十五日發電】官吏の減俸は愈々本日の閣議で之を實行する事に決定し百二十圓以上の俸給官吏は總て一割減俸を斷行する事となつたが植民地官吏の減俸步合は未定である

反蔣風潮と支那革命の正流
蘭水生(二)

二、舊軍閥官僚

舊 軍閥及官僚政客の立場は滿朝專制から民主的共和制への過渡期に於ける特殊の社會的條件から釀出した支那特有の存在で、其特質は封建的革命勢力でなくて匪賊類似の營利企業たる點に在る、即ち支那の傳統的革命條件たる百姓痛苦救濟を以て存在の目的とする封建勢力でなく、却つて反對に、政治的無秩序に乘じて武力を以て百姓大衆を搾取して營利の目的を達成せんとするものである、汪兆銘をして云はしむれば「北洋軍閥便是封建的臭濃敗血裏發育出來的」である

民 主的近代國家の建設を目標とする國民革命の立場よりすれば飽迄打倒殲滅しなければならぬ不倶戴天の仇敵であるが所謂北伐の效果は單に其工具たる北京政府を崩壞せしめた丈けで其本體たる軍閥は五色旗を靑天白日旗に取替へたのみで依然として北支各地に蟠居して居る、閻錫山や張學良や、其他山東雜色軍の如きが夫である、此等の勢力は勿論本質的に民主的な統一革命と共存し得ざるは當然である、而して此種の反革命勢力が靑天白日旗に下に立てる所以は國民政府に對する服從が其存在の基礎を破壞せざる程度即ち一種の妥協關係に立つてゐる間のことで此の中央統一が一步を進めて

存 在の本體に觸る〻場合に至つたときは、直ちに何かの形式によつて反蔣的行動が現はれて來ることは言ふ迄もない、張學良が蔣介石に對して常に親和であり、最近張發奎事件の勃發當時に於ても、特に蔣に親電を送つて「弟は常に中央擁護に專念す」を表明したのは必らずしも「統一的中央」を擁護する意味でなく、非統一的中央——即ち現狀の下にある中央——を擁護する以外に何等の意味はないのである、而して學良の中央に對する此種の立場を最も雄辯に立證するものは東北諸黨部に對する禁止的壓迫である、これは屢次中央黨部の問題となり

黨 では之れを以て張學良の反革命的異心の鐵證としてゐるが黨の革命輿論が武力に課屬する現今に於ては如何とも手のつけやうがない、要するに北洋軍閥は國民政府の統一宣言を裏切つて、依然として存在し、そして中國革命の進路を塞いでゐるから革命本流の進展に從つて早晚反革命的波瀾の起ることは免れない、唯、如何なる形式と機會に於て發生するかゞ問題である、從つて南京政府は政治的手段と輿論によつて、漸次統一の步を進めて居る、東北外交權や、[illegible]の統一等は正に其の一の表現である、舊軍閥の

民 衆搾取企業は主として、國家的形態によつて合法づけられて而して此工具としての特殊存在は所謂官僚である、官僚は政治的技術によつて巧に企業機關を組織し、搾取事業を合法的に理由づける任務に服する技術者の群で軍閥の武力的威嚇の下に民衆を統制し其經濟的生產を規範して剩餘價値を收獲する、之に安福派あり、交通系あり、直隸派などがある、此等の政客は常に軍閥と結んで一封建的地方政權を組立てることを畫策する、而して此種の當業は最近時代色に彩られた舊民黨系の旗幟を樹てゝるが其內容は依然として

利 己的營利組織の外に出でない、假令ば張宗昌を押立てた共和大同盟のやうなものである此等の勢力は現に天津を中心として北方に分布し南方同種の存在と接觸を保つて常に其商機を窺つてゐる過般來蔣馮關係が怪しくなると其間に介在して北方人の北方政府說や、東省モンロー主義を標榜して新舊軍閥間を遊說し、一面、全支再聯盟說を流布して、日本の資本家や、舊思想家を煽動したり、殊に最近、張發奎の叛旗——第三全代會除名組の陰謀——と聯關して汪、閻、張(學良)の北支反蔣大同盟を目論だりしてゐるのは悉く此一派のビジネス的活動である

官 僚政客の此種の活動は、併しながら、最早其傳統たる念書人的イデオロギーでは存在の意義を爲さなくなつた結果、支那革命の本流たる新資本階級と結ばんとして、金融資本勢力に割込まんと努めてゐる、そして此勢力と軍閥勢力との合作を策する前提として、現狀維持を最も好都合とする外國資本主義者の弱點を利用し、其後援を得ん爲めに、特別行政地帶設定策——名義上の租界回收實質的の租界擴大——などに奔走してゐるとも傳へられてゐる、此等の策動は

三 民主義革命が明日の革命條件によつてのみ成り立つとの觀點から出發した點に於ては正當であるかも知れないが、新資本勢力と封建性武力との合作は依然として、不合理であることは繰返す迄もない、固より聰明なる官僚政客が此の原則を理解しない筈はないが此矛盾を容認しながら、其策謀を現實化するところに彼等の甚だ非凡な技能がある、兎もあれ、官僚は舊軍閥の工具に過ぎないから反革命重要份子の一つであることは明らかで、今次の反蔣聯盟說の裏には此種の策謀が潛んで居ることは否定し難きことであるが

唯 一つ官僚が純軍閥と異る點は、其本質に變通性を有つことであるこれは元來附庸的性狀に隨伴する機能で、軍閥の工具であり得ると共に又資本勢力の工具とも爲り得るのである、現國民政府が支那革命の本流に支配せられ漸次ブルジュア革命と化する如く、舊官僚政客も亦地盤及血統關係の許す限度に於て漸次資本家へと踵を向けて來たことも否み難き傾向である從つて軍閥は衰頽するとも官僚は必ずしも消滅するものでない、巧に其環境に應じて念書人的ビジネスマンとしての機能を發揮するであらう

西北軍の討蔣は自衞上當然
某消息通の時局觀

【天津特電十五日發】馮玉祥氏部下將領宋哲元氏以下廿六名が聯名にて蔣介石氏の六大罪を數へて討蔣通電を發した事情に就き某消息通は大要左の如く語つた

西北軍の將領が豫て雙十節を期して何事か策するとの說はあつたが斯る事端の勃發は聊か意想外であつた、西北地方の人民が馮玉祥軍に對する

感情良好 であるが如何にせん數年來稀なる旱災に遭ひ人民の窮狀は言語に絕し日々餓死する者數千人に達する始末であつて西北軍も亦極度の窮境に在つた、爲めに西北軍の代表として劉郁芬氏が賀耀祖氏等の蔣介石代表に要請され蔣介石氏に會見し鹿鍾麟氏と共に極力編遣費の補助に就いて商議を進めた結果政府は一時二百萬元を支出して編遣實施に着手せしむる事にした、其後も引續き中央より軍費の補助を得ねば到底立ち行かぬ爲め極力蔣氏に商議を進めたが財政不如意の南京政府であり且つ蔣氏は豫てより極力西北軍の崩壞を希望して居る事とて財政窮乏を理由に

之を拒絕 し極力編遣を實施し軍隊を縮小し之が經費は其地方より徵收充當するが可いと跳ね付けたので南北將領は蔣氏の態度に憤激し中央政府に依賴するの愚なるを認め斷然自由行動に出づるを得策とし斯くは討蔣通電を發するに至つたものだ

奉天派は飽まで保境安民を持す
首腦會議て態度決定

【奉天特電十五日發】馮蔣兩派の確執に對する奉天側の態度については種々傳へられてゐるが十四日各軍政長官を召集し時局に對し特別會議を開催せる結果大體左の如く決定したと

一、蔣、馮、閻各方面に對しては觀望主義をとり軍事上の關係については參加をなさず、ただ山海關外の地盤を固守し對露問題は東北省の武力を以て抵抗するが時局が如何に變遷しても三民主義を遵奉す

二、若し國民政府方面が偶然戰端を開き又は政治上に變化を來すとも東北省は中立主義を持す

市衞生係の明年度事業
目下豫算編成中

大連市役所衞生係では目下來年度豫算編成を急いでゐるが同係では種々設備改善の內急を要するものがあり尙本年度に於ても屎尿賣上高と屠獸手數料に於て相當巨額の自然增收があるので種々の計畫案がある模樣だが探聞する所に依れば左の如き事業の實施が確實と觀られてゐる

△糞池增設 榮町の作業所構內に千石入のものを設ける、之は多期に需要殆どなく他の期節に於ても需要に過不及あるに拘はらず現在のものでは收容力が不足するためである

▲糞尿の貨車及トロツコ積込設備 之も構內に於て緩かな勾配をなす架道を作り適當高所に小糞池を作つて苦力の手によれ充たし之れより鐵管を通じて貨車及トロツコに流注するもの、但し貨車積込は道路を橫切るため警察當局の許可を得る必要があるので近く交涉の筈

△撒水用及運肥用自動車購入 能率增進のため自動車使用は夙に稱へられてゐるが經費の關係上撒水用を二、三臺增車し新に運肥用數臺を購入する

尙根本的の改善を要するものが幾多あるので立案の上衞生委員會に附議し案を練る必要があると一般に唱道されてゐる

在滿鮮人救濟を兒玉總監に陳情
朝鮮商議聯合會より

【京城特電十五日發】十四日の朝鮮商工會議所聯合會に臨席せる兒玉政務總監に對し、渡邊聯合會長より總監今回の東上を機會に在滿鮮人救濟策につき中央政府に進言かつ交涉され度しと希望せるに對し總監は個人として御答へすると前提し通商條約改訂交涉開始されんとする際在滿鮮人救濟問題を解決するは時宜を得たるものなるも解決根本策は商租權か歸化權かの二つの內一を確保することである自分が關東長官時代も非常に努力し淸浦內閣時代に一度決したことがあるも、實現は見なかつた、頗る重大問題だから一致協力して實現を期さねばならぬと答へた

滿鐵社員の外遊人員
十四名に決定

滿鐵會社昭和四年度の社員歐米留學者及出張者は人事課にて銓衡された去月三十日の重役會議に於て決定を見たが留學者は十名で一年乃至一年六ヶ月の期間、出張者は四名往復とも八ヶ月の期間となつてゐる、此社員の歐米留學乃至出張は從來四月、九月の二回四十名も派遣されたことがあつたが其後年一回となり而も二十名內外に減ぜられた更に十四名に減員されたのである

洮南索倫間鐵道計畫

【ハルビン特電十五日發】洮南から索倫に至る內蒙古中墾鐵道敷設計畫を提げ京大出身の兆春恩氏が目下調查中であると

七月末國庫現計

【東京十五日發電】昭和四年度七月末國庫現計は(單位千圓)

歲入 一九六、八四六
歲出 三三四、二七一

歲入中租稅收入は一億四百九十九萬九千圓にして前年同期に比し僅に百四萬八千圓の增加を示した

簡保新契約高

九月中の滿洲內簡易保險新契約受理高は二千百件、此の保險金額三十六萬六千圓であると

貴院議員團青島へ
けさ榊丸にて

貴族院議員支那視察團一行は十五日出帆の榊丸にて青島へ向つたが埠頭には石本市長、各市議、滿鐵各部長等多數見送つた、內田團長は語る

漸く旅程の三分の一を終へたばかりで是から支那各地を巡り尙一個月位かゝります、滿洲を一通り見ましたがもつと日本人がどし／＼來て支那の爲にも開拓發展する要があると思ひます各地での熱誠な歡迎を深く感謝致します

議員團歡迎宴
十四日滿洲館て

滿鐵では目下滯連中の貴族院議員支那視察團一行を十四日午後六時半より滿洲館に招待し、田中民政署長、石本市長、高崎貴族院議員、寶性大連、高柳滿日兩社長らを陪賓として歡迎晚餐會を開き、大平滿鐵副總裁の挨拶、內田團長の謝辭あり開宴、歡談に時を移し同八時半散會した

市議視察報告

今村、仙波、笠原の三市議はさきに內地、朝鮮、臺灣、香港、上海各方面の市場及び衞生施設の視察を爲したが、十四日午後二時二十分から文書報告に代へて報告會を市役所會議室にて開いた、出席者は市長、各市議及び關係者約五十名で五時半閉會した

安樂椅子

セミヨノフ將軍が突然百四十萬圓の大金を受取り姿を消したとの報はハルビン白系ロシヤ人間の話題となつてゐるが▲この大金でセ將軍が再起するものとは今の處何人も想像してゐない▲セ將軍は多分其大金で土地でも買ひノンキに暮す考へだらうといふ者あり、セ將軍を擔ぐ連中は之で極東王國でも造るやな捕らぬ狸の皮算用をしてゐる、兎に角白系ロシア間には一問題を與へてゐる▲遼寧省政府では各縣に對し奉票の授受を拒否する商民は嚴罰に處する旨此程返電したが▲一般商民は奉票授受どころかその手持を腐て現洋その他に交換してゐるものが多いと。

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百四車

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一萬六千枚

▲普通大豆(出來不申)

▲豆油(保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	—	—	—	—
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	—	—	—	—
一月限	—	—	—	—
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 千五百箱

▲包米(出來不申)

出來高 二百九十二車

現物後場(銀建)

品名	寄付	大引
混保大豆(袋込)	六八二〇	六八〇〇
大豆(裸物)	—	—
普通大豆	出來不申	
豆粕	二二〇〇	二二〇〇
出來高	二千枚	
豆油	出來不申	
高粱	四三〇〇	四三〇〇
出來高	一車	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近九十四萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金六萬八千圓 銀對洋一萬圓

商品

後場

銘柄	約定期	値段	枚數
麻袋(保合)			
鐵筋	延十月末	三〇二	三〇〇
鐵筋	延十二月末	三三八	[illegible]

出來高 五萬枚

銘柄	約定期	値段	梱數
綿系(保合)			
綿助	延一月限	二〇四七	五〇

出來高 五十梱

麥粉(出來不申)

神戶特產(十五日)

大豆現物 [illegible]
大豆先物 [illegible]
豆粕現物 [illegible]
豆粕先物 [illegible]
滿洲小麥 [illegible]
豆油現物 [illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
株新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
紡新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
糖	不申	不申
日郵	不申	不申
船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
株新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
東品	[illegible]	[illegible]
五中	不申	不申
豆先	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

銘柄	後場寄	後場引
豆信	不申	不申
新	不申	不申
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]

	五品	東新
寄付	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]

滿洲日報

東北省の外交權

易幟以來、東北四省の外交權が問題となつた。南京政權は、南北統一とか、中央集權とかいふものの、何ら代償するの厄介もなく、とにかく、名儀だけにても、その形を擧げ得るものは、外交權の統一に外ならぬ。そこで軍隊の編遣や、財政、幣制などはこの次ぎとし、まづ文書の上でも、何とかごまかしのつく外交權から統制するといふ術策に出た。この問題ならば、國內的には、何らの紛糾を起さぬ。いや、對外硬をさへ宣傳主張して居れば、うるさい若い國民黨員や學生などは、却つて附和雷同するのであるから、これ以上に賢明な方策はない。」

◇

そこで南京政權は、例の打倒帝國主義（さすがに打倒資本主義とはいはぬ）とか、不平等條約撤廢とかを絕叫さすると同時に、奉天の出先官憲が、東支鐵道の對露政策において失敗するや、機、乘ずべしと做し、直ちに外交權の掠奪といふ方策に出たのである。一國家の外交權が、二三の政權から出づるといふことは、近代的國家常識を以てしては想像だもすることの出來ぬことであるから、理論としては當然のことであらねばならぬ。がしかし、支那の實情よりすれば、地方政權の相手方として交涉せねば、國際關係の事項を整理解決することが出來ぬのである。それで已むなく、過渡的便法といはんか、暫定的の便宜主義から、とにかく、ある程度の外交案件は地方官憲の手によつて片づけられて來たのである。これ支那の實情よりして、全く已むを得ぬところであつた。

◇

然るに南京政權は、自國の對外準備が、依然として全く整頓せざるにも拘らず、前述の如き取込主義から、奉天政權を壓迫し來つたのである。奉天政權としても、名目のみ立派で、しかも實の伴はぬ外交上の責任を負擔するよりも、時によつては、その責任を回避するの、却つて好都合なることがあり、東支鐵道問題などにありても失敗を掩はんがために、對外主權の所在を不明にしたる嫌ひあり、南京政權としては、好機、逸すべからずと做し、朱紹陽を特派してこれまた失敗、最近は、鐵嶺事件を擴大に誇張して周龍光を奉天に差遣するなど、矢つぎ早の對外對內のダブルプレーを演ぜんとしつゝあるが、問屋が、なかなかうまく卸さず、折角の周司長の晉渾も何らの効果なく、うやむやのうちに手を引くのではあるまいか。がしかし、支那の實情に鑑みるところなく、南京政權が、無理やりに外交權の掠奪を敢行せんと焦燥し失敗しつゝあることは、最近の事象に徹するも明瞭である。」

◇

張學良には、多少の新らしがりがあり、それに長いものには卷かれろ主義で、實情の如何はともかくとして、南京政權の要求は承服するものの、勢威の橫取りは、いかに猫の如く從順なる張學良としても、餘り愉快にあらざることは事實であり、それに實情に徹してゐるところの要作料らとしては、東北四省の責任を痛感して、臨時してゐる以上は、王正廷らの中分を、そのまゝ應諾もならず、殊に對露關係だけにても、三千萬元の軍費を雲散霧消して中央と稱する南京からは、一文も支給もないとあつては、寒氣のヒシヒシと迫るに方りては、背に腹は替へられず獨自の對露交涉に出でざるを得ぬのは、奉天側として當然の事情といはねばならぬ。」

◇

ところで、外交權を掠奪して中央集權の名目だけにても對外的に誇示せんとする南京政權は、反蔣聯盟が討蔣聯盟となり、その基礎も、根柢から顚覆されずやとの形勢を呈するに至つた。この形勢にして轉下せんか、支那の外交權は何處へ往くかといふことになりはせぬか。とにかく、南京政權の基礎は、根柢からぐらつき出し、その結着が如何になるか、そはともかくとして、東北四省の外交權もその實情も、最近の形勢とから判斷すれば、結局、從來のまゝにてうやむやのうちに推移するのではあるまいか。要するに、支那の實情といふものは、誰が何といふても、また南方政權などが、如何なる計畫を樹て、如何に宣傳せんとするも、何らの効果もないことになるのではあるまいか。從つて露支交涉の如きも、露支兩國、互ひに盛んなる宣傳戰を交はしつゝあるやうであるが、奉天側の獨自の解決交涉によるにあらざれば、解決せられぬことになるべく、南京政權の外交權の集中統制なるものゝ希望計畫も、まづ當分は實現せず、地方官憲の手によつて部分的ながら、ともかくも整理、持越しといふことになるのではあるまいか。」

人民は强硬 政府は軟弱

東支問題と勞農側

【ハルビン發】ソウエート極東軍司令部では十日ハバロフスク市にて對支示威運動を行ふたが、支那勞働者も參加し非常に盛大であつた、勞農側としては支那軍隊が白系露人を先頭に立て國境を襲擊し凡ゆる宣傳を試み勞農を壓迫するに對し最早辛抱出來ぬと

本國政府に

請訓し最後の斷案として容赦なく鐵槌を下すばかりだと憤慨し、對支態度に就いて積極的の行動を執る決心を示してゐる、其れに本月三日大連から浦鹽に引揚げたダリバンクの一行とチエントルソユーズの代表約百數十名のうちモスクワに向つたものとハバロフスクに殘留したものとあるが、露支交涉は支那側の欺瞞とペテンであつたことが判明したのでいづれも憤慨せぬものなく、對支强硬論を主張するものが多くなり「支那は一擊を加へたならばペチヤンコになるだらう」と論ずるものもあり支那に險惡の兆候を示しつゝある、然しモスクワ政府は全然

武力抗爭の

意志を有してをらず依然態度は軟弱であるため、支那政府としては東北政權の妥協主義を飽くまで排除し東鐵は此の儘管理權を回收することに方針を決定してゐる、果して極東軍司令官のブリユーヘル將軍が如何なる示威を示すか沿黑龍州ザバイカルの赤衞軍は多大の期待を有してゐるが、支那側は全軍を國境に集中したので勞農軍の示威的軍事行動には何等痛痒を感じなくなつた、兩國共目下宣傳戰で問題を決定しやうと焦つてゐる形である

勞農よりの 對支通牒內容

本月十二日提出せる

本月十二日勞農外務人民委員よりドイツ大使を經て南京政府及奉天政權に興へたる通牒の內容左の如し

九月九日、同十九日、同二十五日の露領に對する支那軍及び白塔の砲擊及び侵入に對する警告及び抗議に不拘、此の侵入及び砲擊は頑强に繼續され松花江の河口及び黑龍江方面に於ては組織的に行はれ支那軍は松花江の河口及び黑龍江の沿岸に於て十月始め以來每日若くは一晝夜を續けて露領內に於ける平和な良民を射擊して居る、白塔が支那國境より露領に向て國境通過を圖る場合には支那軍隊及び支那汽船に依て行はれる、又ソウエート軍は松花江の河口地方に於て支那軍の放流したる浮流水雷を捕獲する事屢々である、此の水雷は十月十日ミヘエロフスコエ、セメヨノフスコエ地方に於て捕獲されたものである、十月十一日多くのソウエート船舶及國境守備船は松花江の河口附近で支那軍に狙擊された、又十月十二日には松花江より黑龍江に向ひつゝあつたソウエートの商船は支那軍より大砲及び機關銃を以て狙擊された、此結果若干のロシアの商船は損害を受け且つ死傷者を出したので、ソウエート商船護衞艦隊は支那軍艦に對して自衞的砲擊の止むを得ざるに至つた、斯くの如くにして支那側の砲擊は我軍の旺んなる砲擊にあつて漸く沈默したが、獨來支那軍及び白系の聯合軍は既に露領にある平和なる住民を砲擊して國境附近へ騷かして居る、ソウエート政府は支那軍及び支那政府の支持の下にある白塔軍の露領侵略及び攻擊に對して抗議を提出する、且つ今後に於て露支國境の防備及び國境附近における平和なる勞働住民の保護の爲めに必要なる一切の手段を執るべき事を聲明する

撫順炭礦の五年度豫算

三千百餘萬圓

【撫順發】撫順炭礦五年度の事業豫算の確定せるものは既報の如く九百六十萬圓であるが、同五年度營業費豫算は原案に依るとザット二千二百萬圓見當で兩費を合すると撫順炭礦五年度の豫算は三千百六十萬圓位であるが、是が近日開催される營業費豫算查定會でどの程度に落付くか各方面から頗る注目されてゐる、因に右查定會に出席すべく山西炭礦長、大垣經理課長その他關係者は本十六日出連する筈である

投書歡迎

中傷を目的とするのは採らず
新聞行數五十行以內のこと

日本人の巡捕

四平街丸屋商店　金秀照

巡捕とは、巡査の下に働く、下級警察吏のことである、巡査には、本俸外、加俸、舍宅料を支給されるが、巡捕にはそれがない、名稱が違ふ丈待遇も違ふ。世人齊しく巡査は、日本人、巡捕は支那人と思ふてゐる。處が、田舍警察には日本人の巡捕が居る、立派な帝國臣民でありながら、支那人同樣にも扱はれてゐる、これはほらでも嘘でもない、現に公主嶺の警察にも一人の日本人巡捕が居る、賢明なる中谷局長閣下、一視同仁無差別平等とは、口先許りの御世辭ですか。

連鎖商店經營者へ

三角　義男

現在電氣遊園下に建設中の連鎖商店は東洋一と云はれるだけに大連に珍らしい近代的の建築物であり古い樣式の建物より外になかつた大連にもこの樣に立派な新し味のある建築物が出來る樣になつた事を嬉しく思ひます、そしてその竣工と開店の日も近づきましたがこの時に當り一寸經營者當局に對してお願ひがあります

一、今度新に出來る連鎖商店內の道路の名前には大連銀座街、大連心齋橋通、大連京極、第二浪速通と云ふ樣に決定された相ですが、もう少し創造的な滿洲か大連にフサワシイよい名前はないものでせうか、內地のアリフレタ街の名に只大連と云ふ冠詞をつけただけのものを以つて連鎖商店內の通りの名にすると云ふ事はどうも面白くない方法です、大連市民の方々にでも考へて頂いてはどうですか、將來大連の誇りとなる物ですから

二、市民の皆樣はどうお考へですか？日本の看板廣告の文字の書方は非常に亂雜を極めております即ちタテガキあり、右ヨコガキあり、左ヨコガキあり、少しも統一がありません、將來は否一日も早く色々な方面から考へて文字の書方を左からヨコガキに統一しなければなりません、連鎖商店經營者はそこを十分注意して亂雜にならぬ樣即ち看板廣告の大さを定めてそれに文字の書方も一定方向にしてヨコガキの場合は必ず左橫書にと云ふ事に統一して頂きたいのであります

委員を更迭して 新に血路を開く

撫順不動產組合總會

【撫順發】既報の如く不動產組合臨時總會は十四日午後二時より開催されたが一死活の岐路に立つ吾々組合員は事茲に至る不動產及地上權を外人に讓り渡しする外なく同志一致結束炭礦當局にその認可を迫るのみと

連判狀を

作成、是に續々と記名捺印するもの等あり暗色全會場に溢れたが何等かのよりよき善後策を講ずべく松井佐兵衛氏を議長に推し甲論乙駁議論百出、後藤愛之助氏立つて「萬事既に休す本組合を解散するの外なし」と主張し是に和するものも相當あつたが委員會を開く爲二十分間休憩後田中廣吉氏立つて「折角の組合を今解散したとて得る利益はない、それよりも新陣容を整へ從來以上の團結力を以て何等かの活路を拓く方が得策である」事を說き、茲に對交涉委員十氏は

總辭職す

る事となり、新に代表委員七名を選ぶ事となり連記投票の結果、中原幹光、風島井、松井佐兵衛、島末連、加藤百太、新井、神田藤太の七氏當選捲土重來の意氣込を以て何等か一方の血路を拓く事を決議、五時二十分散會した

俄案損失調查 委員會の組織

【吉林發】露支時局發生以來東西兩國境方面に於て赤衞軍の襲來を受けて相當の損害を蒙りたるものと察せらるゝが、吉林省政府に於ては之等損害の一切を詳細に調査し他日問題解決の際損害要償の資料たらしめんとの主旨から民政廳內に俄案損失調查委員會を設置したのであつたが、茲に其內部の組織を擧ぐれば

委員長章啓槐（民政廳長）委員馬德恩（農鑛廳長）同鍾毓（交涉署長）同王之佑（吉林全省公安管理處長）同張松齡（總商會長）同胡炳文（總工會長）同謝廣霖（省農會長）總務股主任徐恢（民政廳秘書）調查股主任賈士鑑（同）にして委員の下に總務、調查兩股が設けられ孰れも其他に股員若干名を置いて居る、猶其調查事項として左記各項を列擧してゐる

一、軍事上に關する損失
二、財政上に關する損失
三、農業上に關する損失
四、工業上に關する損失
五、商業上に關する損失
六、交通上に關する損失
七、金融上に關する損失
八、人間の死傷、財產の掠奪、公私建物の破壞其他一切直接間接の損害

吉田野田兩巡查遭難義捐金寄附

○兩警官義捐金

▲金三百二圓　大連市北部町區有志▲金三十三圓九十錢　株式會社福昌公司社員有志▲金三十圓宛　匿名、大連取引所信託株式會社、大連看護婦會組合一同▲金二十圓宛　大連工業株式會社▲金十五圓宛　昭和洋行、大連古物商同業組合、神道金照教會修德會▲金十圓宛　柳田德道、大連商品信託株式會社、宮下末藏、奧田千之、辻利支店、大連華商貿屋組合、瑞豐棉行、杉浦兼吉、大連理髮業組合、普善堂公所、關東廳刑務支所職員一同、大連驛▲金五圓宛　前田利貫、三根辰一、金子光枝、相生連鎖商婦一同、岩崎文五郎、玉置榮吉、山內淺一、大連行商人組合事務員一同、岡崎虎雄、小阪醫院、小住ヤス▲金六圓　野田看板店々員一同▲金三圓宛　花屋ホテル、山本勇▲二圓宛　田場善太郎、池永充寶、市豐太郎、渡邊吉人、龜田彌十▲金一圓宛　雨森清三郎、松本辰二、清水良吉、中野喜久二郎、井本麟太郎▲金五十錢宛　加藤泰助、高木可藏、富岡貞身、藤井鐵雄、東晉次郎、根來寅太郎、山下直、辻廣志、井上增太郎、坂井午造、豐幾匠士、鈴木義太郎、國木榮太郎、伊藤管▲三十錢　中山義朗

總累計金三千五百七十八圓五十五錢也

（內大洋五圓）

○兩警官義捐金

▲金六十圓大連民政署職員一同▲金二十圓宛　桑商組合埠頭水先人一同▲金十六圓淺月使用人一同▲金十五圓五十錢快樂店一同▲金十一圓五十錢南山麓小學校職員一同▲金十圓五十四錢大廣場小學校職員一同▲金十圓專賣局▲金五圓宛大石橋近藤政子、萬玉洋行、撫順高野山遍照寺、小喜多鐵雄▲金參圓小野寺兵右衛門▲金壹圓宛村上多次郎、渡邊承五郎、上坂サカ

○弔慰金

▲金六圓高原清一郎▲金五圓遞信局工務課第一試驗部

○見舞金

▲金四圓高原清一郎

○兩警官義捐金

▲金二百圓蒙古阿爾陀會有志五十六名▲金卅圓南滿洲旅館株式會社▲金五圓宛張利堂、中日興信社一同、平井大次郎▲十圓三聯隊四郎職員一同▲金四圓四十二錢早苗高等小學校職員一同▲金三圓宛久尾伊左衛門、木谷一雄、野菅野茂一、玉谷良夫、山口耕平▲一圓宛村岡智、瀨川清次、黑川鶴藏、山岡廣、北條昌英、金田誠介、石塚太郎、無名氏、賀山駿、三木清助、吉田榮藏、光山直輔

累計金二千十六圓二十六錢也

南征雜錄（九）

難波勝治

ニウオリンズ

ニウオリンズの北米南部に於ける經濟的位置に就ては今更私が茲に絮說するに及ばぬ所であるが、近年ルイジアナ州は勿論テキザス、アルカンサス、アラバマ等各州の開發と相俟つて急速の進步を示したことは確に特筆に値する

同港目下の

人口は四十有五萬、之を他の米國諸大市に比すれば未だ多を誇るに足らぬ、併し水運に於て、工業に於て、將また金融に於て居然群を拔き、就中此港を通じて行はれる船舶輸送の如きは優にニユーヨークの次位にある、今最近同港埠頭に於て取扱はれた貨物噸數の統計を見るに

年次（每年八月末日現在）	噸數（米噸）
一九一八	二、一一四、〇六六
一九一九	二、〇五一、四七九
一九二〇	二、七二六、一五六
一九二一	三、九九六、[illegible]〇〇
一九二二	四、五〇四、六七八
一九二三	四、二一六、八九五
一九二四	四、一二八、一六三
一九二五	五、三八三、五六八
一九二六	四、八九九、三八五

といふ盛況で、以てその比率漸增の勢を窺ふに足りるが

この原因は

勿論合衆國の中央を貫流するミシシッピー河谷てふ深廣なるヒンタアランドの要衝を扼する爲である、併し同時に巴奈運河の開通と、該運河が歐洲大戰後俄に船舶の往來を繁くしたこと、及び南米諸國の開發に伴ふ南北兩大洲の貿易を促進したこと等を看過してはならぬ、ブラジルから歸朝の途にある私は其一例として同國とニウオリンズとの貿易、殊に珈琲の輸入狀況を擧げやうと思ふが、一千九百二十六年六月から翌年五月末に至る一年間に珈琲は總計九百八十三萬七千九百十俵、內米國向け約六百三十萬俵に上り、之を

港別に分割

してニユーヨーク港の三百一萬三千一俵に次ぐ者はニウオリンズ港の百九十八萬三千六俵であつた、而してこの現象は又色々の意味に於て同港と日本との關係を語る者である、即ち夙に小麥、棉花、機械油等が日本へ賣込まれて居たてふ直接交涉の外に前述の如くサントス港から輸入されるブラジルコーヒー中にはサンパウロに在住する日本植民の手に產出された者が相當交つて居ることである、左れば南米今後の發達につれてニウオリンズ港の位置は益々重要味を加へるだらうが更にそれは各地に散居する我が同胞の利害にも間接に影響を及ぼす者である

合衆國南部

の諸都市は之を北部に比して著るしく南歐文明の感化を受て居るが此痕跡は殊に著るしくニウオリンズに於て發見せられる、それは畢竟同港がラテン民族に依つて創立された爲めで一千七百十八年以來フランス植民の中心として本國からの勞力と文化とを輸入するに努めたが、併し當時の歐洲は各國互に勢力を爭ひその影響の及ぶ所常にアメリカ植民地に於ける主動移動となつた、ニウオリンズが一千七百六十二年スペインに讓與せられ、一千八百年再び元のフランスに買戾されるなど以てその間の消息を推想すべきだが、獨立後の合衆國政府が

フランスか

ら之を讓り受けたのは三年後の一千八百三年であつた、斯した經過は自づから此港の特色を基礎付け市民の態度にも何となく南歐への柔か味を帶びさせて居るやうに見へる

【寫眞はニウオリンズ港棉花倉庫】

三共とその藥品

我三共は、約三十年前鹽原氏の創業に係り、爾來日新の學術應用を根柢となし、堅實漸進の主義方針を嚴守し、幸に江湖の信認と後援とを得て、日に月に順調なる發達を遂げ、今や、その取扱藥品類は下掲の數百を算し、醫家は各科の專門と否とに不拘當社藥品を常用せられざるはなき現狀であります。

本表は、本會社取扱の醫藥、滋養劑並に化粧品類のみを示したものであります。

醫藥は、應用上の捜索に便する爲、之を藥效別（例へば健胃消化藥）とし、又藥效を以て擧げ難きものは病名別（例へば脚氣藥）とし、其他は日常の稱呼（例へば丁幾、越幾斯等）により類別しました。

三共の醫藥品中には、帝國學士院及帝國發明協會より授賞せられたる榮譽の研究品（タカヂアスターゼ、アドリナリン、オリザニン、テトロドトキシン等）あり。其他何れも醫藥として治療界の承認する優秀なる製品のみであります。

三共藥品時價表進呈す
新聞名記載御申越の方に限る

東京五町 三共株式會社

三共の藥品類別便覽

催眠、鎮痛、鎮痙鎮靜劑
イクイプロミン
ニトログリセリン錠
抱水クロラール錠
ヂエチールバルビツール酸
ヂオニン（鹽酸エチールモルヒネ）
ヂコヂツト
燐酸ヒドロコデイン
オイトルミン
同液及注射液
カプソリン
ナルコフキン
ヴエラトローン
ウレアブロミン
クロレトーン
同膠囊
クリマクトーン
ブロームカリウム錠
ブロームカルチウム注射液
ブロムラール末・同錠
ブロメトーン
エクスペクト錠
鹽酸ペロチン
テトロドトキシン
鹽酸モルヒネ注射液
アロイドリン
アムネジン
安息香酸ベンヂール
セダロン末・同錠
セダチヴアール
タレノイジン
ロイコトロピン

麻醉劑
【一】吸入麻醉劑
麻醉用クロロフォルム
麻醉管入クロールエチール
【二】局所麻醉劑
パラアミノ安息香酸エチールエステル
クロールエチール
コドレニン
鹽酸コカイン液
アポセシン・同錠
キニーネ鹽酸尿素液
スピカイン

滋養強壯劑
【一】含鐵製劑
トリフエリン
トノマーレ
ヨードフエラチン錠
ヨードフエラトーゼ
炭酸鐵錠
複方炭酸鐵錠
滿俺鐵ペプトン溶液
同香衣錠
フエラチン
フエラトーゼ
アルゼンフエラチン錠
アルゼンフエラトーゼ
糖衣規鐵丸
【二】肉製品
リバスン
カロピン
カルピン
ビーフゼリー
【三】牛乳製品
カゼインナトリウム
エデルワイス牛酪乳
【四】肝油及其製劑並肝油誘導劑
高橋氏改良肝油
消化性肝油
メタヂエン肝油
ネーロール
三共肝乳
三共ヴイタミンA
三共燐肝油乳劑
ヤノール
【五】混合製劑
インファンチナ
ヒギア
【六】有機性燐劑
トノフォスファン
ヌクレイン酸溶液
ユーキリン
同錠及膠囊
【七】ヴイタミン劑
オリザニン末・錠
同越幾斯・注射液
三共ヴイタミンA
ラヂオストール
メタヂエン肝油
同膠囊
【八】其他
イータン

パラトール
複方パラトール
ヘモグロビン錠
オスゲン（千秋氏骨粉）
同錠
レチチン錠
グリコナール錠
グリコゲーン
グリセロ燐酸カルチウム
グリセロ燐酸エレキシール
マルツ越幾斯
同（含次亞燐酸鹽）
次亞燐酸鹽含利別
石橋榮養糖

健胃消化素
パンクレオン
同錠
パンクレアチン錠
同重曹錠
純ペプシン
同糖衣錠
ペプシンコルヂアル
トリプシン
タカヂアスターゼ
同錠
タカヂアスターゼ強壯酒
ソーダミント錠
エデラン
アタキシン

强心劑
パンギタール末（ヂギタリス製劑）
同液・同注射液
チマリン錠
同注射液
ヂギタリス流動越幾斯
ヂギトール（十倍力強パンギタール末）
到藏ヂギタリス葉
特製ヂギタリス丁幾
ヂギカール
ヂギプラツーム
ヂウレチンカルチウム
純ヂギタリン錠
カムフル油
ヨードヂウレチンカルチウム
ヴエロヂゲン
コロイドカムフル球
安息香酸カルチウムカフエイン
安息香酸ナトリウムカフエイン液
ストロフアンチン
同注射液
ストロフアンゾーン
カルヂアゾール
アドリナリン

利尿劑
尿素
ヂウレチン
ヂウレチンカルチウム
ヨードヂウレチンカルチウム
テオフイルリン錠
同醋曹錠
ビスチン

血管擴大藥
亞硝酸アミール球
ニトログリセリン錠

高血壓症藥
ロダンヂウレチンカルチウム

止血藥
乳酸カルチウム
チオノールカルチウム
クロールカルチウム
同溶液
コアグローゼ
鹽化アドリナリン溶液（一千倍）
同注射液
アドリナリン（結晶）
同錠
同軟膏
同吸入劑
同坐藥
滅菌ゼラチン液
滅菌ゼラチンカルチウム液

脚氣藥
オリザニン末・錠
同越幾斯・注射液
メタヂエン

緩下劑
蘆薈ヤラツパ丸（糖衣）
ペリスタルチン錠
同注射液
リツツル・リバー・ピル（カーター氏）
ルーフエン
オルガーン
カサーチツク
コムパウンド糖衣丸
カスカラ糖衣錠
カスカラエバキユアント
カスカリン末
同糖衣丸
甘汞錠（小兒用）
タータラツクスン
ラキサフエン
グリセリン坐藥
マグネシア乳
フエノールフタレイン
アガー
アロフエン丸
アメリカンオイル
ジユボール
セラガール錠

止瀉劑
オイペリン
同錠
オイトルミン末
同液
同注射液
カルコリツド
タンニン窓天
タンナルビン
蒼鉛乳
エクスペクト錠
アルバルタン
三共精製炭
アドソルビン

治淋劑
【一】（內用及注射藥）
バジエオール
カワサンタール
フエジカール
プレノリン・同錠
コパイバ膠球
テルピヒン
サンチール原液
純白檀油
同膠球
ウラトリン糖衣錠
トリパフラヴイン
【二】（外用）
チオノール銀液（チオタルガン）
尿道用リムフォミン
ネオシルヴオール
ナーゴール
クプロール
フルオギール
アルバルゴール
シルヴオール
ジルゴール
トランスアルガン

子宮緊縮藥
鹽酸ヒドラスチン
エルゴチン
麥角滅菌越幾斯
ヒドラスチス流動エキス
產科用ピツイトリン
外科用ピツイトリン
內用ピツイトリン
セダンス液及錠
スチプトール錠

陰萎治療催淫藥
鹽酸ヨヒムビン
同錠及注射液
テストガン錠及注射液
テリガン錠及注射液

腸寄生蟲驅除藥
ヂゲルミン（糖衣丸）
ネマトール球
同膠油
フイルマロン
サントニン錠
サントペロン
四鹽化炭素（テトラタン）

尿酸排除藥
リシア沸騰錠
アルトジン
ユロドナール

防腐藥
【一】內用劑
胃、腸、尿防腐劑
イヒタルビン
カルコリツド
ラクトスターゼ
同錠・同ブイヨン
ウワウルシ
過酸化マグネシウム
クレオソート糖衣錠
アドソルビン
アルゴフラヴイン溶液
三共精製炭
【二】口中消毒藥
パンフラヴイン糖衣錠
オキシフル
フォルモラクチン錠
ユーサイモール口中錠
【三】外用劑（一般皮膚病藥、消毒藥）
易溶性硼酸錠
ペニフオルム
トリクレゾール
トリパフラヴイン錠
同劑
同撒布劑
ヂブロミン
ヂオイグフオルム
オキシフル
過酸化硼砂
過酸化亞鉛
ヴイオフオルム
ヴムチダン丁幾
同液及吸入液
クロラミン液
特製クレゾール石鹼液
グラヌゲノール
フオルミダイン
フエピカリン
アルゴフラヴイン液
三共亞鉛華
アンヂトラゾール
サリチール酸溶液
ユーサイモール
ビルヤクリーム

昇汞消毒錠
ストラクソール
【四】トラホーム藥
可溶性枸櫞酸銅
【五】防腐消炎劑
ハマメリスウオーター
チオノール
チオノールカルチウム
同撒布劑
ノヴオテール
グリテール
グリテールパスタ
アンチフロヂスチン
ズルフオゲノール

バセドウ氏病藥
ログーゲン
チレオイデクチン

特殊消毒藥
【一】キニーネ劑
インジピン錠
トノマラーレ
硫規糖衣丸
オイツツシン
レミジン
タンニン酸レミジン
フイラリジン
鹽酸レミジン
鹽規糖衣丸
テコイフン
サリチール酸レミジン
サナキン
キニーネ鹽酸尿素液
【二】サリチール酸劑
ヂプロザール
オポピリン
ノヴアスピリン
サリチール酸
サリチール酸ナトリウム
【三】水銀劑
イマミコール
黃色ヨード汞膠衣丸
黃色ヨード汞錠
カロメル・コモツチ
小兒用甘汞錠
ヨーハ
デユレ氏處方花柳病豫防軟膏
メルクロール
メルクロサール
メルチノール
（プレスラウ灰白油）
シブリドール
昇汞消毒錠
【四】蒼鉛劑
カ・スピス
【五】砒素劑
トノマラーレ
テンナパーサナン
カコヂリン
カコヂイル酸曹達注射液
ソラゲーン
ネオアルサミノール
（滅菌蒸餾水）
アトキシール
アルサミノール
（苛性ナトロン液）
內用亞砒酸錠
【六】クレオソート（グアヤコール）劑
チヤホツキン
レスピラチン
クレオソート糖衣錠
フアゴール
プロポソート膠球
プノイミン
プノイミンカルチウム
スチラコール
【七】大風子油製劑
レプロール
同錠
【八】酵母製劑
アウトチイメ
ビオチーム
【九】ラヂウム劑
ヂオラヂン
【一〇】其他
トリパフラヴイン
トリフオリウム合劑
チムルヂオン
ガメラン
無蛋白ツベルクリン
エンチトール
メスペ

變質藥
イクチヨヂン
トノマラーレン
リポヨヂン
燐酸ヨードタンニン舍利別
ヨードカリウム錠
沃度カルチウム
沃度タンニン舍利別
ヨダルビン
無水葡萄糖
テスチヨデイル錠
內用亞砒酸錠
サブヨヂン
滅菌リンゲル液
滅菌リンゲル氏液
生理クロールナトリウム鹽液
滅菌生理的食鹽液

鎮咳袪痰劑
ヘロイン抱水テルピン舍利別合劑
フスタギン
複方コシラナ舍利別
プロチン末
同錠・同液
アノダインパインエクスペクトラント
アスプチン
テコイフン

百日咳藥
オイラチン末
同錠・同舍利別
オイツツシン
テコイフン
メラン

肺炎藥
メントピン
サナキジン
レミジン
同其鹽類

解熱藥
ヂプロザール丸
硫規糖衣丸
オボビリン
カンフオルミドン
ラクトフエニン
ノヴアンピリン
複方アンチヘブリン錠
エルボン
鹽規糖衣丸
サリチール酸ナトリウム
サリチール酸レミジン
キニザール

ロイマチス藥
ロイマチス錠
ロイコトロピン
ヂプロザール
リウマチズムフオラコゼン
クレノイジン
アンチトルヂン

肝臓藥
コレリス丸

利膽藥
コロサン
アピレン錠
ヒヨレフラヴイン

喘息藥
ヘーア氏喘息錠
ツリサン
ピツグレナン

止汗藥
內用アトロピン錠

惡阻治療藥
ユゴール
ゲネグランドール
ゲネスチプトール

鼻科特殊藥
ルル
ナーサル錠
ムチダン吸入液
アデフイン

耳科特殊藥
ムチダン液

葡萄狀球菌病藥
ヒストピンゼラチン（外用）
オクソチン（內用）

瘰癧横痃藥
リムフオミン
ブボノール

癤內用藥
チエロリン丸及錠
オクソチン

疔癰藥
カルブンケン（外用）
オクソチン（內用）

軟性下疳特効藥
ユリナコール

花柳病豫防藥
デユレ氏處方花柳病豫防軟膏
ボノギン

眼科特殊藥
グリココール酸ナトリウム
左旋グラウコサン
右旋グラウコサン
アミングラウコサン

汗疱、凍傷藥
ユーグリーン

發毛劑
フマグソラン
セーミン
同錠（內服用）

瘢痕軟解藥
ナルペリジン

角質除去藥
スピール硬膏

皮膚刺戟劑
カプソリン
三共芥子パスタ

消炎劑
ロイコトロピン
乳酸カルチウム
タカモール
クロールカルチウム
同液
テルピヒン
アフエニール
ストロンチウラン
同錠
ネオストロンチウラン

催乳劑
乾燥胎盤實質
ラクチフエリン
同膠球
ママイン

アメーバ赤痢藥
沃度蒼鉛エメチン丸
鹽酸エメチン
鹽酸エメチン注射液

糖尿病藥
インシユリン
インシユリングアールド
ジヤムブルシード
同錠

調味料
サツカリン錠

銀劑
チオノール銀液
ナーゴール
アルバルゴール
シルヴオール
ネオシルヴオール
ジルゴール
トランスアルガン

ヨード劑
イクイヨヂン
燐酸ヨードタンニン舍利別
リポヨヂン
ヨードヂウレチンカルチウム
ヨードカリウム錠
沃度カルチウム液
沃度タンニン舍利別
沃度蒼鉛エメチン丸
ヨードフエラトーゼ
ヨードフエラチン錠
ヨダルビン
テスチヨデイルン
サブヨヂン

カルチウム劑
ロダンヂウレチンカルチウム
乳酸カルチウム
チオノールカルチウム
ヂウレチンカルチウム
オスゲン（千秋氏骨粉）
ヨードヂウレチンカルチウム
沃度カルチウム液
タカモール
クロールカルチウム
クロールカルチウム液
グリセロ燐酸カルチウム
ブロームカルチウム注射液
プノイミンカルチウム
アフエニール
安息香酸カルチウムカフエイン
滅菌カルチウムゼラチン液
次亞燐酸鹽舍利別

臓器製劑
インシユリン
インシユリングアールド
乾燥乳腺實質
流動黃體越幾斯
乾燥甲狀腺（チレオイド）
ラクチフエリン
乾燥卵巢黃體膠囊
乾燥卵巢實質
オヴアラーデン
トリフエリン錠
乾燥胎盤實質
無黃體卵巢實質
乾燥腦下垂體前葉錠
乾燥腦下垂體全腺
ゲネグランドール
ゲネスチプトール
乾燥副腎末
乾燥睾丸實質錠
乾燥松果腺錠
乾燥上皮小體錠
エデラン
鹽化アドリナリン
テトロドトキシン
アンツイトリン
サイロプロテイン
サイマスグランドン
產科用ピツイトリン
外科用ピツイトリン
內用ピツイトリン
セレブリン
ピツグレナン
リポジガン
テストリガン
ヤクリトン

吸着劑
アドソルビン
カルコリツド
三共精製炭

丹毒外用塗布劑
カンサロス

假骨形成促進劑
オツソフイツト

佝僂病
ラヂオストール
三共燐肝油乳劑

肥滿病治療藥
リポリジン錠
同注射液

非特異性刺戟劑
ヘルビン
ガメラン

坐劑類（痔及肛門病）
クロレトーン・コムパウンド痔坐藥
グリセリン坐藥
アリヘミン坐藥及軟膏
ワギノール
アドリナリン坐藥
アストリンゼント膣坐藥
サイオダイン膣坐藥

外科材料
アドヒシン
ジヨンソン・ジヨンソン亞鉛華絆創膏
ゴム絆創膏
絹引絆創膏

化學藥及試藥
新式ロマノウスキー氏法染色液
バガール（乾燥細菌培養基）
ペプトン
苛性ナトロン液（一・五%）
土屋式蛋白試藥
レントゲン用硫酸バリウム
ウレアーゼ
フエーリング氏液（第一、第二液）
フエノールズルフオンフタレイン溶液
コレステリン
アミールアルコホル
ズルフオサリチール酸
ズルフオサリチール酸ナトリウム

害蟲驅除藥
コクゾール
ネオトン
液狀ネオトン

其他の藥品
硼酸末
硼酸
無水ラノリン
含水ラノリン
タンニン酸アルブミン
枸櫞酸鐵アムモニウム
ズルフオイヒチオール酸アムモニウム
澱粉
ギプス
煆製石灰
フオルマリン
グリセリン
ヘキサメチーレンテトラミン
ヨードール
重炭酸カリウム
重酒石酸カリウム
硫酸マグネシウム
ナフタリン
ナフタリン球
重炭酸ナトリウム
結晶重炭酸ナトリウム
クロールナトリウム
サリチール酸ナトリウム
膠囊
次亞硫酸ナトリウム
フエノールフタレイン
乳糖
人工カルルス泉鹽
タルク
木タール
ワセリン
酸化亞鉛（紙箱入）
同（紙包）
亞鉛華澱粉
同（紙箱入）
ロツタセメント
馬鈴薯澱粉
純ワセリン
純クロールナトリウム
枸櫞酸ナトリウム
純グリセリン

丁幾類
アコニツト丁幾
苦味丁幾
芳香丁幾
橙皮丁幾
安息香丁幾
カンタリス丁幾
キナ丁幾
複方キナ丁幾
桂皮丁幾
コルヒクム丁幾
コロムボ丁幾
ヂギタリス丁幾
特製ヂギタリス丁幾
林檎鐵丁幾
複方ゲンチアナ丁幾
龍膽丁幾
ヒヨス丁幾
吐根丁幾
ヨード丁幾
稀ヨード丁幾
大黃丁幾
水製大黃丁幾
セネガ丁幾
莨菪丁幾
ストロフアンツス丁幾
番木鼈丁幾
纈草丁幾
蘆薈丁幾
蕃椒丁幾
阿仙藥丁幾
コセニール丁幾
黃連丁幾
サフラン丁幾
過クロール鐵丁幾
五倍子丁幾
ゲンチアナ丁幾（獨局方）
癒瘡木丁幾
無色ヨード丁幾
ロベリア丁幾
ミルラ丁幾
商陸丁幾
遠志丁幾
クアツシア丁幾
海葱丁幾
麥角丁幾
生薑丁幾
ムチダン丁幾

注射用錠劑
鹽酸ヘロイン
純ヒヨスチアミン
モルヒネ及アトロピン

越幾斯類
ゲンチアナ越幾斯
龍膽越幾斯

流動越幾斯類
印度大麻流動越幾斯
ハマメリス流動越幾斯
麥角流動越幾斯
番木鼈流動越幾斯
ベラドンナ根流動越幾斯
ヂギタリス流動越幾斯
ダミアナ流動越幾斯
纈草流動越幾斯
ヒドラスチス流動越幾斯
センナ流動越幾斯
ウワウルシ流動越幾斯
セネガ流動越幾斯
カスカラサグラダ流動越幾斯
コンヅランゴ流動越幾斯

軟膏及パスタ劑
硼酸軟膏
黃色石炭酸軟膏
樟腦軟膏
コロイド銀軟膏
ヘブラ軟膏
水銀軟膏
イヒチオール軟膏
單軟膏
強發泡軟膏
ウイルソン軟膏
ウイルキンソン軟膏
亞鉛華軟膏
木タール軟膏
タールパスタ
グリテールパスタ
デユレ氏處方花柳病豫防軟膏
アリヘミン軟膏
三共芥子パスタ

粉末及散劑類
橙皮末
カンタリス末
莨菪越幾斯粉末
可溶性莨菪越幾斯散
番木鼈越幾斯散
キナ皮末
桂皮末
蓽澄茄末
アラビアゴム末
コロンボ根末
ゲンチアナ根末
龍膽末
吐根末
甘草末
大黃末
健胃散
纈草根末
生薑末
白糖末
芳香散
複方甘草散
小兒散

硬膏類
單鉛硬膏
松脂硬膏
莨菪硬膏
スピール硬膏

液劑類
醋酸アムモニウム液
クレゾール石鹼液
クレゾール石鹼液（特製）
過クロール鐵液
醋酸カリウム液
亞砒酸カリウム液

酸類
醋酸
稀醋酸
飲料醋酸
氷醋酸
石炭酸
流動石炭酸
防疫用石炭酸
枸櫞酸
稀鹽酸
純鹽酸
硝酸
稀硝酸
純硝酸
硫酸
稀硫酸
純硫酸
酒石酸
乳酸
サリチール酸
硼酸

油類
落花生油
肝油（三共）
亞麻仁油
オレーフ油
篦麻子油
胡麻油

舍利別類
アルテア舍利別
橙皮舍利別
桂皮舍利別
ヨード鐵舍利別
吐根舍利別
セネガ舍利別
大黃舍利別
センナ舍利別
單舍利別
生薑舍利別
燐酸ヨードタンニン舍利別
ヨードタンニン舍利別
複方コシラナ舍利別
次亞燐酸鹽舍利別
オイラチン舍利別

果實蜜類
れもん蜜
いちご蜜
ばなゝ蜜
みかん蜜
あんず蜜
りんご蜜

酒精及酒精劑類
酒精
エーテル精
亞硝酸エチール精
芳香アムモニア精
アムモニア茴香精
樟腦精

酒劑類
コルヒクム酒
コンヅランゴ酒
吐根酒
赤葡萄酒
ペプシンコルヂアル
タカヂアスターゼ強壯酒

脂肪類
豚脂
安息香豚脂
牛脂

藥用石鹼類
カリ石鹼
藥用石鹼
綠石鹼
石鹼樟腦精

水劑類
アムモニア水
强アムモニア水
石灰水
石炭酸水
防疫用石炭酸水
桂皮水
蒸餾水
茴香水
フオルマリン水
昇汞水
薄荷水
杏仁水
バクチ水
薔薇水

其他
△丸劑類 約十五種
△錠劑類 約百種
△膠球及膠囊類 約二十種
△注射用壜球（アムプール入類） 約十八種
△血淸類（北里研究所） 約十七種
△製造工程標本類 數種

化粧品類
ベイラム
ベビーパウダー
ペルセリン
エレクトラ香水
ユーサイモール煉齒磨
ユーサイモール
コールドクリーム
ビタソープ
ラベルン石鹼
ペナンデ石鹼
オレンヂ石鹼
たはこや石鹼
サユリクレンザー
サユリコールドクリーム
サユリオキシクリーム
サユリ化粧クリーム
サユリフエースクリーム
サユリ煉白粉
サユリ水白粉
サユリ粉白粉
サユリの華
サユリ水クリーム
サユリスキンローション
サユリねり紅
サユリポマード
サユリベーラム
サユリ香水

オキシフル

齒牙の美白に、口臭其他の口腔疾患に

三共特製 過酸化水素液

鎮咳一袪痰

ブロチン

粉末・錠劑・液劑

氣味佳良、副作用絶無
奏效顯著なるを知らる

急、慢性の呼吸器疾患にて咳嗽喀痰を伴ふ凡ての場合並に百日咳に賞用せらる。

（說明書進呈）

三共肝乳

飲みやすき肝油・胃障碍なき肝油

快香ある牛乳樣製品
詳細說明書進呈

胃腸に タカヂアスターゼ

世界に冠たる消化酵素
藥工學博士高峰讓吉氏發見

消化不良並に消化不良に因する各種の胃腸疾患に奏效顯著なり。

說明書進呈

包裝 末、錠 各種

脚氣に オリザニン

世界に於けるヴイタミンBの始祖
學界に於ける標準品

說明書進呈

コドモページ

紅い葵（下）

武藤一枝

或る朝、それは六月二十五日ですから、私は、となりの室で一人ねてゐるお母さんを思ひ出して、まだ夜の明け切れない薄暗い頃でしたが、眠いのをこらへて、牛乳と氷と、新聞を持つて、となりの室へ入つてゆきました。それは夢の樣な靜かな夜明けで、まだ世界中が眠つてゐるやうで、東の窓からは、夏の曉の薄明りがしらしらと流れこんで、お母さんの青白い顔を照らして、まるで、大理石の女神の像が、青い月光の中に横たはつてゐるやうです。窓の隅々にはまだ闇がチラチラと姿を見せてゐます。私がそつと、まくら元へ牛乳びんをおくと「今日は早いのねえ、御苦勞さんだこと、ほんとうにお世話になつた……」と、眠つてゐると許り思つたお母さんがかう言ひました。「はい。お母さんも早いのね、牛乳か氷いらない？」と私もやさしくたづねました。

「あゝ、今日は何もほしくないから、お前お上りよ」とお母さんはあべこべに私にすゝめて、又靜かに瞼をとぢました。あゝ、あの葵の事は忘れていられるのだと私はホッとした間もなく「ちよつと、葵の花はどうしたの、ちつとも見えないぢやないの」とお母さんはたづねるのです。あゝ、お母さんは私が言つたあの一言をあてにして、こんなにまで紅い葵の咲くのを待つてゐるのでした。「えゝ、室の中におくと、早く咲かないから外へ出じてあるの―」私はかう言ひましたが、お母さんの心を思ひやると悲しくて、涙がポロポロと流れました。それからだんだん夜が明けて、お晝近くなるまで、お母さんは珍しく私達子供を呼んで、病氣にかからない前の樣な、やさしい言葉をかけてくれました。けれども夕方から夜にかけて、めつきり惡くなつて、私が何か言つても聞えない程になり、話をする事も出來なくなりました。お醫者さんも、私達子供もお父さんも皆、傍へ集つて一生懸命に看護してゐました。その時、お母さんが苦い息の中から「今日は……いく日？」と私にたづねました。「二十五日、お母さん」と私は耳に口をよせて大きい聲で言ひますと「さう……六月二十五日……」と呟いて、青ざめた瞼をとぢて、うつらうつらと眠つてゐる樣です。そして、九時五分になると、眠るやうに、目を細めて、私達子供やお父さんをぼんやりと眺めて、そのまゝ靜かに、天國の神樣のお傍へ歸つてしまひました。たつた三十六の若さで、まだお乳を飲む二つの赤ん坊を殘して、あ！とうとう亡くなつた！私は烈しく泣きながら、庭へ出て葵の鉢を見ますと、ふしぎにもカラカラに枯れてゐるのでした。「この葵がひらかなつた爲に…」と私は、植木鉢を力まかせに投げつけて割つてしまひました。あんな恨めしい花！何が印度のお姫樣。何が可愛い花。あんな花は惡魔の舌と同じ事です。私はもう一生涯、あの紅い葵を憎んでやらうと思ひます。時々、紅い葵の花を見ると、あの花をたよりにして、とうとう死んで行つた、お母さんの心を思ひやり、いつも涙ぐむのです（をはり）

右へーならへツ！番號ツ、ワン、ワン、ワン

兒童の作品

虫ぼし

伏見臺小學校二年 白石敏子

今日は學校で虫ぼしがありました。よしをかさんがふろしきに着物をたくさん入れて持つてきました。それからせんせいがきやうしつになをはつて、よしをかさんのもめんのもんつきを一とうさきにかけました。それから私の家のおとうさんのもんつきのはおりをかけました。三ばんめは中川さんのうちのはかまをかけました。四ばんめはやつぱりはかまです。それはちまちやんのおにいさんのです。せんせいが中川さんのうちのおとうさんのはおりをきましたので、みんなが大わらひをしました。それから又はかまをはからとしたので又みんながわらひました。それからじゆんじゆんにいろいろのきものをかけました。田中さんがはつえさんのめりんすのきものをきて、光るおびをしめて、よしをかさんのわた入のはおりをきました。その時ほんたうにかはいらしかつたです。よしをかさんはわた入のはおりをお正月にきるさうです。はつえさんもお正月にきるさうです。よしをかさんもはつえさんもほんたうにうれしいことでせう。今日の虫ぼしはほんたうにおもしろかつたです。私たちのきやうしつは、いま、きものがたくさんかけてあります。よそのくみのせいとがめづらしがつて、私たちのきやうしつをのぞきます。

二ドメノ大チヤンノタンケン（121）

ハルミチ作 ジラウ畫

ダラスハ シマニ フネヲ コギヨセテ カイガンニ アガルト アタリヲ イツシヤウケンメイ サガシハジメマシタ。シカシ ウミノカミサマニモ オヒメサマニモ アフコトガ デキマセンデシタ。

ダラスハ ダンダン モリノオクノハウニ ハイツテ ユキマシタガ シバラクシテ コダカイ ヤマノカゲニ 一ケンノ イヘヲ ミツケマシタ。「アレダ、アレダ」ダラスハ オドリアガツテヨロコビマシタ

ダラスガ ウミノ カミサマノ ウチダト オモツタノハ オソロシイ ヒトクヒドジンノ コヤデシタ。シカシ ソンナコトヲシラナイ ダラスハ ヤマヲ カケオリテ コヤノハウニ ススンデイキマシタ。

國際ジャンボリー 寫眞だより（その二）

大連少年團主事 阿左見生

輝く日章旗

毎日の行事としてありました國旗行進の時、千五百人も引率した米、丁、佛、英などに伍して私達廿八人は少しもひけをとらず、いや實に堂々と元氣よく行進致しました。それは日章旗と聯盟旗が相次いで進む時數萬の觀衆が拍子して迎へてくれたからでありませうが、私達は人數の少いだけよく結束したお蔭だと思ひます

敎育

兒童遊園とそのプラン……（九）

關東廳體育研究所主事 山本壽喜太

墻園の必要

「かこひ」なき運動場は一つの空地である「かき」が運動場に必要か不必要かと云ふ論議の時代は過ぎ去つて「かき」を造らなければならぬと云ふことは今日の輿論となつてゐる。何故か。

（イ）運動場に美觀を添へると云ふ點

（ロ）兒童は街路の交通と全く遮斷されて安全にされると云ふ點 即ち兒童は遊びに夢中になる結果或はボールを追つかけ、又は追跡から逃れ樣として街路に飛び出し、不慮の傷害を受けることがあるからである。

（ハ）遊園を外界と分離するから管理の問題を容易ならしめ、遊園に明確な個性を與へ忠實の精神を養ふに好都合ならしめる。

墻園の要件

然らば「かき」は如何なる要件を具備し如何なる種類のものを適當とするか。要件としてはボールを外に出さない丈けの高さがあること。人が之れに攀ち登ることを防ぐ樣に造られること。兒童が之れに衝突したり或は倚りかゝる樣な事があつても、十分それに堪へられる樣なものなること。種類に付け色々ある。鐵線製のものは非常に良いが高價である。常緑樹の生垣を好む者もあるが、最も普通に用ひられるものはワイヤーフエンスである。この場合にはボールを出さない丈けの目を必要とする。ボール遊びが演ぜられる地域の「かき」の高さは少くとも十呎なければならぬ。

新刊教育書紹介

▲教育學術界（十月號）既成宗教の價値を論じて將來の宗教に及ぶソビエートロシア就學者教育時代の推移と教育、職業として教育興味論の考案、その他（五十錢東京市牛込區市谷田町モナス）

▲教育論叢（十月號）國東教育の提唱を論ず、國史教育の背景、思想問題再考、偉人傳の教育的價値、教化總動員について、その他同人主張、研究、隨筆等（五十錢東京市牛込區赤城元町文教書院）

▲讀方綴方鑑賞文選（尋常一年から高等科まで）課外讀物として好適のもの、月刊で各學年別に出來てゐる、定價は尋常の部は各冊五錢高等科は十錢（東京神田區一ツ橋文園社）

▲教育時論（十月五日號）適當程度の活用、學童の健康及疾病豫防、國定教科書の官營問題、試驗廢止の考察、學年の區限り方其他（十八錢東京市麹町區三番町開發社）

▲ローマ字の日本（十月號）二十錢日本のローマ字社

7―0 慶應軍の打擊振ひ 鮮やかに雪辱す
早大は四投手を送つて苦戰 早慶野球第二回戰

【東京特電十四日發】早慶野球二回戰は十四日午後二時より神宮球場にて天知、横澤兩氏審判、慶應の先攻で開始されたが、七對〇にて慶大の勝利となり閉戰四時五分

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
慶大	4	1	0	0	1	0	0	1	0	7
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

試合經過

△第一回 慶大楠見二―二後左中間に二壘打し本郷投手バンドで送り、山下二―三後中右間深く三壘打を放ち楠見生還宮武安打に山下生還井川は四球を得早大多勢をプレートに送つたが町田中前安打し宮武二壘より生還町田二壘を望み、中堅―捕手―二壘と渡つた球で一擧に刺され二死となつたが水原三壘右を拔く安打して井川生還川瀨も一二間を拔く安打、加藤投飛で漸く終つたが慶先づ四點を得▲早大水原、宮武の整球定まらぬに乘じ選球四球を得矢島の三壘バント内野安打となつたが伊丹バントを失敗後遊飛に倒れ森三飛する水原つかんで三壘に進まんとする水原を刺し、更に一壘に投じて森を併殺

△第二回 慶大楠見一壘後に安打し本郷二飛で楠見進壘、山下四球後、宮武右翼右深く二壘打し楠見生還、井川の遊飛で宮武三壘に進まんとして危ふかつたが西村ボンヤリしてゐて二壘に歸らせ、町田遊飛で慶一點を加ふ▲早大水上左前、西村右前に各安打に出で、佐藤の遊飛加藤ハンブルしたが西村を二壘に封殺走者三、一壘佐藤盜壘し、多勢投飛に水上出すぎて三本間に挾殺され、この間に二壘を突いた多勢捕手の投球に刺される

△第三回 慶大、水原三飛川瀨セーフチーバントを試んで成らず加藤遊飛▲早大富永二飛、水原三振矢島一飛

△第四回 慶大楠見投飛、本郷二飛、山下近目のスイフトを見逃して三振、多勢やゝ見直す▲早大伊丹三振、森右翼ファウルを井川好走して捕へ水上一邪飛

△第五回 慶大、宮武遊撃左を拔く安打に出で、井川バントで送り、町田左中間に二壘打を放ち宮武二壘より生還(早大投手を松木に代る)水原二飛川瀨中飛▲早大(慶大堀右翼に入る)西村三振、佐藤左飛、松木の一邪飛は山下好捕

△第六回 慶大加藤二飛後楠見四球本郷中飛、山下三飛▲早大富永、水原共に三飛後、矢島左前安打したが伊丹遊飛

△第七回 慶大宮武右飛後、堀右前快打水原前進したが及ばず安打となり二盜を果す、町田三飛後堀三盜、水原四球に出で二盜したが川瀨左飛して得點に至らず、▲早大森二飛、水上三飛後西村四球を得たが佐藤の二飛で西村封殺

△第八回 慶大加藤二飛後楠見四球本郷中堅右に安打、山下二―二の時楠見、本郷の重盜成り、山下二飛で倒れたが楠見生還、宮武二飛▲早大松木に代る杉田屋四球に出たが富永の飛球で一壘に併殺され水原も四球を得たが矢島の遊飛で封殺される

△第九回 慶大(早大清水投手となる)堀町田共に四球、水原バントで送者進壘、川瀨四球で滿壘となる、伊丹が二壘走者を牽制するのを見て堀本壘を衝いたが遊撃手本壘に好投して刺し、加藤三振▲早大伊丹三壘を拔く安打したが森の三飛で二壘に封殺、水上二飛に森も封殺、西村投飛で七對〇慶大終に勝つ

(慶大)

	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
4 本郷	4	0	1	1	1	0	0	5	3	0
3 山下	4	1	1	0	0	1	1	10	0	0
1 宮武	5	2	3	0	0	0	0	1	1	0
9 井川	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0
9 堀	1	0	1	0	2	0	1	0	0	0
7 町田	4	0	2	0	0	0	1	1	0	0
5 水原	3	0	1	1	1	0	1	1	5	0
2 川瀨	4	0	1	0	0	0	1	4	2	0
6 加藤	5	0	0	0	0	1	0	4	4	0
計	34	7	12	3	5	2	8	27	15	0

三壘打山下、二壘打宮武、楠見 町田

(早大)

	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
9 水原	2	0	0	0	0	1	2	1	0	0
8 矢島	1	0	2	0	0	0	0	2	1	0
2 伊丹	4	0	1	0	0	1	0	3	3	0
5 森	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0
4 水上	4	0	1	0	0	0	0	5	6	0
3 西村	3	0	1	0	0	1	1	13	0	0
7 佐藤	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0
1 高橋	×	×	×	×	×	×	×	0	1	0
1 多勢	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0
1 松木	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
PH 杉田屋	0	0	0	0	0	0	1	×	×	0
PR 佐伯	×	0	×	×	0	×	×	×	×	×
1 清水	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0
6 富永	3	0	0	0	0	0	0	1	3	0
計	29	0	5	0	1	3	4	27	19	0

秋の日ざし 滿鐵協和會館前で

平野畫伯の 南畫展 愈よあすから

既報の如く平野古桑畫伯の南畫展は來る十七、八の兩日三越に開かれるが、畫伯は故竹田、直入の直系として現存するたゞ一人の南畫家であつて、現在で南畫壇の雜書するものは古桑畫伯の他にはないと云ふ、南畫には煎茶、生花がつきものであるがその師竹邨畫伯も東都における斯道の大家である、今回陳列する作品中特に同好者の注意を惹いてゐるのは今國寶となつてゐる陳腐の觀音を畫伯が所藏時代に模寫したもの五浦類た點の繪である、この原畫は全財産を投出して手に入れたと聞く、なほ南畫の粹を發揮して一筆描きの黑畫も陳べる筈でその妙筆は斯界に於ける第一人者である(寫眞は畫伯が竹田風の試みと三日間を費して描いた金點米法山水である)

諮問事項を 慎重に協議
警察署長會議第一日

關東廳における警察署長會議第一日午後は一時半開會、直に日程に從ひ軍部の提案事項につき三宅參謀長より軍警の連絡及び兵事々務共助等に關し陳述する所ありそれより諮問事項の協議に入り左記本廳提出の各項につき逐一審議することゝなつたが、流石に第一項に就ては各署より意見百出して意外に時間をとり同四時同項目の大體の審議を終つたのみで閉會となり出席者一同は同五時より官邸に於ける長官の晩餐會に臨んだが、第二日は午前中殘餘の諮問事項、各署管內報告、午後は各署提出の協議事項につき審議の筈である

諮問事項

(警務課提出)

一、其の署管內治安維持、人民の生命財産保護其他警察の職能發揮上警察力の充實につきての具體的所見如何

二、警察官吏の文武兩道に於ける訓練上改善を要する點ありや其の所見

三、警察官吏の能率增進に付きての具體的所見

四、警察機密機關と他の機關との聯絡共助に關し改正を要する點ありや

五、警察官服制改正に付ての意見

六、匪賊警防策如何 (保安課提出)

イ、警察官署としての施設

ロ、他官廳公私團體との連絡

ハ、支那側官憲との連絡

ニ、滿鐵其他部民に施設せしむべき事項

ホ、其他必要と認むる事項

七、管內排日運動の情況並に之が對策 (高等課提出)

八、赤化運動の情況並に之が對策如何

九、管內傳染病衛生狀況並に之が對策如何 (衛生課提出)

十、滿鐵其他衛生機關との聯絡共助の關係に付改善を要すべき點ありや

十一、初任巡査の採用並に教習に付科目及所要時間の按配に關し改善を要すと認むべきものあらば其の所見を述べられたし (警察官練習所提出)

歌御會始の 題者奉行 きのふ任命

【東京十五日發電】毎年宮中御恒例の歌御會始めの御儀に際し十二月中に勅題仰せ出されるがこれに先立ち十五日左の如く光榮の題者その他任命の御沙汰あつた

昭和五年歌御會始め題者被仰附 御歌所長 入江爲守

御歌所寄人 子爵 町尻量弘

同 外山且正

昭和五年度歌御會始め奉行被仰附

門を閉ざして 觀衆を整理
十四日朝鮮の人氣を集め 滿蒙デーの大成功

【京城電特十四日發】「日鮮滿航空郵便飛行に託して大連より滿蒙デーをお知せします」……滿鐵情報課直送の宣傳ビラが十二日朝京城の巷に落花の如く降りそゝいだそして十四日の滿蒙デーは大成功裡に終つた、これより先朝九時から間斷なく殺到する觀覽者の群、二人の係員では防ぎ切れず二十分置きに門を閉じて入館者の整理をする大混雜だ景品券の引替やら、土産物附與やらで朝博事務局の應援もあつたが事務所の諸君は血眼の火事場騷ぎ、午後三時ごろまでに入館者三萬人を突破した素晴らしさで滿蒙デーの小旗と風船が會場內に充滿してけふ一日は完全に朝博全會場を滿蒙氣分にひたし切つた

全滿洲對學生聯盟 柔道戰組合せ決る
滿洲軍には小谷五段が出場す 勝利は何れに?

十七日午後一時から中央公園にて擧行される全滿洲對東京學生聯盟の柔道試合に出場する兩軍のメンバー交換は十五日午前十時社員クラブに於て行はれる筈だつたが、東京學生聯盟側は兩軍の段を平均せしむることを固守して讓らず、滿洲軍も遂に小谷五段一名を加へ東京滿鐵支社から馳せ參じた淺見五段その他も出場不可能となり、漸く午後三時に至り左の如くメンバーの交換を見た

	學生聯盟		全滿洲
大將 四段	菊地(中大)	大將 五段	小谷
副將 同	加瀨(立大)	副將 四段	吉原
同	石橋(中大)	同	島田
同	池田(農大)	同	土居
同	高木(龍)立大	同	坂出
同	草野(拓大)	同	梶
同	森口(中大)	同	石垣
同	小泉(農大)	三段	大野
三段	細川(高師)	同	星
同	高井(中大)	同	筆保
同	平田(拓大)	同	岡部
同	鹽谷(高師)	同	今里
同	尾崎(立大)	同	宮崎
同	吉田(高師)	同	細田
同	磯部(拓大)	同	稻木
同	石井(立大)	同	野口
同	大久保(中大)	同	野間口
同	大瀨(高師)	同	三間
同	弘(高師)	同	野崎
同	高木(武)拓大	同	佐々木

古戰場を中心に 壯烈な戰闘
昨曉零時を期し開始された 秋期旅團對抗演習

秋期旅團對抗本演習は日露戰爭の勇士が眠れる南山を中心として、金州曠野の夜の寂寥を破り十五日午前零時いよ／＼開始された、これより先北軍赤松指揮官は第二十聯隊及び所屬特科隊の聯隊本部を同午後四時新市街の聯隊本部に集合せしめ戰闘準備の命令を下した、士卒は命令一下直ちに出動すべく完全に準備を整へ、傳令の來るを待つ、一方金州驛に停車中の急行列車三輛にこれ又新銃器を積み込むなど戰闘準備をさく／＼とこたりなし、統監部に於いては中村統監を初め、審判員、觀戰武官たる松井第十六師團長、同師團參謀長等多數將校は統監旗を先頭に武威堂々統監した、しかして南軍は前闘屯附近に武力を集中し壯烈なる夜襲を試むべく機を窺ひつゝあり南北兩軍は十五日拂曉に至り前闘屯附近に於て衝突するものと見られてゐる

日支獨競技 入場券前賣 けふから滿鐵運動會で 三百枚限り

來る十九、二十の兩日奉天に於て擧行される日獨支對抗陸上競技大會の入場券は滿鐵運動會に於て十六日から三百枚を限り前賣することゝなつた、料金は一般は二圓、體育協會員は一圓であるから至急申込まれたいと

吉田部長殺しの 周存正愈よけふ送局

去月三十日夜大連千代田廣場にて潛伏警戒中の吉田巡査を射殺し野田巡査を負傷せしめた兇賊周存正(二)に對しては大連署司法係大崎警部補係りとなり嚴重取調中であつたが、周は管外の七年前に於ける妻女殺し事件を始め本年九月二十三に於ける某所の拳銃強取事件、同二十六日の西公園町一五五雜貨商周國棟の強盜事件ソレに前記の吉田巡査射殺、野田巡査傷害事件のほか二、三の竊盜事件を自白したので十六日身柄は一件書類と共に檢察局に送られる、周は既に觀念したものゝ如く良心の苛責で苦んでゐる俺を何時までも活かしてゐるのは慘酷だ、早く殺して呉れと口癖のやうと云つてゐる

清酒品評會表彰式

關東州酒造組合では十九日午前十一時半より大連民政署樓上で第八回清酒品評會褒賞授與式を擧行すると

煖房器具展 盛況裡に終る

本社主催第六回煖房器具展覽會は十三日開會以來毎日的熱的人氣を博し殊に十五日の最終日は各出品者側でも大々的宣傳に最後の馬力をかけて蓄音機に、ビラ配付に、係員の說明宣傳に大童となつての奮闘物凄いばかりの賑やかさで結局三日を通じての入場者數三萬餘人と注せられ出陳品の形態特長等により何れも夫々需用者の購入申込みも多く大盛況大成功裡に午後五時過ぎ閉會した

販賣中止を 警告す
注目さるストーブの爭ひ

大阪安堂寺町早川金物店よりタイハンストーブの實用新案登錄第一二七五六五號および昭和四年出願公告第六七一四號の權利を侵害し類造品ニットーストーブを製造し盛に賣り出してゐるのでタイハンストーブ側では田原辯理士を代理人とし大阪區裁判所へ特許權侵害の訴訟を提起すると共に九日大連の特約店西公園町鶴田號こと武田庄吉および賣店西通り松家消に對し右理由の下に販賣中止かたの警告を發したが時節柄その成行きを注目されてゐる

大連哈市間 無電連絡 最近漸く復活

大連無線電信局と哈爾賓支那無線局間の無線連絡は本年七月東支鐵道問題勃發に伴ひ哈爾賓無線局に於て時局關係電報取扱多忙のため同月二十五日以來自然中止の狀態となつてゐたが大連無線局では連絡復舊方を再三嚴重に督促した結果最近漸く通信を再開し從來通り毎日午前六時、同十一時、午後二時、同六時、同九時、同十一時より一時間宛六回連絡して哈爾賓宛和文電報の取扱を爲すこととなつた

石川鹿山兩氏 十四日收容さる

【東京十四日發電】十四日午後警視廳から檢事局へ送られた京電常務石川芳次郎、鹿山貞治の兩氏は午後六時瀆職背任の罪名で市ケ谷刑務所に收容された

怪からぬ馬車夫

十四日午後六時ごろ市內西黑石礁二十二番地郭光玉方へ臺山屯臺山前二十二番地鄧世隆方の荷馬車夫辛衡普と稱する者が來て、留守居中の郭の妻劉氏(二七)に郭の在否を尋ね不在なるを知るや辛は矢庭に劉氏に飛掛り暴行を加へんとしたが極力抵抗し畑中に逃げ込みたるため目的を果さずそのまゝ逃走沙河口署にて目下犯人嚴探中

第二榮壽丸衝突

旅順市秋月彌太郎氏所有第二榮壽丸(四十噸)は九日午後十一時三十五分旅順港水道二番浮標と海軍機艦との間に於て第一大平丸と衝突し左舷船首より第一船具艙前カイセン外數ヶ所損傷したが、十五日岩崎船長より海務局宛屆出でた

けふのラヂオ

昭和四年十月十六日(水曜日)

自午前十一時 相場(特産、錢鈔株式、各地相場)

自午後零時三十分 相場(特産、錢鈔、各地相場)ニュース

自午後三時三十分 相場(特産、錢鈔、株式各地相場)ニュース

自午後七時

一、ニュース

二、講話 海外殖民事情 離波勝治

三、ピアノソロ シューベルト

即興樂 滿鐵音樂會 木村繁次

四、筑前琵琶 坂本龍馬 法洗山 上地旭若

五、新內 白木屋お駒才三(下)彈語り 原田しげ

六、料理獻立

七、天氣豫報

八、ラヂオ體操 初心者練習、熟練者運動

公判期日召喚狀

昭和四年(公)第二一八號 贓物牙保 王鳳儀

昭和四年(公)第六〇九號 關東州阿片令違反 葛子猷

右頭書被告事件ニ付キ昭和四年十月三十一日午前九時公判開廷候條當刑事法廷ニ出頭可有之候也若シ出頭セサルトキハ拘引狀ヲ發スルコトアルヘシ

昭和四年十月十五日

關東廳地方法院 判官 小田基衛